Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX S9100

クールピクス S9100

使用説明書

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。iFrameのロゴおよびシンボルは、Apple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

http://www.mpegla.com をご参照ください。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は以下のようになっています。

⚠危険	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。**
⚠警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

発光禁止

車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと

事故の原因となります。

発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。

保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

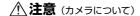
幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。

保管注意

ストラップが首に巻きつかないようにすること

特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息の原因となります。

警告

指定の電源（電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター）を使うこと

指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。

使用禁止

充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

注意（カメラについて）

感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

保管注意

製品は、幼児の手の届かない所に置くこと

ケガの原因になることがあります。

保管注意

使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

使用注意

航空機内で使うときは、離着陸時に電源をOFFにすること

病院で使うときは病院の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。

電池を取る

プラグを抜く

長期間使用しないときは電源（電池、本体充電ACアダプター、ACアダプター）を外すこと

電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。
本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因になることがあります。

発光禁止

内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと

やけどや発火の原因になることがあります。

禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります。

禁止

付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと

機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠危険
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	**Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL12は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池でCOOLPIX S9100に対応しています。EN-EL12に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。
危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠注意
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠警告
（本体充電ACアダプターについて）

 分解禁止	**分解したり修理・改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
 接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
 プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
 水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
 使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
 警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると火災の原因になります。
 使用禁止	**雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
 禁止	**ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。
 感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因になることがあります。
 禁止	**海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと** 発熱、故障、火災の原因となります。

⚠注意
（本体充電ACアダプターについて）

 感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
 放置注意	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
 禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

目次

使用説明書について

ニコンデジタルカメラCOOLPIX S9100をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

●本文中のマークについて

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用するときに、便利な情報を記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

関連情報を記載した参照ページを記載しています。

●表記について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。

●画面例について

本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

●本文中のイラストについて

本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

内蔵メモリーとSDカードについて

本機は、内蔵メモリーとSDカードの両方に対応しています。SDカードをカメラにセットしているときは、SDカードが優先して使用されます。内蔵メモリーを使用して、撮影、再生、削除、初期化などの操作をするときは、SDカードをカメラから取り出してください。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録できます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

●カスタマーサポート

下記のホームページでサポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/support/

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、本体充電ACアダプター、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。

ホログラムシール

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードできます。

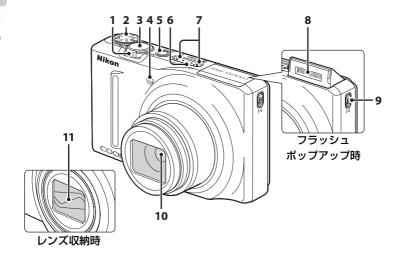
  http://www.nikon-image.com/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

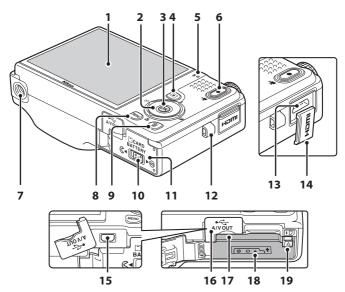
●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

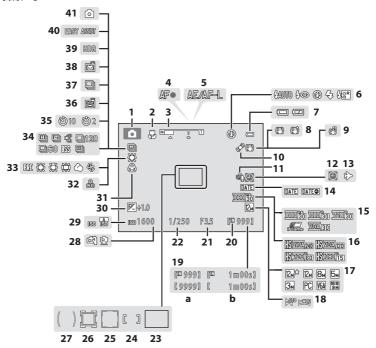
メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。
メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、「オープニング画面」の「撮影した画像」（🕮171）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

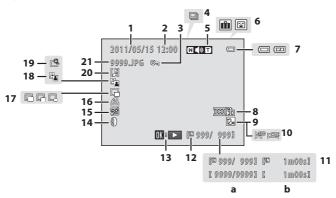
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

各部の名称

カメラ本体

1	ズームレバー............................ 27 **W**：広角ズーム........................ 27 **T**：望遠ズーム........................ 27 サムネイル表示........94、96 拡大.................................. 97 ヘルプ............................. 61
2	モードダイヤル......................... 45
3	シャッターボタン .... 9、28
4	セルフタイマーランプ .... 35 AF補助光 181
5	電源スイッチ/電源ランプ ....19、184
6	スピーカー......................126、152
7	マイク（ステレオ）........125、140
8	フラッシュ..................................32
9	（フラッシュポップアップ） レバー 32
10	レンズ ....194、212
11	レンズバリアー

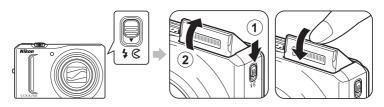
1	液晶モニター........................6、25
2	ロータリーマルチセレクター... 11
3	㊍（決定）ボタン...................... 11
4	▶（再生）ボタン .....10、30、89
5	充電ランプ........................17、162 フラッシュランプ...................... 34
6	●（▸🎥動画撮影）ボタン ....10、140
7	三脚ネジ穴...............................214
8	MENU（メニュー）ボタン .... 12、46、99、116、146、170
9	🗑（削除）ボタン ....31、126、152
10	ロックレバー.....................14、22
11	バッテリー /SDカードカバー ....14、22
12	ストラップ取り付け部...............13
13	HDMIミニ端子........................ 155
14	HDMI端子カバー..................... 155
15	USB/オーディオビデオ出力端子 .... 16、155、158、164
16	端子カバー .... 16、155、158、164
17	SDカードスロット......................22
18	バッテリー室.............................14
19	バッテリーロックレバー.....14、15

液晶モニターの表示内容

説明のため、すべての表示を点灯させています。
撮影、再生時の画面に表示される情報は、数秒経過すると消灯します（□175）。

撮影時

1 撮影モード※ ......24、58、61、80
2 マクロモード 39
3 ズーム表示 ....27、39
4 AF表示..28
5 AE/AF-L表示..............................79
6 フラッシュモード.......................32
7 バッテリー残量表示...................24
8 手ブレ補正表示................ 25、178
9 電子式手ブレ補正表示...140、151
10 モーション検知表示.................180
11 風切り音低減 151
12 日時未設定 ....172、201
13 訪問先.......................................172
14 デート写し込み........................177
15 動画設定（通常速度の動画）...148
16 動画設定（HS動画）.................148
17 画像モード 47
18 かんたんパノラマ......................75
19 (a) 記録可能コマ数（静止画）..... 24
(b) 記録可能時間（動画）... 140、149
20 内蔵メモリー表示.......................25
21 絞り値..28
22 シャッタースピード....................28
23 AFエリア（オート）........... 28、53
24 AFエリア（マニュアル、中央時）...............53
25 AFエリア（顔認識時、ペット検出時）..28、53
26 AFエリア（ターゲット追尾時）...58
27 中央部重点測光範囲 51
28 手持ち撮影/三脚撮影........ 64、65
29 ISO感度表示...................... 34、52
30 露出補正値......................... 43、44
31 鮮やかさ 43
32 色合い 43
33 ホワイトバランス.......................49
34 連写モード..................................80
35 セルフタイマー...........................35
36 笑顔自動シャッター 37
37 連写（ペットモード）.................74
38 ペット自動シャッター 74
39 逆光（HDR）..............................66
40 パノラマ 73
41 静止画撮影（動画撮影時）...... 142

※ アイコンは、撮影モードによって異なります。

再生時

1	撮影日	20
2	撮影時刻	20
3	プロテクト表示	122
4	連写グループ表示	92、95
5	音量表示	126、152
6	お気に入りフォルダー表示※1	103
	オート分類項目表示※1	109
7	バッテリー残量表示	24
8	動画設定※2	152
9	画像モード※2	47、142
10	かんたんパノラマ	77
11	(a) 画像の番号/全画像数	30
	(b) 動画の再生時間	152
12	内蔵メモリー表示	30
13	かんたんパノラマ再生ガイド	77
	連写グループ再生ガイド	92
	動画再生ガイド	152
14	フィルター効果済み表示	135
15	美肌編集済み表示	134
16	プリント指定表示	117
17	スモールピクチャー	138
18	D-ライティング済み表示	133
19	簡単レタッチ済み表示	132
20	音声メモ表示	126
21	ファイル名	200

※1 再生時に選んだお気に入りフォルダーやオート分類項目のアイコンが表示されます。
※2 アイコンは、撮影時の設定によって異なります。

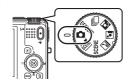
主なボタン操作

フラッシュのポップアップと収納（⚡フラッシュポップアップレバー）

⚡（フラッシュポップアップ）レバーをスライドする（①）と、フラッシュがポップアップします（②）。

- フラッシュの設定方法➞「フラッシュを使う」(📖32)
- フラッシュを使わないときは、カチッと音がするまでフラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。

シャッターボタンの半押しと全押し

- 半押し：シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出（シャッタースピードと絞り値）が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。
- 全押し：半押しの状態から、そのまま深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

半押しすると、
ピントと露出が固定

そのまま深く
押し込んで撮影

モードダイヤル

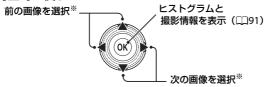
モードダイヤルを回すと、指標に合わせたアイコン（図記号）の撮影モードになります（□45）。

▶（再生）ボタン

- 撮影モードで ▶ ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生モードで ▶ ボタンを押すと、撮影モードになります。
- 電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます。

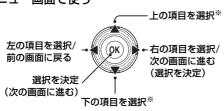
●（動画撮影）ボタン

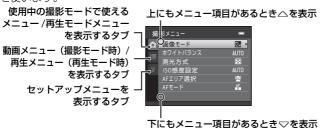
- 撮影モードで●（動画撮影）ボタンを押すと、動画の撮影を開始します（□140）。動画撮影を終了するときも●（動画撮影）ボタンを押します。
- 再生モードで●（動画撮影）ボタンを押すと、撮影モードになります。

ロータリーマルチセレクター

回転部を回すか、回転部の上（▲）、下（▼）、左（◀）、右（▶）、または㊋ボタンを押して操作します。

撮影時に使う

※ 上または下を押しても項目を選べます。

再生時に使う

※ 回転部を回しても前後の画像を選べます。

メニュー画面で使う

※ 回転部を回しても項目を選べます。

メニューの基本操作

MENUボタン（□5）を押すと、選んでいるモードに応じたメニューを表示します。各メニュー項目を設定するには、ロータリーマルチセレクター（□11）を使います。

1 MENU（メニュー）ボタンを押す

2 ロータリーマルチセレクターの▲▼で項目を選び、▶または㊍ボタンを押す

- ロータリーマルチセレクターを回しても、項目を選べます（□11）。
- タブを切り換えたいときは、◀を押します（□13）。

ロータリーマルチセレクター

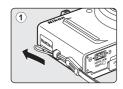
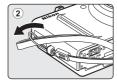
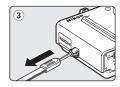
3 ▲▼で項目を選び、㊍ボタンを押す

- 設定が確定します。

4 設定が終わったら、MENU（メニュー）ボタンを押す

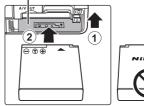
- メニューの表示が終了します。

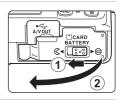
メニュー画面のタブの切り換え方法

ロータリーマルチセレクターの◀を押してタブに移動します。

ロータリーマルチセレクターの▲▼を押してタブを選び、OKボタンまたは▶を押します。

選んだタブのメニューが表示されます。

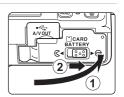
ストラップの取り付け方

バッテリーを入れる

付属のLi-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池）をカメラに入れます。

- ご購入直後やバッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください（📖16）。

1 バッテリー /SDカードカバーを開ける

2 バッテリーを入れる

- バッテリーでオレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押し上げながら（①）、奥まで差し込みます（②）。
- 奥まで差し込むと、バッテリーロックレバーでバッテリーが固定されます。

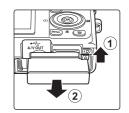
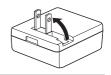
バッテリー室

逆挿入に注意

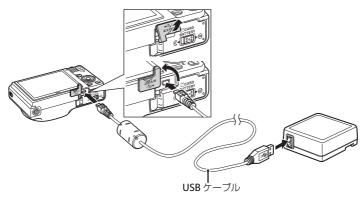
バッテリーの向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

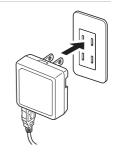
3 バッテリー /SDカードカバーを閉じる

バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにして（□19）、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開けます。
オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと（①）、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。

- カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

バッテリーについてのご注意

- Li-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「危険」（□iv）、「警告」（□iv）、「注意」（□iv）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意　バッテリーについて」（□196）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- 長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。

バッテリーを充電する

付属のLi-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池）を入れたカメラを家庭用コンセントに接続して充電します。
接続には付属の本体充電ACアダプター EH-69PとUSBケーブルUC-E6を使います。

1 本体充電ACアダプターを用意する

2 バッテリーをカメラに入れる（□14）

- 電源をONにしないでください。

3 付属のUSBケーブルでカメラと本体充電ACアダプターを接続する

- 端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

4 電源プラグをコンセントに差し込む

- カメラの充電ランプが緑色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- 残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は約3時間50分です。

- コンセントに接続しているときの充電ランプの状態と意味は以下のとおりです。

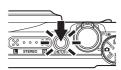
充電ランプ	意味
ゆっくり点滅（緑色）	充電中です。
消灯	充電していません。ゆっくりした点滅（緑色）から消灯に変わると、充電の完了です。
速い点滅（緑色）	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5 ～ 35 ℃の室内で充電してください。 • USB ケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。

5 コンセントから本体充電AC アダプターを外し、USBケーブルを外す

本体充電ACアダプターについてのご注意

- 本体充電ACアダプター EH-69Pに対応している機器以外で使わないでください。
- EH-69Pをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」（□v）、「注意」（□v）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意 バッテリーについて」（□196）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- EH-69Pは、家庭用電源のAC 100－240 V、50/60 Hz に対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。
- EH-69Pはカメラ内のバッテリーを充電するためのACアダプターです。カメラをEH-69Pでコンセントに接続しているときは、カメラの電源はONにできません。
- EH-69P以外の本体充電ACアダプター、USB-ACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

AC電源について

- 別売のACアダプター EH-62F（□198）を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からこのカメラへ電源を供給して撮影または再生ができます。
- EH-62F以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

パソコンや充電器で充電する

- COOLPIX S9100をパソコンに接続してもEN-EL12を充電できます（□157、187）。
- 別売のバッテリーチャージャー MH-65P（□198）を使うと、カメラを使わずにEN-EL12を充電できます。

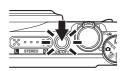
電源をON/OFFするには

電源スイッチを押すと、電源がONになります。
電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。

もう一度電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。電源がOFFになると液晶モニターも、電源ランプも消灯します。

- 電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます（□30）。

節電機能について（オートパワーオフ）

カメラを操作しない状態が続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
電源ランプの点滅中は、以下の操作で液晶モニターが再点灯します。

- 電源スイッチ、シャッターボタン、▶ボタン、または●（動画撮影）ボタンを押す。
- モードダイヤルを回す。

- 撮影時または再生時は、約1分（初期設定）で待機状態になります。
- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（□169）の［**オートパワーオフ**］（□184）で変更できます。

表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- 電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。

2 ロータリーマルチセレクターの▲または▼で表示言語を選び、🆗ボタンを押す

ロータリーマルチセレクター

3 ▲または▼で［はい］を選び、🆗ボタンを押す

- 地域と日時の設定を中止するときは［**いいえ**］を選びます。

4 ◀ または ▶ で自宅のある地域（タイムゾーン）（📖174）を選び、🆗ボタンを押す

夏時間を設定する

夏時間（サマータイム）を導入している地域で、その期間中に日時を設定するときは、手順4の地域設定画面で▲を押して夏時間の設定をオンにします。
設定をオンにすると、画面上部に☀マークが表示されます。
オフにするときは、▼を押してください。

5 ▲または▼で日付の表示順を選び、Ⓚボタンまたは▶を押す

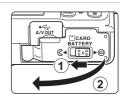
6 ▲、◀、▼または▶で日時を合わせ、Ⓚボタンを押す

- 項目を選ぶ：▶または◀を押します（[**年**]、[**月**]、[**日**]、[**時**]、[**分**] に切り換わります）。
- 項目の内容を合わせる：ロータリーマルチセレクターを回すか、▲または▼を押します。

- 設定を完了する：[**分**] を選び、Ⓚボタンまたは▶を押します。

- 設定が完了すると、レンズが繰り出し、撮影画面になります。

撮影の準備

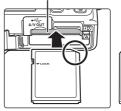
日付の写し込みと日時の変更

- 撮影時に日付を画像に写し込むときは、日時を設定した後に、セットアップメニュー（□169）の［**デート写し込み**］を設定します（□177）。
- 内蔵時計の日時を変更するときは、セットアップメニュー（□169）の［**地域と日時**］（□172）で設定します。

SDカードを入れる

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー（約74 MB）または市販のSDカード（□199）のどちらかに記録します。

カメラにSDカードを入れるとSDカードに記録し、SDカードのデータを再生、削除、または転送します。内蔵メモリーを使うときは、SDカードを取り出します。

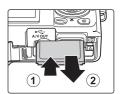
1 電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開ける

- カバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。

2 SDカードを入れる

- カチッと音がするまで差し込みます。

SD カードスロット

逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。 正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3 バッテリー/SDカードカバーを閉じる

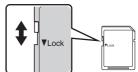
SDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けます。

SDカードを指で軽く奥に押し込むと（①）、SDカードが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。

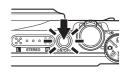
- カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

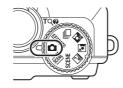
SDカードの初期化

電源をONにしたときに右の画面が表示された場合は、SDカードを初期化する必要があります。**ただし、SDカードを初期化**（□185）**すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
初期化するときは、ロータリーマルチセレクターで［**はい**］を選び、Ⓚボタンを押します。確認画面が表示されたら、［**初期化する**］を選び、Ⓚボタンを押すと初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化（□185）してからお使いください。

SDカードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SDカードのスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや削除を禁止して、カード内の画像を保護できます。撮影時や画像を削除するとき、カードを初期化するときは「Lock」を解除してください。

書き込み禁止スイッチ

SDカードの取り扱い上のご注意

- SDカード以外のメモリーカードは使えません。
- 初期化中、画像の記録や削除中、パソコンとの通信時などには、以下の操作をしないでください。記録しているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - カードを着脱しないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - ACアダプターを外さないでください
- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

ステップ1　電源をONにして📷（オート撮影）を選ぶ

📷（オート撮影）モードでは、細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。はじめてデジタルカメラを使う方でも簡単に撮影できます。

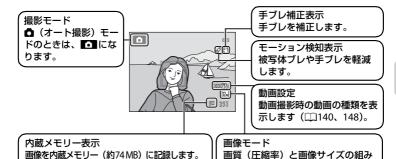
1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- レンズが繰り出し、液晶モニターが点灯します。

2 モードダイヤルを📷に合わせる

3 バッテリー残量表示と記録可能コマ数を確認する

バッテリー残量表示

表示	意味
(電池マーク)	バッテリー残量はあります。
(電池マーク・残量少)	バッテリー残量が少なくなりました。 バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。 バッテリーを充電または交換してください。

記録可能コマ数

撮影できる残りのコマ数が表示されます。

記録可能コマ数は内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量と画像モードによって異なります（📖47）。

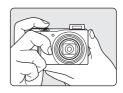
◘（オート撮影）モードでの液晶モニター表示

- 撮影、再生時の画面に表示される情報は、数秒経過すると消灯します（□175）。
- 節電による待機状態で液晶モニターが消灯しているとき（電源ランプ点滅中）は（□184）、以下のボタンを押すと液晶モニターが再点灯します。
  → 電源スイッチ、シャッターボタン、または●（動画撮影）ボタン

フラッシュについて

フラッシュを閉じているときは発光禁止に固定され、画面上部に⊕が表示されます。
暗いところや逆光などでフラッシュが必要なときは、フラッシュをポップアップしてください（□4、32）。

◘（オート撮影）モードで使える機能

- フラッシュモード（□32）の変更、セルフタイマー（□35）やマクロモード（□39）の設定ができます。
- 明るさ（露出補正）、色合い、鮮やかさをクリエイティブスライダーで調整できます（□40）。
- MENU ボタンを押すと、撮影メニュー（□46）の各項目を、撮影状況に合わせて設定できます。画質（圧縮率）と画像サイズの組み合わせも撮影メニューの［**画像モード**］で設定できます。

手ブレ補正とモーション検知について

- 詳しくは、セットアップメニュー（□169）の［**手ブレ補正**］（□178）、または［**モーション検知**］（□180）をご覧ください。
- 三脚などでカメラを固定して撮影するときは、手ブレ補正を［**OFF**］にしてください。

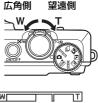
ステップ2　カメラを構え、構図を決める

1 カメラを両手でしっかりと構える

- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイク、スピーカーなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

- フラッシュを使って（□32）、縦位置で撮影するときは、フラッシュ発光部をレンズより上にしてください。

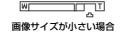
2 構図を決める

- カメラが人物の顔を認識したときは、顔に黄色い二重枠のAF（オートフォーカス）エリアが表示されます（初期設定）。
- 最大12人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、カメラに最も近い顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。
- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AF エリアは表示されません。写したいもの（被写体）を画面の中央付近に合わせます。

ズームを使う

ズームレバーを回すと、光学ズームが作動します。
被写体を大きく写したいときは、**T**方向に回します。
広い範囲を写したいときは、**W**方向に回します。
ズームレバーをいっぱいまで回すとズーム動作が速くなり、途中まで回すとズーム動作がゆっくりになります。

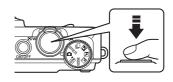
- 電源をONにしたときは、最も広角側になっています。
- ズームレバーを回すと、液晶モニターの画面上部にズームの量が表示されます。

電子ズームについて

光学ズームを最も望遠側（光学ズームの最大倍率）にして、さらにズームレバーを**T**方向に回し続けると、電子ズームが作動します。
電子ズームは、光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。

- 電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。

電子ズームと画質の劣化について

電子ズームは光学ズームとは異なり、画像をデジタル処理で拡大するため、使用する画像モード（□47）や電子ズームの倍率によって、画質が劣化します。
ズーム表示の凸マークは、静止画の撮影で画質の劣化が始まるズーム位置を示しています。このマークを越えてズーム倍率を上げると劣化が始まり、ズーム表示も黄色に変わります。凸マークの位置は画像サイズが小さいほど右に移動しますので、設定した画像モードで画質を劣化させずに静止画を撮影できるズーム位置を事前に確認できます。

画像サイズが小さい場合

- セットアップメニュー（□169）の［**電子ズーム**］（□182）で、電子ズームを作動しない設定にできます。

ステップ3　ピントを合わせてシャッターボタンを押す

1　シャッターボタンを半押しする

- 半押し（□9）すると、カメラがピントと露出（シャッタースピードと絞り値）を合わせます。
  半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。
- 顔認識した場合：
  二重枠のAFエリアで囲まれた顔にピントが合います。ピントが合うと二重枠が緑色になります。

- 顔認識していない場合：
  9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）。

- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（□6）が緑色に点灯します。
- 半押しして、AFエリアまたはAF表示が赤色に点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

2　シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。

画像の記録についてのご注意

液晶モニターで「記録可能コマ数」が点滅しているときは、画像の記録中です。**バッテリー /SDカードカバーを開けないでください。**画像の記録中にSDカードやバッテリーを取り出すと、画像が記録されないことや、撮影した画像やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（🕮55）をお試しください。

顔認識機能についてのご注意

詳しくは、［**AFエリア選択**］（🕮53）と「顔認識撮影について」（🕮56）をご覧ください。

被写体との距離が近い場合

ピントが合わないときは、マクロモード（🕮39）またはシーンモードの［**クローズアップ**］（🕮70）での撮影をお試しください。

AF補助光とフラッシュについて

暗い場所などでは、シャッターボタンを半押しするとAF補助光（🕮181）が点灯することや、シャッターボタンを全押ししたときにフラッシュ（🕮32）が発光することがあります。

ステップ4　撮影した画像を再生する/削除する

画像を再生する（再生モード）

▶（再生）ボタンを押す

●（動画撮影）ボタン

▶（再生）ボタン

ロータリーマルチセレクター

- 最後に撮影した画像が1コマ表示されます。
- ロータリーマルチセレクターを回すか、▲▼◀▶を押すと、前後の画像を表示します（□11）。
- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。
- 撮影に戻るには、もう一度▶ボタンを押すか、シャッターボタン、または●（動画撮影）ボタンを押します。
- 内蔵メモリーの画像を再生しているときは、INが表示されます。SDカードをカメラに入れたときは、INは表示されず、SDカードの画像が再生されます。

内蔵メモリー表示

節電により液晶モニターが消灯したときは

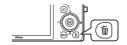
電源ランプの点滅中は、電源スイッチ、シャッターボタン、▶ボタン、または●（動画撮影）ボタンを押すと液晶モニターが再点灯します（□184）。

再生モードで使える機能

詳しくは、「いろいろな再生」（□89）または「画像の編集」（□130）をご覧ください。

撮影情報を表示する

再生モードの1コマ表示でⓀボタンを押すと、ハイライト表示とヒストグラム、撮影情報を表示します（□91）。もう一度Ⓚボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

▶ボタンによる電源ON

電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます。このとき、レンズは繰り出しません。

画像の再生について

- 顔認識（□56）またはペット検出（□74）して撮影した画像は、1コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（シーンモードの［**ペット**］（□74）で連写した画像、連写モード（□80）で撮影した画像を除く）。
- 連写した画像の場合、一度の連写で撮影した複数の画像が1つのグループとなり、代表画像1コマのみを表示します（連写グループ表示→□92）。

不要な画像を削除する

1 削除したい画像を表示して🗑ボタンを押す

- 削除をやめるときは、MENUボタンを押します。

2 ロータリーマルチセレクターの▲または▼で削除方法を選び、OKボタンを押す

- ［**表示画像**］：表示している1コマまたは音声メモ（📖125）画像を削除します。連写グループ（📖92）の代表画像を選んでいるときは、再生中の連写グループの画像をすべて削除します。
- ［**削除画像選択**］：複数の画像を選んで削除します。➞「削除画像選択画面の操作方法」
- ［**全画像**］：すべての画像を削除します。

3 ▲または▼で［**はい**］を選び、OKボタンを押す

- 削除した画像は、もとに戻せません。
- 削除をやめるときは、▲または▼で［**いいえ**］を選び、OKボタンを押します。

削除画像選択画面の操作方法

1 ロータリーマルチセレクターの◀または▶で削除したい画像を選び、▲で✓を表示する

- 選択を解除するときは、▼を押して✓を非表示にします。
- ズームレバー（📖4）を**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと一覧表示に切り換わります。

2 削除したい画像すべてに✓を表示し、OKボタンを押して選択を決定する

- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作します。

✔ 画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せません。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- プロテクト設定した画像は、削除されません（📖122）。
- 連写した画像の削除について➞「連写グループの画像を削除する」（📖93）

🖉 撮影モードで画像を削除する

撮影時に🗑ボタンを押すと、直前に撮影した画像を削除できます。

フラッシュを使う

暗いところや逆光などでは、フラッシュをポップアップするとフラッシュ撮影ができます。フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

- フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約 0.5 ～ 4.0 m、望遠側で約 1.5～2.5 mです（ISO感度設定がオート時）。

AUTO	**自動発光**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。
	赤目軽減自動発光
	人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます。
	発光禁止
	フラッシュは発光しません。
	強制発光
	被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
	スローシンクロ
	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

赤目軽減自動発光について

このカメラは、「**アドバンスト赤目軽減方式**」を採用しています。
フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。
撮影する際は、以下にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してから、シャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

フラッシュモードの設定方法

1 ⚡ᗕ（フラッシュポップアップ）レバーをスライドする

- フラッシュがポップアップします。
- フラッシュを閉じているときは⊛（発光禁止）に固定されます。

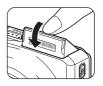
2 ロータリーマルチセレクターの ⚡（フラッシュモード）を押す

- 液晶モニターにフラッシュモードの設定メニューが表示されます。

3 ロータリーマルチセレクターでモードを選び、Ⓞボタンを押す

- 設定したフラッシュモードが表示されます。
- ⚡AUTO（自動発光）にすると［**モニター表示設定**］（□175）にかかわらず、⚡AUTOは数秒間で消えます。
- Ⓞボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

☑ フラッシュの収納

フラッシュを使わないときは、カチッと音がするまでフラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。

⊛（発光禁止）にして撮影するときや、暗い場所で撮影するときのご注意

- 手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□169）の［**手ブレ補正**］（□178）を［**OFF**］にしてください。
- 撮影画面に ISO が表示されることがあります。ISO が表示されたときは、ISO 感度が自動的に上がっています。
- 暗い場所で撮影するときなど、撮影状況によってはノイズを低減する機能が作動することがあります。ノイズ低減の機能が作動すると、画像の記録が終了するまでに時間がかかることがあります。

フラッシュ使用時のご注意

フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込むことがあります。このようなときは、フラッシュを⊛（発光禁止）にして撮影することをおすすめします。

フラッシュランプについて

シャッターボタンの半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュが充電中のため、撮影できません。
- 消灯：撮影時にフラッシュは発光しません。

バッテリー残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。

フラッシュモードの設定について

フラッシュモードの初期設定は、撮影モード（□45）によって異なります。

- ◘（オート撮影）：⚡AUTO 自動発光。
- SCENE AUTO（おまかせシーン）：⚡AUTO 自動発光。自動判別されたシーンに合わせてカメラがフラッシュモードを設定します。
- SCENE（シーン）：シーンによって異なります（□67～73）。
- 夜景（夜景）：⊛ 発光禁止に固定。
- 夜景ポートレート（夜景ポートレート）：⚡◉ 赤目軽減自動発光に固定。
- 逆光（逆光）：⚡ 強制発光（［**HDR**］OFF時）に固定、⊛発光禁止に固定（［**HDR**］ON時）（□66）。
- 連写（連写）：⊛ 発光禁止に固定。
- EFFECTS（スペシャルエフェクト）：⚡AUTO 自動発光。

フラッシュは、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□87）

◘（オート撮影）モードの場合、変更したフラッシュモード設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

セルフタイマーを使う

記念撮影など自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。タイマー時間は10秒と2秒から選べます。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□169）の［**手ブレ補正**］（□178）を［**OFF**］にしてください。

1 ロータリーマルチセレクターの ⏲（セルフタイマー）を押す

- 液晶モニターにセルフタイマーの設定メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［**10s**］または［**2s**］を選び、ⓀOKボタンを押す

- ［**10s**］（10秒）: 記念撮影などに適しています。
- ［**2s**］（2秒）　: 手ブレの軽減に適しています。
- 😊 を選ぶと、顔認識した人物の笑顔を検出して、カメラが自動的にシャッターをきります（□37）。
- 撮影モードがシーンモードの［**ペット**］のときは、🐱（ペット自動シャッター）が表示されます（□74）。セルフタイマー［**10s**］、［**2s**］は使えません。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

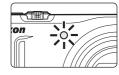
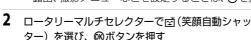
- ピントと露出が合います。

簡単な撮影と再生―📷（オート撮影）モードを使う

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

笑顔自動シャッターを使う

顔認識した人物の笑顔を検出して自動でシャッターをきることができます。
撮影モード（□45）が📷（オート撮影）モード、シーンモード（□61）の
🌃（夜景ポートレート）、［**ポートレート**］のときに使えます。

1 ロータリーマルチセレクターの ⏲（セルフタイマー）を押す

- 液晶モニターにセルフタイマーの設定メニューが表示されます。
- フラッシュモード、クリエイティブスライダー、露出、撮影メニューなどを設定するときは、⏲を押す前に設定してください。

2 ロータリーマルチセレクターで😊（笑顔自動シャッター）を選び、OKボタンを押す

- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 構図を決める

- カメラを被写体に向けます。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大3人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。

4 自動的にシャッターがきれる

- カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- シャッターがきれるたびに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。

5 撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するときは、電源をOFFにするか、笑顔自動シャッターを［**OFF**］にします。

笑顔自動シャッターについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 「顔認識についてのご注意」→（□57）
- この機能は、他の機能と同時に使えない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□87）

笑顔自動シャッター使用時の節電機能について

笑顔自動シャッター使用時は、カメラを操作しないまま以下の状態が続くと、オートパワーオフ（□184）が作動して、電源がOFFになります。

- カメラが顔を認識しない。
- カメラが顔を認識していても、笑顔を検出できない。

セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

手動でシャッターをきるには

シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。

関連ページ

オートフォーカスが苦手な被写体→□29

マクロ（接写）モードを使う

最短約4 cmまで被写体に近づいて撮影できます。ただし、フラッシュ撮影時は、撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがありますのでご注意ください。

1 ロータリーマルチセレクターの 🌷（マクロモード）を押す

- 液晶モニターにマクロモードの設定メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［ON］を選び、Ⓚボタンを押す

- 🌷マークが表示されます。
- Ⓚボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 ズームレバーを操作し、🌷 マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 最短撮影距離はズーム位置によって異なります。🌷マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置（△マークより広角側）では、レンズ前約11 cmまでの被写体にピントを合わせられます。また、最も広角側のズーム位置では、レンズ前約4 cmまでの被写体にピントを合わせられます。

オートフォーカスについて

📷（オート撮影）モードでは、［**AFモード**］（📖60）の設定を［**常時AF**］にすると、シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。常にピントを合わせる動作音がします。
それ以外の撮影モードでは、マクロモードがONになると、自動的に［**常時AF**］になります。

マクロモードの設定について

📷（オート撮影）モードと連写モードのマクロモード設定は、連動しています。📷（オート撮影）モードと連写モードの場合、マクロモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

明るさ（露出補正）、鮮やかさ、色合いを調整する

ロータリーマルチセレクターの▶（☑）を押すと、明るさ（露出補正）、鮮やかさ、および色合いを調整して撮影できます。撮影モードによって設定できる項目が異なります。

◘（オート撮影）モード（□24）および連写モード（□80）のとき

クリエイティブスライダーで明るさ（露出補正）、鮮やかさ、および色合いを調整できます。

☑ 明るさ（露出補正）

画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときに使います。

⊛ 鮮やかさ

画像全体の鮮やかさを調整したいときに使います。

RGB 色合い

画像全体の色合いを調整したいときに使います。

詳しくは「クリエイティブスライダーの操作方法」（□41）をご覧ください。

シーンモード（□61）およびスペシャルエフェクトモード（□85）のとき

明るさ（露出補正）を調整できます。

☑ 露出補正

画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときに使います。

詳しくは「露出補正の操作方法」（□44）をご覧ください。

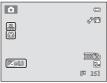
クリエイティブスライダーの操作方法

（オート撮影）モードおよび（連写）モードのときは、クリエイティブスライダーで明るさ（露出補正）、鮮やかさ、および色合いを調整して撮影できます。

1 ロータリーマルチセレクターの▶（）を押す

- 液晶モニターにクリエイティブスライダー画面が表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターの◀▶を押して、画面の、、またはを選ぶ

- 明るさ（露出補正）、鮮やかさ、または色合いの調整画面が表示されます。

3 明るさ、鮮やかさ、または色合いを調整する

- ロータリーマルチセレクターを以下のように使います。
  - ▲▼：スライダーが動きます。画面で効果を確認しながら調整できます。ロータリーマルチセレクターを回しても調整できます。
  - ◀ ▶：明るさ（露出補正）、鮮やかさ、色合いの各項目を切り換えられます。
- 各項目について詳しくは、以下をご覧ください。
  - 「明るさを調整する（露出補正）」（43）
  - 「鮮やかさを調整する（彩度調整）」（43）
  - 「色合いを調整する（ホワイトバランス調整）」（43）
- クリエイティブスライダーの効果をオフにするときは、◀▶でを選び、ボタンを押します。

4 調整が終わったら、◀▶で⊠を選び、Ⓚボタンを押す

- 手順3でⓀボタン（R選択時を除く）またはシャッターボタンを押しても、効果の度合いを決定できます。決定すると撮影画面に戻ります。
- 明るさを調整すると、☒マークと補正値が表示されます。
- 鮮やかさを調整すると、◎マークが表示されます。
- 色合いを調整すると、◎マークが表示されます。

5 シャッターボタンを押して撮影する

クリエイティブスライダーの設定について

明るさ（露出補正）、鮮やかさ、および色合いの設定は、◘（オート撮影）モードと連写モードで連動して適用され、電源をOFFにしても記憶されます。

明るさを調整する（露出補正）

画像全体の明るさを調整します。

- 被写体を明るくしたいとき：スライダーを「＋」側に設定します。
- 被写体を暗くしたいとき：スライダーを「－」側に設定します。

ヒストグラム表示について

ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。フラッシュを使わない撮影で、露出を補正するときの目安になります。

- 横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
- 露出補正を「＋」側にすれば山が右側に寄り、「－」側にすれば山が左側に寄ります。

鮮やかさを調整する（彩度調整）

画像全体の鮮やかさを調整します。

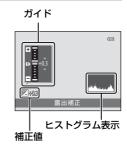
- スライダーを上方に動かすほど画像全体の鮮やかさが増します。下方に動かすほど鮮やかさが減ります。

色合いを調整する（ホワイトバランス調整）

画像全体の色合いを調整します。

- スライダーを上方に動かすほど画像全体の赤みが増します。下方に動かすほど青みが増します。

ホワイトバランス調整のご注意

クリエイティブスライダーで色合いを調整したときは、撮影メニューの［**ホワイトバランス**］（□49）は設定できません。

露出補正の操作方法

シーンモードまたはスペシャルエフェクトモードのときは、明るさ（露出補正）を調整して撮影できます。

1 ロータリーマルチセレクターの☒（露出補正）を押す

- 液晶モニターに露出補正のガイドとヒストグラムが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで補正値を選ぶ

- 被写体を明るくしたいとき：補正値を「＋」側に設定します。
- 被写体を暗くしたいとき：補正値を「－」側に設定します。

3 ⓚボタンを押して補正値を決定する

- ［**0.0**］以外に設定すると、液晶モニターに☒マークと補正値が表示されます。

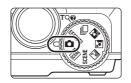
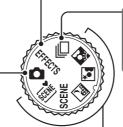
4 シャッターボタンを押して撮影する

- 露出補正を解除するときは、手順1 に戻って補正値を［**0.0**］にしてⓚボタンを押します。

ヒストグラム表示について

詳しくは、「ヒストグラム表示について」（□43）をご覧ください。

撮影モードを選ぶ（モードダイヤル）

モードダイヤルを回してアイコン（図記号）を指標に合わせると、以下の撮影モードに切り換わります。

（オート撮影）モード（24）

はじめてデジタルカメラを使う方でも、気軽に撮影できます。明るさ、鮮やかさ、または色合いをクリエイティブスライダーで調整できます。撮影メニューでいろいろな設定ができます（46）。

EFFECTS スペシャルエフェクトモード（85）

画像に効果を付けて撮影できます。
6種類の撮影効果から選べます。

連写モード（80）

連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）などを設定できます。

シーンモード（61）

撮影シーンを選ぶだけで、そのシーンに合った設定で撮影ができます。

（おまかせシーン）	：構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別するので、より簡単にシーンに合った撮影ができます。
SCENE（シーン）	：15種類のシーンの中から撮影したいシーンを選ぶと、そのシーンに合った設定で撮影ができます。
（夜景）	：夜景の雰囲気を表現して撮影できます。
（夜景ポートレート）	：夕景や夜景の雰囲気を活かしながら人物をフラッシュ撮影します。
（逆光）	：逆光状態でフラッシュを強制発光して人物が影にならないように撮影したり、HDRの機能を使って明暗差の大きい風景を撮影したりできます。

（オート撮影）モードの設定を変える（撮影メニュー）

（オート撮影）モード（□24）で撮影するときは、以下の撮影メニューを設定できます。

画像モード □47

記録時の画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を選びます。
（オート撮影）モード以外の撮影モードでも設定できます。

ホワイトバランス □49

画像を見た目に近い色で記録するように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。

測光方式 □51

カメラが被写体の明るさを測る方式を設定します。

ISO感度設定 □52

被写体の明るさなどに応じて、ISO感度を設定します。

AFエリア選択 □53

オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

AFモード □60

ピントの合わせ方を設定します。

撮影メニューの表示方法

モードダイヤルを（オート撮影）モードに合わせます（□45）。
MENUボタンを押して、撮影メニューを表示します。

- メニューの選択と設定にはロータリーマルチセレクターを使います（□11）。
- 撮影メニューを終了するには、MENUボタンを押します。

同時に設定できない機能について

複数の機能を同時に設定できないことがあります（□87）。

いろいろな撮影

画像モード（画質/画像サイズ）

（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ 画像モード

記録する画像の大きさと、画質（圧縮率）の組み合わせを選びます。画像の用途や内蔵メモリー /SDカードの残量に合わせて設定してください。
画像サイズの大きい画像モードほど、大きくプリントするのに適していますが、記録できるコマ数は少なくなります。

画像モード	画像サイズ（ピクセル）	内　容
4000×3000★	4000×3000	よりも高画質な画像になります。圧縮率は約1/4です。
4000×3000（初期設定）	4000×3000	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約1/8です。
3264×2448	3264×2448	
2592×1944	2592×1944	
2048×1536	2048×1536	、、よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
1024×768	1024×768	パソコンのモニターに表示するときに適しています。圧縮率は約1/8です。
640×480	640×480	電子メールへの添付や画面の縦横比が4:3のテレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。
3968×2232	3968×2232	縦横比が16:9の画像を撮影できます。圧縮率は約1/8です。

画像モードの設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（6、8）。

画像モードの設定について

- （オート撮影）モード以外の撮影モードでも、MENUボタンを押すと設定できます。
- 設定は、他の撮影モードにも適用されます。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（87）

記録可能コマ数

内蔵メモリーや4 GBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。

画像モード	内蔵メモリー（約74 MB）	SDカード※1（4 GB）	プリント時の大きさ※2
4000×3000★	12コマ	約650コマ	約34×25 cm
4000×3000	25コマ	約1280コマ	約34×25 cm
3264×2448	37コマ	約1910コマ	約28×21 cm
2592×1944	58コマ	約2940コマ	約22×16 cm
2048×1536	91コマ	約4640コマ	約17×13 cm
1024×768	297コマ	約15000コマ	約9×7 cm
640×480	528コマ	約24100コマ	約5×4 cm
3968×2232	34コマ	約1720コマ	約34×19 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cmで計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

ホワイトバランス（色合いの調整）

（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ ホワイトバランス

人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整が必要です。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。
初期設定の［**オート**］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

AUTO オート（初期設定）
カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。

PRE プリセットマニュアル
特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは「プリセットマニュアルの使い方」（□50）をご覧ください。

晴天
晴天の屋外での撮影に適しています。

電球
白熱電球の下での撮影に適しています。

蛍光灯
白色蛍光灯の下での撮影に適しています。

曇天
曇り空の屋外での撮影に適しています。

フラッシュ
フラッシュを使う撮影に適しています。

ホワイトバランスの設定は、撮影時の画面で確認できます（□6）。［**オート**］のときは、何も表示されません。

ホワイトバランスについてのご注意

- クリエイティブスライダーで色合いを調整した場合（□41）、この機能は設定できません。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□87）
- ［**オート**］、［**フラッシュ**］以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを（発光禁止）に設定してください（□32）。

ホワイトバランスの設定について

連写モード（□80）でも、MENUボタンを押すと設定できます。［**ホワイトバランス**］は、（オート撮影）モードと連写モードの両方に同じ設定が適用されます。

プリセットマニュアルの使い方

特殊な照明の下で撮影するときなど、［**オート**］や［**電球**］などのホワイトバランス設定では望ましい結果が得られない場合に使います（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せたいときなど）。
以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 撮影する照明下で、白またはグレーの被写体を用意する

2 撮影メニューを表示し（46）、ロータリーマルチセレクターで［**ホワイトバランス**］の［**PRE プリセットマニュアル**］を選び、OKボタンを押す

- レンズが測定用のズーム位置になります。

3 ［**新規設定**］を選ぶ

- 前回測定したホワイトバランス値を使いたいときは、［**前回の設定**］を選んでOKボタンを押します。再測定せずに、ホワイトバランスが前回の値に設定されます。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収める

測定窓

5 OKボタンを押して、ホワイトバランス値を測定する

- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます（画像は記録されません）。

プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、［**ホワイトバランス**］を［**オート**］または［**フラッシュ**］に設定してください。

測光方式

（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ 測光方式

露出を合わせるため、被写体の明るさを測ることを「測光」といいます。
カメラが測光する方式を設定します。

マルチパターン（初期設定）

画面の広い領域を使って測光します。さまざまな撮影状況で適正な露出が得られる測光モードです。通常の撮影では、マルチパターン測光をおすすめします。

中央部重点

画面に表示されている中央部重点測光範囲に重点を置いて測光します。ポートレート撮影など、重点的に画面中央部に露出を合わせたいときなどに使います。露出を合わせたい部分が画面中央部にないときは、フォーカスロック（55）をお使いください。

測光方式についてのご注意

電子ズーム作動中は、測光方式が自動的に中央部重点測光またはスポット測光（画面中央部で測光）に切り換わります。測光範囲は表示されません。

測光方式の設定について

連写モード（80）でも、MENUボタンを押すと設定できます。［**測光方式**］は、（オート撮影）モードと連写モードの両方に同じ設定が適用されます。

測光方式表示について

［**測光方式**］を［**中央部重点**］に設定すると、測光範囲が液晶モニターに表示されます。

ISO感度設定

（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ ISO感度設定

ISO感度を高くすると、より少ない光量で撮影できます。
ISO感度を高くするほど、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

- ISO感度を高くすると、暗い被写体の撮影、フラッシュを使わない撮影、望遠側での撮影などに効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

オート（初期設定）

明るい場所ではISO 160になり、暗い場所では自動的にISO 800までISO感度が高くなります。

感度制限オート

カメラが自動的にISO感度を変更するときの範囲をISO 160からISO 400までに制限します。ISO感度の上限値を400に設定することで、画像のざらつきを抑える効果があります。

160、200、400、800、1600、3200

ISO感度を選んだ値に固定します。

ISO感度の設定は、撮影時の画面で確認できます（□6）。

- ［**オート**］に設定した場合、ISO 160で撮影できるときは何も表示されず、ISO感度が自動的に上がったときにISOマークが表示されます（□34）。
- ［**感度制限オート**］に設定したときはISO400が表示されます。

ISO感度設定についてのご注意

- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□87）
- ISO感度を［**オート**］以外にすると、［**モーション検知**］（□180）は作動しません。

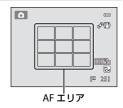
ISO感度の設定について

連写モード（□80）でも、MENUボタンを押すと設定できます。［**ISO感度設定**］は、（オート撮影）モードと連写モードの両方に同じ設定が適用されます。

AFエリア選択

（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ AFエリア選択

オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

顔認識オート（初期設定）

カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→56）。
複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。
人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AFエリア選択が［**オート**］になり、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

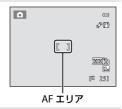
AUTO オート

9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
シャッターボタンを半押しするまで、AFエリアは表示されません。
半押しすると、ピントが合ったAFエリアが画面に表示されます（最大9カ所）。

マニュアル

画面内の99カ所からピントを合わせたいエリアを自分で選びます。比較的動きの少ない被写体が画面中央にない場合に適しています。
ロータリーマルチセレクターを回すか、▲▼◀▶を押して、画面に表示されているAFエリアを、ピントを合わせたい位置に動かしてから撮影します。

AF エリア

選択可能エリア

- 以下の設定をするときは、OK ボタンを押していったんAFエリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - フラッシュモード、マクロモード、またはセルフタイマー
  - 明るさ（露出補正）、鮮やかさ、または色合い

  もう一度 OK ボタンを押すと、再び AF エリアを選べる状態になります。

いろいろな撮影

中央

画面中央の被写体にピントが合います。
AFエリアが画面中央に常に表示されます。

ターゲット追尾

ピントを合わせたい被写体を登録すると、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。➞「動く被写体にピントを合わせて撮影する（ターゲット追尾）」（58）

AFエリア選択についてのご注意

- 電子ズーム使用時は、［**AFエリア選択**］の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。➞「同時に設定できない機能」（87）
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（29）の撮影では、ピントが合わないことがあります。

AFエリア選択の設定について

連写モード（80）でも、MENUボタンを押すと設定できます。［**AFエリア選択**］は、（オート撮影）モードと連写モードの両方に同じ設定が適用されます。

フォーカスロック撮影

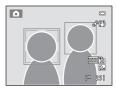
AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。
ここでは、［**AFエリア選択**］を［**中央**］に設定した場合のフォーカスロックの操作方法を説明します。

1 ピントを合わせる被写体を画面中央に配置する

2 シャッターボタンを半押しする
- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。

3 半押ししたまま構図を変える
- 被写体との距離は変えないでください。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

いろいろな撮影

顔認識撮影について

人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。以下の場合は、顔認識機能が働きます。

- （オート撮影）モードまたは連写モードでAFエリア選択が［**顔認識オート**］のとき（53）
- 以下のシーンモードのとき
  - おまかせシーン（62）
  - （夜景ポートレート）（65）
  - ［**ポートレート**］（67）
- 笑顔自動シャッターを設定したとき（37）

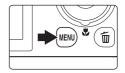
1 構図を決める

- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれます。

- 複数の顔を認識したときは、撮影モードによって以下のように動作が変わります。

撮影モード	二重枠で囲まれる顔	認識する顔の数
（オート撮影）モード、連写モード（[顔認識オート]）	カメラに最も近い顔 ※他の顔は一重枠	最大12人
シーンモードのおまかせシーン、（夜景ポートレート）、[ポートレート]		
笑顔自動シャッター	画面中央に最も近い顔 ※他の顔は一重枠	最大3人

2 シャッターボタンを半押しする

- 二重枠で囲まれた顔にピントが合います。二重枠が緑色になりピントが固定されます。
- 二重枠が点滅しているときは、顔にピントが合っていません。もう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。
- シャッターボタンを全押しすると、シャッターがきれます。
- 笑顔自動シャッターでは、シャッターボタンを押さなくても、カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます（37）。

顔認識についてのご注意

- ［**顔認識オート**］では、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、AFエリア選択は、［**オート**］になります。
- シーンモードの［**ポートレート**］および（夜景ポートレート）では、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 顔の向きなど撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
  また、以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（29）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、（オート撮影）モードなどでAFエリア選択を［**マニュアル**］か［**中央**］に切り換え、等距離にある別の被写体でピントを合わせるフォーカスロック撮影（55）をお試しください。
- 顔認識して撮影した画像は、1コマおよびサムネイル表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（連写モード（80）で撮影した画像を除く）。

動く被写体にピントを合わせて撮影する（ターゲット追尾）

動きのある被写体を撮影するときに使います。ピントを合わせたい被写体を登録するとターゲット追尾が始まり、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。

1 （オート）撮影モードまたは連写モードでMENUボタンを押す

- 撮影メニューまたは連写メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［**AFエリア選択**］の［**ターゲット追尾**］を選び、Ⓚボタンを押す

- AFエリア選択→□53
- 設定したらMENUボタンを押して、撮影画面に戻ります。

3 被写体を登録する

- ピントを合わせたい被写体に画面中央の白色の枠を合わせ、Ⓚボタンを押します。
  - 被写体が登録されます。
  - 枠が赤色で表示されたときは、被写体にピントを合わせられません。構図を変えて、もう一度被写体を登録します。
- 被写体が登録されると、その被写体に黄色い二重枠のAFエリアが表示されます。
- ターゲットを変えたいときは、Ⓚボタンを押して現在の登録を解除します。
- カメラがターゲットを見失って AF エリア表示が消えたときは、もう一度被写体を登録してください。

4 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを半押しして、AFエリアでピントが合うと、AFエリア表示が緑色になり、ピントが固定されます。
- AFエリア表示が点滅したときは、被写体にピントが合っていません。もう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。
- AFエリアが表示されていない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれます。

ターゲット追尾についてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- ズーム位置、フラッシュモード、露出補正またはメニューは、被写体を登録する前に設定してください。被写体を登録した後に設定を変更すると、被写体の登録が解除されます。
- 被写体の動きが速いときや手ブレが大きいとき、類似した被写体がある場合など、撮影条件によっては、被写体をターゲットに登録できないことや追尾できないこと、または別の被写体を追尾することがあります。被写体の大きさや明るさなどによっても、適切にターゲット追尾できないことがあります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（29）の撮影では、AFエリア表示が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、（オート撮影）モードなどで［**AFエリア選択**］（53）を［**マニュアル**］か［**中央**］に切り換え、等距離にある別の被写体でピントを合わせるフォーカスロック撮影（55）をお試しください。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（87）

AFモード（オートフォーカスモード）

（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ AFモード

ピントの合わせ方を設定します。

シングルAF（初期設定）

シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせます。

常時AF

シャッターボタンを半押しするまで、常にピント合わせを繰り返します。動きのある被写体の撮影に適しています。常にピントを合わせる動作音がします。

AFモードについてのご注意

この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（87）

AFモードの設定について

連写モード（80）でも、MENUボタンを押すと設定できます。[**AFモード**］は、（オート撮影）モードと連写モードの両方に同じ設定が適用されます。

動画のAFモードについて

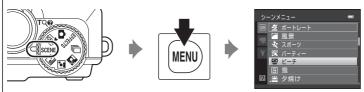
動画撮影時のAFモードは、動画メニュー（146）の［**AFモード**］（150）で設定します。

シーンに合わせて撮影する（シーンモード）

モードダイヤルやシーンメニューから、以下の撮影シーンを選ぶと、そのシーンに合った設定で撮影ができます。

（おまかせシーン）（62）

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別するので、より簡単にシーンに合った撮影ができます。

夜景（64）
夜景ポートレート（65）
逆光（66）

モードダイヤルを、またはに合わせて撮影します。

SCENE（シーン）

MENUボタンを押してシーンメニューを表示すると、以下の撮影シーンを選べます。

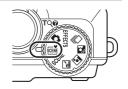
ポートレート（初期設定）（67）	風景（67）
スポーツ（68）	パーティー（68）
ビーチ（69）	雪（69）
夕焼け（69）	トワイライト（70）
クローズアップ（70）	料理（71）
ミュージアム（72）	打ち上げ花火（72）
モノクロコピー（73）	パノラマ（73）
ペット（74）	

- シーンメニューでシーンの種類を選び、ズームレバー（4）を **T**（?）方向に回すと、そのシーンの説明（ヘルプ）を表示できます。もとの画面に戻るには、もう一度ズームレバーを **T**（?）方向に回します。

画像モードの設定

シーンモードのときにMENUボタンを押すと、［**画像モード**］（47）を設定できます。画像モードの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります。

カメラまかせでシーンに合わせて撮影する（おまかせシーン）

構図を決めるだけでカメラが以下の撮影シーンを自動的に判別するので、より簡単にシーンに合った撮影ができます。

- ：オート撮影（一般的な撮影）
- ：風景
- ：夜景
- ：逆光
- ：ポートレート
- ：夜景ポートレート
- ：クローズアップ

1 モードダイヤルをに合わせる

- おまかせシーンになります。
- フラッシュが閉じていると、［**フラッシュが閉じています**］と表示されます。
- （フラッシュポップアップ）レバーをスライドして、フラッシュをポップアップしてください。

2 構図を決めて撮影する

- 撮影モードアイコンが切り換わります。
- シャッターボタンを半押しするとピントと露出が合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。
- シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれます。

いろいろな撮影

おまかせシーンのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、（オート撮影）モード（□24）に切り換えるか、目的にあったシーン（□64）を選んで撮影してください。

おまかせシーンでのピント合わせについて

- おまかせシーンでは、カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→□56）。
- 撮影モードアイコンがや（クローズアップ）のときは、［**AFエリア選択**］（□53）の［**オート**］と同様に9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアにピントが合います。

おまかせシーンでの夜景、夜景ポートレートの撮影について

- おまかせシーンで（夜景）に切り換わったときは、連続で撮影して画像を重ね合わせ、1コマ記録します。
- おまかせシーンで（夜景ポートレート）に切り換わったときは、フラッシュモードが赤目軽減固定になり、人物をフラッシュ撮影します（連写はしません）。
- 暗い場所では、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］（□178）を［**OFF**］にしてください。

フラッシュについて

- フラッシュモード（□32）は、AUTO（自動発光）（初期設定）または（発光禁止）を選べます。
  - AUTO（自動発光）にすると、自動判別したシーンに合わせて、カメラが自動的にフラッシュモードを設定します。
  - （発光禁止）にすると、フラッシュをポップアップしたままでも、フラッシュは発光しません。
- フラッシュを発光したくないときは、フラッシュを閉じたままでも撮影できます。

おまかせシーンで使える機能

- セルフタイマー（□35）および露出補正（□40）の設定ができます。
- 笑顔自動シャッター（□37）は使えません。
- ロータリーマルチセレクターのマクロモードボタン（□39）は使えません。

シーンを選んで撮影する（シーンモードの種類と特徴）

- モードダイヤルでシーンを選んで撮影できます（□61）。
- おまかせシーンについては、「カメラまかせでシーンに合わせて撮影する（おまかせシーン）」（□62）をご覧ください。
- 各シーンの説明で記載しているはフラッシュをポップアップしているときのフラッシュモード（□32）の設定です。はセルフタイマー（□35）、はマクロモード（□39）、は露出補正（□40）の設定です。

夜景

夜景の雰囲気を表現して撮影できます。
MENU ボタンを押すと、［**夜景**］から［**手持ち撮影**］または［**三脚撮影**］を選べます。

- ［**手持ち撮影**］（初期設定）：手持ちでも手ブレやノイズの少ない撮影ができます。
  - 撮影画面に アイコンが表示されます。
  - 画面左上の アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- ［**三脚撮影**］：三脚などで固定して撮影するときに使います。
  - 撮影画面に アイコンが表示されます。
  - ［**手ブレ補正**］（□178）は、セットアップメニュー（□169）の設定にかかわらず、自動で［**OFF**］になります。
  - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで 1 コマ撮影します。
- 電子ズームは使えません。
- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリア表示が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（□181）は点灯しません。

			OFF※1		OFF		0.0※2

※1 セルフタイマーを使えます。
※2 変更できます。

夜景ポートレート

夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。背景の雰囲気を活かしながら人物をフラッシュ撮影します。

MENU ボタンを押すと、［**夜景ポートレート**］から［**手持ち撮影**］または［**三脚撮影**］を選べます。

- ［**手持ち撮影**］: 手持ちでも手ブレやノイズの少ない撮影ができます。
  - 撮影画面に アイコンが表示されます。
  - 画面左上の アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
  - 連写している間、被写体が動くと画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることがあります。
- ［**三脚撮影**］（初期設定）: 三脚などで固定して撮影するときに使います。
  - 撮影画面に アイコンが表示されます。
  - ［**手ブレ補正**］（178）は、セットアップメニュー（169）の設定にかかわらず、自動で［**OFF**］になります。
  - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで 1 コマ撮影します。
- フラッシュをポップアップしてから撮影してください。
- 電子ズームは使えません。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について → 56）。
  - 複数の顔を認識したときは、最も カメラに近い顔にピントが合います。
  - 美肌機能で人物の顔（最大 3 人）の肌をなめらかにしてから画像を記録します（67）。
  - 顔を認識しないときは、画面中央でピントが合います。

フラッシュ	※1	セルフタイマー	OFF※2	マクロ	OFF	露出補正	0.0※2

※1 赤目軽減で強制発光します。

※2 変更できます。

逆光

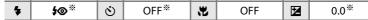
逆光状態での撮影に使います。
MENUボタンを押すと、撮影シーンに合わせて、[**HDR**] の [**ON**] / [**OFF**] を選べます。

［**HDR**］の［**OFF**］時（初期設定）：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。

- フラッシュをポップアップしてから撮影してください。
- 画面中央にピントを合わせます。シャッターボタンを全押しすると、1 コマ撮影します。

［**HDR**］の［**ON**］時：明暗差の大きい風景撮影に適しています。

- 撮影画面に HDR アイコンが表示されます。逆光アイコンは、明暗の差が大きいと緑色になります。
- 画面中央にピントを合わせます。電子ズームは使えません。
- シャッターボタンを全押しすると、高速で連写し、以下の 2 コマを記録します。
  - 撮影時に D- ライティング（□133）処理した画像
  - HDR（ハイダイナミックレンジ）合成した画像（白とびや黒つぶれを抑えた画像）
- 記録画像の 2 コマ目が HDR 合成した画像になります。記録可能コマ数が 1 コマの場合は、D- ライティング処理した画像のみ記録します。
- シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
- 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。

フラッシュ	強制発光/発光禁止※1	セルフタイマー	OFF※2	マクロ	OFF	露出補正	0.0※3

※1［**HDR**］の［**OFF**］時は強制発光（強制発光）に、［**HDR**］の［**ON**］時は発光禁止（発光禁止）に固定されます。
※2 セルフタイマーを使えます。
※3 変更できます。

SCENE ➔ ポートレート

人物のポートレート撮影に使います。

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→ 56）。
- 複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。
- 美肌機能で人物の顔（最大 3 人）の肌をなめらかにしてから画像を記録します。
- 顔を認識しないときは、画面中央でピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

	※		OFF※		OFF		0.0※

※ 変更できます。

SCENE ➔ 風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（6）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（181）は点灯しません。

			OFF※		OFF		0.0※

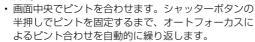
※ 変更できます。

美肌機能について

シーンモードの（夜景ポートレート）、または［**ポートレート**］では、シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。

- 画像の記録時間が通常より長くなることがあります。
- 効果の度合いは設定できません。撮影後に画像を再生して確認してください。
- 撮影後にも、記録した画像に美肌の編集ができます（134）。
- 撮影条件によっては、撮影時の画面で顔を認識していても、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

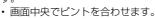
SCENE ➔ スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。

- 画面中央でピントを合わせます。シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。
- シャッターボタンを全押ししている間、最大約 1.8 コマ / 秒で約 24 コマ連写できます（画像モードが［**4000 × 3000**］のとき）。シャッターボタンから指をはなすと、撮影を終了します。
- ピントと露出、ホワイトバランスは 1 コマ目を撮影した条件に固定されます。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- AF 補助光（181）は点灯しません。

[フラッシュモード]	[発光禁止]	[セルフタイマー]	OFF	[マクロ]	OFF	[露出補正]	0.0※

※ 変更できます。

SCENE ➔ パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。

- 画面中央でピントを合わせます。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。暗い場所では、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］（178）を［**OFF**］にしてください。

[フラッシュモード]	[赤目軽減]※1	[セルフタイマー]	OFF※2	[マクロ]	OFF	[露出補正]	0.0※2

※1 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。変更できます。
※2 変更できます。

SCENE ➔ ビーチ

晴天の海や砂浜、湖などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。

フラッシュ	AUTO※	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF	露出補正	0.0※

※ 変更できます。

SCENE ➔ 雪

晴天の雪景色を明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。

フラッシュ	AUTO※	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF	露出補正	0.0※

※ 変更できます。

SCENE ➔ 夕焼け （三脚）

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。

- 画面中央でピントを合わせます。

フラッシュ	発光禁止※	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF	露出補正	0.0※

※ 変更できます。

（三脚）：（三脚）がついたシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］（178）を［**OFF**］にしてください。

SCENE ➔ 🌆 トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（📖6）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（📖181）は点灯しません。

⚡	⊛	⏲	OFF※	🌷	OFF	±	0.0※

※ 変更できます。

SCENE ➔ 🌷 クローズアップ

草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- マクロモード（📖39）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- 最短撮影距離はズーム位置によって異なります。🌷 マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置（△ マークより広角側）では、レンズ前約 11 cm までの被写体にピントを合わせられます。また、最も広角側のズーム位置では、レンズ前約 4 cm までの被写体にピントを合わせられます。

- ［**AF エリア選択**］は［**マニュアル**］になり、ピントを合わせるエリア（AF エリア）を選べます（📖53）。OK ボタンを押して、ロータリーマルチセレクターを回すか、▲▼◀▶ を押すと AF エリアが移動します。
  以下の設定をするときは、OK ボタンを押していったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - フラッシュモード
  - セルフタイマー
  - 露出補正
- シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。
- 手ブレしやすいため、［**手ブレ補正**］（📖178）の設定を確認し、カメラをしっかり持ってください。

⚡	⊛※	⏲	OFF※	🌷	ON	±	0.0※

※ 変更できます。フラッシュ撮影時は、撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがありますのでご注意ください。

三脚マーク：三脚マークがついたシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］（📖178）を［**OFF**］にしてください。

SCENE ➔ 料理

料理の撮影に使います。

- マクロモード（□39）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- 最短撮影距離はズーム位置によって異なります。
  マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置（マークより広角側）では、レンズ前約 11 cm までの被写体にピントを合わせられます。また、最も広角側のズーム位置では、レンズ前約 4 cm までの被写体にピントを合わせられます。
- 色合いを画面左のスライダー表示の範囲で調整できます。ロータリーマルチセレクターの ▲ を押すと赤み、▼ を押すと青みが増します。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。

- ［**AF エリア選択**］は［**マニュアル**］になり、ピントを合わせるエリア（AF エリア）を選べます（□53）。
  ボタンを押して、ロータリーマルチセレクターを回すか、▲▼◀▶ を押すと AF エリアが移動します。
  以下の設定をするときは、ボタンを押していったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - 色合い
  - セルフタイマー
  - 露出補正
- シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。
- 手ブレしやすいため、［**手ブレ補正**］（□178）の設定を確認し、カメラをしっかり持ってください。

			OFF※		ON		0.0※

※ 変更できます。

SCENE ➔ ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。

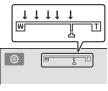
- 画面中央でピントを合わせます。
- BSS（ベストショットセレクター）（□82）を使って撮影できます。
- 手ブレしやすいため、［**手ブレ補正**］（□178）の設定を確認し、カメラをしっかり持ってください。
- AF 補助光（□181）は点灯しません。

			OFF※		OFF※		0.0※

※ 変更できます。

SCENE ➔ 打ち上げ花火

スローシャッターで、打ち上げ花火を撮影します。

- 遠景にピントが固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（□6）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（□181）は点灯しません。
- 使用できる光学ズームの位置は、右の 5 箇所になります。ズームレバーの操作時は、5 箇所以外のズーム位置には止まりません（電子ズームは使用できます）。

			OFF		OFF		0.0

： がついたシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］（□178）を［**OFF**］にしてください。

SCENE ➔ 🗋 モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（📖39）を併用してください。
- 赤色、青色などの被写体を撮影すると、文字などが薄くなることがあります。

⚡	⊛※	🕓	OFF※	🌷	OFF※	☑	0.0※

※ 変更できます。

SCENE ➔ ⌘ パノラマ

パノラマ写真の撮影に使います。
シーンモードの⌘［パノラマ］を選ぶと表示される画面で、［**かんたんパノラマ**］または［**パノラマアシスト**］を選べます。

- ［**かんたんパノラマ**］（初期設定）：パノラマ写真をつくりたい方向にカメラを動かすだけで、カメラで再生可能なパノラマ写真を撮影できます。
  →「かんたんパノラマを使った撮影方法」（📖75）
  →「かんたんパノラマで撮影した画像の再生方法」（📖77）
- ［**パノラマアシスト**］：複数の画像を、つなぎ目を確認しながら撮影します。撮影した画像は、パソコンに転送してから付属のソフトウェア「**Panorama Maker 5**」（📖161）で合成できます。
  →「パノラマアシストを使った撮影方法」（📖78）

⚡	⊛※1	🕓	OFF※2	🌷	OFF※1	☑	0.0※3

※1 ［**パノラマアシスト**］のときは、変更できます。

※2 ［**パノラマアシスト**］のときは、セルフタイマーを使えます。

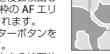
※3 変更できます。

パノラマ写真をプリントするときのご注意

パノラマ写真をプリントする場合、プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。
詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。

SCENE ➔ 🐈 ペット

犬または猫の撮影に使います。カメラが犬または猫の顔を検出し、その顔にピントを合わせます。ピントが合うと、初期設定では自動でシャッターをきります（ペット自動シャッター）。

- シーンモードの 🐈［**ペット**］を選ぶと表示される画面で、［**単写**］または［**連写**］を選びます。
  - ［**単写**］：1 コマずつ撮影します。
  - ［**連写**］：検出した顔にピントが合うと、3 コマ連写します（連写速度：画像モードが［**4000 × 3000**］のとき約 1.8 コマ / 秒）。［**連写**］設定時は、撮影画面に アイコンが表示されます。
- 検出した顔は、二重枠の AF エリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が緑色になります。
  最大 5 匹の顔を同時に検出します。顔を複数検出したときは、画面内で最も大きい顔が二重枠の AF エリア表示で、それ以外の顔が一重枠で囲まれます。

- ペットを検出していないときも、シャッターボタンを押すとシャッターをきることができます。
  - ペットを検出していないときは、画面中央の被写体でピントを合わせます。
  - ［**連写**］設定時は、シャッターボタンを全押ししている間、最大約 1.8 コマ / 秒で約 24 コマ連写できます（画像モードが［**4000 × 3000**］のとき）。シャッターボタンから指をはなすと、撮影を終了します。
- ロータリーマルチセレクターの ◀（）を押すと、自動シャッターの設定を変更できます。
  - ［**ペット自動シャッター**］（初期設定）：検出した顔にピントが合うと自動でシャッターをきります。［**ペット自動シャッター**］設定時は、撮影画面に アイコンが表示されます。
  - ［**OFF**］：シャッターボタンのみでシャッターをきります。
- 電子ズームは使えません。
- AF 補助光（🕮181）は点灯しません。設定音、シャッター音（🕮183）は鳴りません。
- ペットとの距離、ペットの動く速さ、顔の向きや明るさなど、撮影条件によっては、犬や猫を検出しないことや、犬や猫以外を検出することがあります。
- 以下の場合は［**ペット自動シャッター**］が自動的に［**OFF**］になります。
  - 自動シャッターによる連写を 5 回繰り返したとき
  - 節電による待機状態（🕮19）から復帰したとき
  - 撮影中に内蔵メモリーまたは SD カードの残量がなくなったとき

  ［**ペット自動シャッター**］での撮影を続けるときは、ロータリーマルチセレクターの ◀（）を押し、再設定してください。

			※1		OFF※2		0.0※2

※1 OFFに変更できます。セルフタイマー（10s、2s）は使えません。

※2 変更できます。

かんたんパノラマを使った撮影方法

1 モードダイヤルを SCENE（シーン）に合わせ、MENU ボタンを押して⌘［パノラマ］を選ぶ（□61）

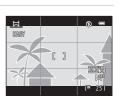
2 EASY［かんたんパノラマ］を選び、Ⓚボタンを押す

3 撮影する範囲を STD［標準（180°）］または WIDE［ワイド（360°）］から選び、Ⓚボタンを押す

- カメラを横位置で構えたときの画像サイズ（ヨコ×タテ）は、以下のとおりです。
  - STD［**標準（180°）**］：水平に移動時 3200 × 560、垂直に移動時1024×3200
  - WIDE［**ワイド（360°）**］：水平に移動時6400×560、垂直に移動時1024×6400
  - カメラを縦位置で構えたときの画像サイズは、移動方向とタテとヨコの組み合わせが入れ替わります。

4 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ズーム位置は、広角側に固定されます。
- 画面に格子のガイドが表示されます。
- 画面中央でピントを合わせます。
- 露出補正（□40）が設定できます。
- 主要被写体にピントや露出が合わないときは、フォーカスロック撮影（□55）をお試しください。

いろいろな撮影

5 シャッターボタンを全押しし、シャッターボタンから指を離す

- カメラを動かす方向を示すᐅマークが表示されます。

6 カメラを4方向のいずれかに、まっすぐゆっくりと動かし、撮影を開始する

- カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
- 現在の撮影地点を示すガイドが表示されます。
- 撮影地点を示すガイドが端まで到達すると撮影が終了します。

カメラの動かし方の例

- 撮影者は動かずに、カメラを水平方向、または垂直方向に円弧を描くように動かします。
- パノラマ範囲が180°のときは約15秒以内、360°のときは約30秒以内を目安に、範囲の端から端まで動かしてください。

かんたんパノラマ撮影時のご注意

- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいときなどはエラーになります。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。

かんたんパノラマで撮影した画像の再生方法

再生モードにして（□30、89）、かんたんパノラマで撮影した画像を1コマ表示し、OKボタンを押すと、画像の短辺を画面いっぱいに表示し、表示範囲を自動で移動（スクロール）します。

- 撮影したときと同じ方向で、スクロールします。
- ロータリーマルチセレクターを回すと、早送り/早戻しができます。

再生中は、画面上部に操作パネルが表示されます。ロータリーマルチセレクターの◀▶で操作パネルのアイコンを選び、OKボタンを押すと以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容	
巻き戻し	◀◀	OKボタンを押している間、スクロールを早戻しします。	
早送り	▶▶	OKボタンを押している間、スクロールを早送りします。	
一時停止	❚❚	一時停止中に画面上部の操作パネルのアイコンで以下の操作ができます。	
		◀❚❚	OKボタンを押している間、巻き戻しします。※
		❚❚▶	OKボタンを押している間、スクロールします。※
		▶	自動スクロールを再開します。
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。	

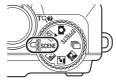
※ロータリーマルチセレクターを回してもスクロールします。

かんたんパノラマ画像のスクロール再生についてのご注意

COOLPIX S9100以外のかんたんパノラマで撮影した画像は、スクロール再生や拡大表示ができないことがあります。

パノラマアシストを使った撮影方法

画面中央でピントを合わせます。三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□169）の［**手ブレ補正**］（□178）を［**OFF**］にしてください。

1 モードダイヤルを SCENE（シーン）に合わせ、MENU ボタンを押して ⌘［パノラマ］を選ぶ（□61）

2 ASSIST［パノラマアシスト］を選び、OK ボタンを押す

- パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示す ▷ マークが表示されます。

3 ロータリーマルチセレクターでパノラマ方向を選び、OK ボタンを押す

- 右方向につなげるときは ▷、左方向は ◁、上方向は △、下方向は ▽ を選びます。
- 選んだ方向に黄色い ▷▷ マークが移動し、OK ボタンを押すと方向を決定します。決定した方向の ▷（白色）が表示されます。

- フラッシュモード（□32）、セルフタイマー（□35）、マクロモード（□39）、露出補正（□40）を設定したいときは、ここで設定します。
- もう一度 OK ボタンを押すと、パノラマ方向を選び直せます。

4 一番端の被写体に構図を合わせ、1コマ目を撮影する

- 撮影した画像が、画面の約1/3の部分に半透明で表示されます。

いろいろな撮影

5 2コマ目以降を撮影する

- 次の被写体の1/3が前の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押します。
- この手順を繰り返して、必要な画像を撮影します。

6 必要な画像を撮影し終わったら、OK ボタンを押す

- 手順2の状態に戻ります。

パノラマアシストについてのご注意

- フラッシュモード、セルフタイマー、マクロモード、露出補正は、1コマ目のシャッターをきる前に設定してください。1コマ目を撮影した後は変更できません。1コマ目を撮影した後は、［**画像モード**］（□47）の変更やズーム操作、画像の削除もできません。
- 撮影中にオートパワーオフ（□184）による待機状態になると撮影が終了します。オートパワーオフの時間を長めに設定しておくことをおすすめします。

AE/AF-L表示について

パノラマアシストモードでは、パノラマ写真を構成するすべての画像を、1コマ目と同じ露出、ホワイトバランスおよびピントで撮影します。
1コマ目を撮影すると、露出、ホワイトバランスとピントをロック（固定）したことを示すAE/AF-Lが画面に表示されます。

パノラマ写真に合成するには

撮影した画像はパソコンに転送して（□157）、Panorama Maker 5でパノラマ写真に合成できます（□161）。
Panorama Maker 5は、付属のViewNX 2 CD-ROMを使ってパソコンにインストールできます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□200

連続撮影する（連写モード）

動きのある被写体を連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。

- ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。

1 モードダイヤルを 🔲（連写）に合わせる

- 連写モードになります。

2 MENUボタンを押して、連写メニューの設定を確認または変更する

- 連写メニュー→📖82
- 設定したらMENUボタンを押して、撮影画面に戻ります。

3 構図を決めて撮影する

- 初期設定では、カメラが人物の顔を認識した場合は、顔にピントが合います（顔認識撮影について→📖56）。人物の顔を認識していない場合は、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアにピントが合います。

- シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が固定されます。
- 連写メニューを［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**先取り撮影**］、［**BSS**］に設定したときは、シャッターボタンの全押しを続けて連写します。
- 連写メニューを［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、［**マルチ連写**］に設定したときは、シャッターボタンを全押しすると、設定に応じたコマ数を一度に連写します。シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- 撮影終了後、撮影画面に戻ります。⌛ マークが表示された場合は、カメラの電源をOFFにしないでください。

連写モードについてのご注意

- 撮影後の画像の記録に時間がかかります。記録が終了するまでの時間は、撮影コマ数、画像モード、SDカードへの書き込み速度などによって異なります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- ［**連写**］の設定を［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、［**マルチ連写**］にすると、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いにばらつきが発生することがあります。

連写モードで使える機能

- 明るさ（露出補正）、色合い、鮮やかさをクリエイティブスライダーで調整できます（□40）。
- MENUボタンを押して、□（連写）メニューを表示すると、連写モードの設定を変更できます（□82）。
- フラッシュ、セルフタイマーは使えません。

連写モードで撮影した画像について

［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］で撮影した画像は、撮影ごとに「連写グループ」として保存されます（□92）。

関連ページ

- オートフォーカスが苦手な被写体→□29
- 連写で撮影した画像の再生（連写グループについて）→□92

連写モードの設定を変える

（連写）モードの撮影画面にしてから（□80）、MENUボタン（□5）を押すと、連写メニューで以下の項目を設定できます。

- ［**連写**］以外の項目は、（オート撮影）モードの設定と連動して適用され、電源をOFFにしても記憶されます。
- メニューの選択と設定にはロータリーマルチセレクターを使います（□11、12）。
- メニュー表示を終了するには、MENUボタンを押します。
- 複数の機能を同時に設定できないことがあります（□87）。

画像モード □47

記録時の画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を選びます（［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、または［**マルチ連写**］を除く）。画像モードの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります。

ホワイトバランス □49

画像を見た目に近い色で記録するように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。

測光方式 □51

カメラが被写体の明るさを測る方式を設定します。

連写

連写の種類を選びます。
連写の設定は、撮影時の画面で確認できます（□6）。

種類	内容
連写 H（初期設定）	シャッターボタンを全押ししている間、約9.5コマ/秒で連写できます（画像モードが［**4000×3000**］のとき）。シャッターボタンから指をはなすか、5コマ連写すると、撮影を終了します。
連写 L	シャッターボタンを全押ししている間、最大約1.8コマ/秒で約24コマ連写できます（画像モードが［**4000×3000**］のとき）。シャッターボタンから指をはなすと、撮影を終了します。

種類	内容
先取り撮影	先取り撮影を使うと、シャッターボタンを全押しする直前の画像も記録し、シャッターチャンスを逃しにくくなります。 シャッターボタンの半押しで先取りを開始し、そのまま全押しを続けると連写します（□84）。 • 連写速度：最大 7.5 コマ / 秒 • 連続撮影コマ数： 最大 5 コマ（先取り撮影の最大 2 コマを含む） シャッターボタンから指をはなすか、最大コマ数連写すると、撮影を終了します。
120 高速連写 120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、約1/125秒以上の高速シャッタースピードで50コマ連写します。 記録される画像モードは 1M（画像サイズ：1280×960ピクセル）に固定されます。
60 高速連写 60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、約1/60秒以上の高速シャッタースピードで25コマ連写します。 記録される画像モードは 2M（画像サイズ：1600×1200ピクセル）に固定されます。
BSS BSS（ベストショットセレクター）	暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。 シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大5コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。 •［**BSS**］は静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。
マルチ連写	シャッターボタンを1回全押しすると約30コマ/秒で16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。 • 記録される画像モードは 5M（画像サイズ：2560 × 1920 ピクセル）に固定されます。 • 電子ズームは使えません。

いろいろな撮影

ISO感度設定 □52

被写体の明るさなどに応じて、ISO感度を設定します。

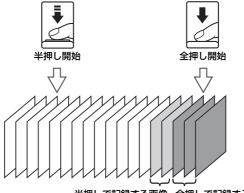
AFエリア選択 □53

オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

AFモード □60

ピントの合わせ方を設定します。

先取り撮影について

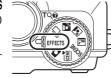
［**先取り撮影**］を設定しているときに、シャッターボタンを0.5秒以上半押しすると撮影を開始し、全押しする直前の画像も連続撮影コマ数の一部として記録できます。先取り撮影できるコマ数は、2コマまでです。
先取り撮影の設定は、撮影時の画面で確認できます（□6）。先取り撮影を設定していないときは、何も表示されません。シャッターボタンの半押し中は、先取り撮影アイコンが緑色に変わります。

- 記録可能コマ数が5コマ未満のときは、先取り撮影できません。撮影前に記録可能コマ数が5コマ以上残っていることをご確認ください。

効果を付けて撮影する（スペシャルエフェクトモード）

画像に以下のいずれかの効果を付けて撮影できます。

種類	内容
ソフト	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
ノスタルジックセピア	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
硬調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。
セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。

1 モードダイヤルをEFFECTS（スペシャルエフェクト）に合わせる

- スペシャルエフェクトモードになります。

2 MENU ボタンを押してスペシャルエフェクトメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで［スペシャルエフェクト］を選んでⓀボタンを押す

- スペシャルエフェクトの種類を選択する画面が表示されます。

3 ▲または▼で効果を選び、Ⓚボタンを押す

- 設定したらMENUボタンを押して、撮影画面に戻ります。

4 構図を決めて撮影する

- 画面中央でピントを合わせます。
- 手順3で［**セレクトカラー**］を選んだときは、残したい色をロータリーマルチセレクターを回すか、▲▼を押してスライダーから選びます。
  以下の設定をするときは、Ⓚボタンを押していったん色を選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - フラッシュモード（□32）
  - セルフタイマー（□35）
  - マクロモード（□39）
  - 露出補正（□44）

  もう一度Ⓚボタンを押すと、再び色を選べる状態になります。

スペシャルエフェクトモードで使える機能

- MENU ボタンを押して、（スペシャルエフェクト）メニューを表示すると、［**画像モード**］で、記録時の画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を選べます。画像モードの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります（□47）。
- フラッシュモード（□32）、セルフタイマー（□35）、マクロモード（□39）、露出補正（□44）の設定ができます。

同時に設定できない機能

（オート撮影）モード（24）または連写モード（80）の撮影メニュー（46、82）と連写メニューには、他の機能と組み合わせて使えない設定があります。

制限される機能	設定	内容
セルフタイマー	AFエリア選択（53）	［**AFエリア選択**］を［**ターゲット追尾**］にすると、セルフタイマーは使えません。
マクロモード	AFエリア選択（53）	［**AFエリア選択**］を［**ターゲット追尾**］にすると、マクロモードは使えません。
画像モード	連写（80）	［**高速連写 120 fps**］で撮影するときは、記録される画像モードは（画像サイズ：1280×960ピクセル）に固定されます。［**高速連写 60 fps**］で撮影するときは、（画像サイズ：1600×1200ピクセル）に固定されます。［**マルチ連写**］で撮影するときは、（画像サイズ：2560×1920ピクセル）に固定されます。
ホワイトバランス	クリエイティブスライダーの色合い（41）	クリエイティブスライダーで色合いを調整して撮影するときは、撮影メニューの［**ホワイトバランス**］は設定できません。
	連写（80）	［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］または［**高速連写 60 fps**］で撮影するときは、［**ホワイトバランス**］は［**オート**］に固定されます。
測光方式	連写（80）	［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］または［**高速連写 60 fps**］で撮影するときは、［**測光方式**］は［**マルチパターン**］に固定されます。
ISO 感度設定	連写（80）	［**連写L**］で撮影するときは、［**3200**］は選べません。［**ISO 感度設定**］が［**3200**］のときに［**連写L**］にすると、［**1600**］に変更されます。
		［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］または［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**ISO感度設定**］は明るさに応じて自動的に設定されます。

同時に設定できない機能

制限される機能	設定	内容
AFエリア選択	笑顔自動シャッター（□37）	［**AFエリア選択**］の設定にかかわらず顔認識撮影になります。
	連写（□80）	［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］または［**高速連写 60 fps**］で撮影するときは、［**AFエリア選択**］は［**中央**］に固定されます。
AFモード	連写（□80）	［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］または［**高速連写 60 fps**］で撮影するときは、［**AFモード**］は［**シングルAF**］に固定されます。
デート写し込み	連写（□80）	［**マルチ連写**］以外にして撮影するときは、日付を写し込めません。
モーション検知	ISO 感度設定（□52）	ISO 感度を［**オート**］以外にすると［**モーション検知**］は作動しません。
	AFエリア選択（□53）	［**AFエリア選択**］を［**ターゲット追尾**］にすると、［**モーション検知**］は作動しません。
AF補助光	連写（□80）	［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］または［**高速連写 60 fps**］で撮影するときは、AF補助光は点灯しません。
電子ズーム	AFエリア選択（□53）	［**AFエリア選択**］を［**ターゲット追尾**］にすると、電子ズームは使えません。
	連写（□80）	［**マルチ連写**］にして撮影するときは、電子ズームは使えません。
目つぶり検出設定	笑顔自動シャッター（□37）	目つぶり検出しません。

連写モードで使えない機能

連写モードで撮影するときは、以下の機能は使えません。

- フラッシュモード（□32）
- セルフタイマー（□35）/笑顔自動シャッター（□37）
- モーション検知（□180）
- 目つぶり検出設定（□188）

関連ページ

電子ズームについてのご注意→□182

1コマ表示中の操作

撮影モードのときに▶（再生）ボタンを押すと再生モードになり、撮影した画像を再生します（📖30）。

1コマ表示では、以下の操作ができます。

機能	操作部	内容	📖
画像を選ぶ	(OK)	▲▼◀▶で前後の画像を表示します。 ▲▼◀▶を押し続けると早送りします。 ロータリーマルチセレクターを回しても画像を選べます。	11
画像を一覧表示する/カレンダー表示にする	W（⊞）	4コマ、9コマ、16コマ、または72コマのサムネイル画像を表示します。72コマ表示でW（⊞）方向に回すと、カレンダー表示になります（撮影日一覧モードを除く）。	94、96
画像を拡大する	T（🔍）	最大約10倍までの倍率に拡大します。Ⓚボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。	97
撮影情報を表示する	Ⓚ	ヒストグラムと撮影情報を表示します。Ⓚボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。	91
かんたんパノラマで撮影した画像をスクロール再生する	Ⓚ	表示中の画像の短辺を画面いっぱいに表示し、表示範囲を自動で移動します。	77
連写グループを1コマずつ表示する	Ⓚ	連写した画像を代表画像の1コマのみで表示しているときに押すと、同じ連写グループのすべての画像を1コマずつ展開して表示します。代表画像のみの表示に戻すには、ロータリーマルチセレクターの▲を押します。	92
動画を再生する	Ⓚ	表示中の動画を再生します。	152
画像を削除する	🗑	削除方法を選んで画像を削除します。 お気に入り再生モード（📖101）、オート分類再生モード（📖109）、撮影日一覧モード（📖113）では、同じフォルダー、分類または撮影日の画像が削除の対象になります。	31、93

1 コマ表示中の操作

機能	操作部	内容	📖
メニューを表示する	MENU	選んでいるモードに応じたメニューを表示します。	115
再生モードを切り換える	MENU	メニューを表示して、MODE（再生モード）タブを選ぶと、お気に入り再生モード、オート分類再生モード、撮影日一覧モードへの切り換えができます。	99
撮影に切り換える	▶ シャッターボタン ●	▶ボタンまたはシャッターボタンを押します。●（動画撮影）ボタンを押しても、撮影に切り換わります。	30

画像の向き（縦横位置）を変更するには

撮影後に、再生メニュー（📖115）の［**画像回転**］（📖124）で変更できます。

ヒストグラムと撮影情報を表示する

1コマ表示中にⓀボタンを押すと、ハイライト表示とヒストグラム、撮影情報を表示します。1コマ表示に戻るには、もう一度Ⓚボタンを押します。

1	ハイライト表示※1	6	露出補正値
2	フォルダー名	7	ISO感度
3	ファイル名	8	画像番号/全画像数
4	絞り値	9	ヒストグラム※2
5	シャッタースピード		

※1 画像の中の非常に明るい部分（ハイライト部分）を点滅表示します。露出補正などで画像の明るさを調整する際の目安になります。

※2 ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。
横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。

ヒストグラムと撮影情報についてのご注意

以下の場合は表示されません。

- 連写グループの画像（代表画像のみで、まとめて表示しているとき）
- かんたんパノラマで撮影した画像
- 動画

連写で撮影した画像の再生（連写グループについて）

以下の設定で撮影した画像は、撮影ごとに「連写グループ」として保存されます。

- 連写モード（□80）
  - 連写 H
  - 連写 L
  - 先取り撮影
  - 高速連写 120 fps
  - 高速連写 60 fps
- シーンモード（□64）
  - スポーツ
  - ペット（[**連写**] 時）

再生モードの1コマ表示やサムネイル表示（□94）では、連写グループの1コマ目の画像が代表画像として表示されます。

- 連写グループの画像には、再生画面で ▣ が表示されます（□8）。

連写グループ表示

代表画像の1コマ表示中に ⓞ ボタンを押すと、連写グループ内の画像を1コマずつ展開して表示します。代表画像のみの表示に戻すには、ロータリーマルチセレクターの▲を押します。

連写グループ内の画像を1コマずつ展開して表示しているときは、以下の操作ができます。

- 画像を選ぶ：ロータリーマルチセレクターを回すか、◀▶を押します。
- 拡大表示する：ズームレバーを**T**（Q）方向に回します（□97）。
- ヒストグラムと撮影情報を表示する：ⓞ ボタンを押します（□91）。

連写グループの表示方法について

再生メニューの［**連写グループ表示方法**］（□129）で、すべての連写グループの表示方法を代表画像のみにするか、1コマずつ展開して表示にするかを設定できます。

連写グループの代表画像を変更する

代表画像は、再生メニューの［**連写の代表画像選択**］（□129）で変更できます。

連写グループの画像を削除する

再生メニューで［**連写グループ表示方法**］（□129）を［**代表画像のみ**］にしていた場合、🗑ボタンを押して削除方法を選ぶと、以下の画像が削除の対象になります。

- 代表画像のみで、まとめて表示している場合：
  - ［**表示画像**］：連写グループを選択していたときは、同じ連写グループの画像をすべて削除します。
  - ［**削除画像選択**］：削除画像の選択画面（□31）で代表画像を選ぶと、同じ連写グループの画像をすべて削除します。
  - ［**全画像**］：表示中の連写グループを含む、すべての画像を削除します。
- 🗑ボタンを押す前に、代表画像を選びⓀボタンを押して、同じ連写グループ内の画像を1コマずつ展開している場合：
  削除方法の項目が以下に変わります。
  - ［**表示画像削除**］：表示している1コマを削除します。
  - ［**削除画像選択**］：削除画像の選択画面（□31）で、同じ連写グループの画像を複数選択して削除します。
  - ［**表示グループ削除**］：表示している1コマを含む、同じ連写グループの画像をすべて削除します。

✔ 連写グループについてのご注意

COOLPIX S9100以外で連写した画像は、連写グループとして表示できません。

🖉 連写グループで使える再生メニュー

代表画像再生中にMENUボタンを押すと、同じ連写グループの画像を対象に以下のメニュー操作ができます。

- 簡単レタッチ※1 →□132
- 美肌※1 →□134
- フレーム※1 →□137
- スライドショー →□121
- 画像回転※1 →□124
- 音声メモ※1 →□125
- 連写グループ表示方法 →□129
- お気に入り登録※2 →□101
- D- ライティング※1 →□133
- フィルター効果※1 →□135
- プリント指定※2 →□117
- プロテクト設定※2 →□122
- スモールピクチャー※1 →□138
- 画像コピー※2 →□127
- 連写の代表画像選択 →□129

※1 1コマずつ展開して表示してからMENUボタンを押してください。画像ごとに設定できます。

※2 代表画像再生中にMENUボタンを押すと、同じ連写グループの画像をまとめて同じ設定にできます。1コマずつ展開して表示してからMENUボタンを押すと、画像ごとに設定できます。

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示）

再生モードの1コマ表示（📖89）でズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。
サムネイル表示では、以下の操作ができます。

機能	操作部	内容	📖
画像を選ぶ	OK	ロータリーマルチセレクターを回すか、▲▼◀▶を押します。	11
表示コマ数を増やす/カレンダーを表示する	**W**（▦）	ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、4コマ→9コマ→16コマ→72コマ表示に切り換わります。 72コマ表示で**W**（▦）方向に回すと、カレンダー表示になります（撮影日一覧モードを除く）。 「カレンダー表示」にすると、撮影日単位で画像の選択を移動できます（📖96）。 **T**（🔍）方向に回すと、サムネイル表示に戻ります。	–
表示コマ数を減らす	**T**（🔍）	ズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと、72コマ→16コマ→9コマ→4コマに切り換わります。 4コマ表示で**T**（🔍）方向に回すと、1コマ表示に戻ります。	
画像を削除する	🗑	削除方法を選んで画像を削除します。 お気に入り再生モード（📖101）、オート分類再生モード（📖109）、撮影日一覧モード（📖113）では、同じフォルダー、分類または撮影日の画像が削除の対象になります。	31
1コマ表示に戻る	Ⓚ	Ⓚボタンを押します。	89

機能	操作部	内容	📖
撮影に切り換える	▶ / シャッターボタン / ●	▶ボタンまたはシャッターボタンを押します。●（動画撮影）ボタンを押しても、撮影に切り換わります。	30

サムネイルに表示されるマーク

［**プリント指定**］（📖117）や［**プロテクト設定**］（📖122）をした画像の選択中は右のマークが表示されます。
連写グループ（📖92）の画像を選択中は右のマークが表示されます。
動画は、映画フィルムの1コマのように表示されます（サムネイル表示を72コマ表示にした場合、動画の選択中に画面上部に🎥が表示されます）。

お気に入り再生およびオート分類再生中のサムネイル表示

- お気に入り再生（📖101）では、再生しているお気に入りフォルダーのアイコンが画面右上に表示されます。
- オート分類再生（📖109）では、再生している分類のアイコンが画面右上に表示されます。

カレンダー表示

再生モードのサムネイル表示を72コマ表示にした後（□94）、さらにズームレバーを**W**（▦）方向に回すと「カレンダー表示」になります（撮影日一覧モードを除く）。
撮影日単位で画像の選択を移動できます。撮影画像のある日付には、黄色の下線が表示されます。

カレンダー表示では、以下の操作ができます。

機能	操作部	内容	□
日付を選ぶ	(OK)	ロータリーマルチセレクターを回すか、▲▼◀▶を押します。	11
1コマ表示に戻る	ⓚ	選んだ日の最初に撮影した画像の1コマ表示に移動します。	89
サムネイル表示に戻る	**T**（🔍）	ズームレバーを**T**（🔍）方向に回します。	94

✔ カレンダー表示についてのご注意

- 日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2011年1月1日」の画像として扱われます。
- カレンダー表示中は、🗑ボタンおよびMENUボタンは使えません。

撮影日一覧モードについて

「撮影日一覧モード」（□113）を使うと、同じ日付の画像だけを再生できます。
また、選んだ日付の画像だけを対象に撮影日一覧メニュー（□114）の操作ができます。

画像を拡大表示する

再生モードの1コマ表示（📖89）でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、表示中の画像の中央部が拡大表示されます。

- 画面右下のガイドは、画像のどの部分を表示しているかを示しています。

拡大表示では、以下の操作ができます。

機能	操作部	内容	📖
拡大率を上げる	**T**（Q）	ズームレバーを**T**（Q）方向に回します。約10倍まで拡大できます。	–
拡大率を下げる	**W**（⊞）	ズームレバーを**W**（⊞）方向に回します。倍率が1倍になると、1コマ表示に戻ります。	–
表示範囲を移動する	(OK)	ロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶を押して、表示範囲を移動します。	11
画像を削除する	🗑	削除方法を選んで画像を削除します。 お気に入り再生モード（📖101）、オート分類再生モード（📖109）、撮影日一覧モード（📖113）では、同じフォルダー、分類または撮影日の画像が削除の対象になります。	31
1コマ表示に戻る	Ⓚ	Ⓚボタンを押します。	89
画像の一部を切り抜く（トリミング）	MENU	拡大表示した部分だけを別画像として保存します。	139
撮影に切り換える	▶ シャッターボタン ●	▶ボタンまたはシャッターボタンを押します。●（動画撮影）ボタンを押しても、撮影に切り換わります。	30

いろいろな再生

顔認識またはペット検出して撮影した画像の場合

顔認識（□56）またはペット検出（□74）して撮影した画像は、1コマ表示でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示されます（シーンモードの［**ペット**］（□74）で連写した画像、連写モード（□80）で撮影した画像を除く）。

- 複数の顔を認識していたときは、ピント合わせを行った顔を中心に拡大表示され、ロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶を押すと表示する顔が切り換わります。
- さらに**T**（Q）方向または**W**（▦）方向に回すと拡大率が変わり、通常の拡大表示になります。

分類して再生する

以下の再生モードを選べます。

▶	**再生**	📖89
	撮影したすべての画像を再生します。	
★	**お気に入り再生**	📖101
	お気に入りフォルダーに登録した画像を再生します。	
AUTO	**オート分類再生**	📖109
	撮影時に自動分類された項目を選んで、画像や動画を再生します。	
12	**撮影日一覧**	📖113
	撮影日を選んで、画像を再生します。	

1 再生時にMENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターの◀を押す

- タブが選べるようになります。

3 ▲▼を押してMODEタブを選ぶ

4 ▶またはOKボタンを押す

- 再生モードメニューが表示されます。

5 ロータリーマルチセレクターで設定したいモードを選ぶ

- 再生モードを切り換えずに再生モードに戻るには、MENUボタンを押します。

6 ⓚボタンを押す

- 選んだモードに切り換わります。

お気に入りの画像を分類する（お気に入り再生）

撮影した画像は、お気に入りフォルダーへ登録して分類できます。
登録後は、「お気に入り再生モード」にすると、登録した画像だけを再生できます。

- お気に入りフォルダーに登録しておくと、画像を探すときに見つけやすくなります。
- 画像を旅行や結婚式などのイベントごとに分類して再生できます。
- 同じ画像を複数のフォルダーに登録できます。

画像をお気に入りフォルダーに登録する

撮影した画像をお気に入りフォルダーに登録して分類します。

1 再生モード（30）、オート分類再生モード（109）または撮影日一覧モード（113）で画像を選び、MENU ボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［お気に入り登録］を選び、OKボタンを押す

- お気に入り登録画面が表示されます。

3 ロータリーマルチセレクターを回すか、◀▶を押して、登録したい画像を選び、▲を押してを表示する

- 同じお気に入りフォルダーに登録したい画像が複数あるときは、この手順を繰り返します。
- 選択を解除するときは、▼を押してを非表示にします。
- ズームレバー（4）を **T**（）方向に回すと1コマ表示に、**W**（）方向に回すと一覧表示に切り換わります。
- OKボタンを押すと、お気に入りフォルダー選択画面が表示されます。

いろいろな再生

4 **ロータリーマルチセレクターで登録したいお気に入りフォルダーを選び、⒪ボタンを押す**

- 登録が完了し、再生メニューに戻ります。
- 同じ画像を複数のフォルダーに登録するときは、手順3から操作を繰り返します。

お気に入り登録についてのご注意

- 1つのお気に入りフォルダーに登録できる画像は、最大200コマです。
- 動画はお気に入りフォルダーに登録できません。
- 選んだ画像がすでにお気に入りフォルダーに登録されているときは、登録されているお気に入りフォルダーのチェックボックスがオン（✔）になります。
- 画像をお気に入りフォルダーに登録しても、画像ファイルは記録したフォルダー（□200）からお気に入りフォルダーへコピーも移動もされません（□108）。

関連ページ

お気に入り登録を解除する→□104

お気に入りフォルダーの画像を再生する

「★お気に入り再生モード」にすると、画像を登録したお気に入りフォルダーを選んで画像を表示できます。

- 1コマ表示にすると、同じお気に入りフォルダーの画像だけを再生（□89）または編集（□130）できます。
- 1コマ表示またはサムネイル表示でMENUボタンを押して「お気に入り再生メニュー」（□105）を表示すると、同じお気に入りフォルダーの画像だけでスライドショー、プリント指定、プロテクト設定などができます。

1 再生時にMENUボタンを押してからMODE（再生モード）タブを選び、▶または®ボタンを押す（□99）

- 再生モードメニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで★を選び、®ボタンを押す

- お気に入りフォルダーの一覧表示になります。

3 ロータリーマルチセレクターでお気に入りフォルダーを選ぶ

- お気に入りフォルダーの一覧画面の詳しい操作→□105

- ®ボタンを押すと、選んだお気に入りフォルダーの画像が、1コマ表示されます。
- 再生中のお気に入りフォルダーアイコンが画面右上に表示されます。
- お気に入りフォルダーを選び直すときは、手順1～2を繰り返します。

いろいろな再生

お気に入り登録を解除する

画像を削除しないで、お気に入りフォルダーから画像の登録を解除します。

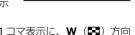
1 登録を解除したいお気に入りフォルダーを選んで画像を再生し（□103）、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで ★［**お気に入り解除**］を選び、Ⓚボタンを押す

- お気に入り解除画面が表示されます。

3 ロータリーマルチセレクターを回すか、◀▶を押して、解除したい画像を選び、▲を押して✓を表示する

- 同じお気に入りフォルダーから解除したい画像が複数あるときは、この手順を繰り返します。
- 選択を解除するときは、▼を押して✓を非表示にします。
- ズームレバー（□4）を **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと一覧表示に切り換わります。
- 選択が終了したらⓀボタンを押します。

4 ［**はい**］を選んでⓀボタンを押す

- 登録を解除します。
- 解除をやめるときは、［**いいえ**］を選びます。

✓ 削除についてのご注意

お気に入り再生モードで画像を削除すると、お気に入りフォルダーから画像が消えるだけでなく、内蔵メモリーまたはSDカードに記録されている元の画像も削除されますのでご注意ください（□108）。

お気に入り再生モードの操作

お気に入りフォルダーの一覧画面（□103 手順3）では、以下の操作ができます。

機能	操作部	内容	□
お気に入りフォルダーを選ぶ	ロータリーマルチセレクター	ロータリーマルチセレクターを回すか、▲▼◀▶を押します。	11
1コマ表示する	OK	選んだお気に入りフォルダーの画像を1コマ表示します。	89
画像を削除する	削除ボタン	選んだお気に入りフォルダーに登録した画像を、すべて削除します。表示される削除確認画面で［**はい**］を選びます。	31
お気に入りフォルダーのアイコンを変更する	MENU	お気に入りフォルダーのアイコンを変更します。	106
撮影に切り換える	▶ / シャッターボタン / ●	▶ボタンまたはシャッターボタンを押します。●（動画撮影）ボタンを押しても、撮影に切り換わります。	30

お気に入り再生メニュー

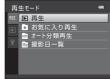
お気に入り再生モードの1コマ表示またはサムネイル表示でMENUボタンを押すと、以下のメニュー操作ができます。

簡単レタッチ →□132　D-ライティング →□133
美肌 →□134　フィルター効果 →□135
フレーム →□137　プリント指定 →□117
スライドショー →□121　プロテクト設定 →□122
画像回転 →□124　スモールピクチャー →□138
音声メモ →□125　連写グループ表示方法 →□129
連写の代表画像選択 →□129　お気に入り解除 →□104

お気に入りフォルダーのアイコンを変更する

お気に入りフォルダーのアイコンのデザインは変更できます。変更すると、どのフォルダーにどのような分類で画像を登録したか分かりやすくなります。

1 再生時にMENUボタンを押してからMODE（再生モード）タブを選び、▶またはⓀボタンを押す（□99）

- 再生モードメニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで★を選び、Ⓚボタンを押す

- お気に入りフォルダーの一覧表示になります。

3 ロータリーマルチセレクターでお気に入りフォルダーを選び、MENUボタンを押す

- アイコン選択画面が表示されます。

4 ◀▶でアイコンの色を選び、Ⓚボタンを押す

5 ▲▼◀▶でアイコンを選び、Ⓚボタンを押す

- アイコンが変更され、お気に入りフォルダーの一覧画面に戻ります。

お気に入りフォルダーのアイコン設定についてのご注意

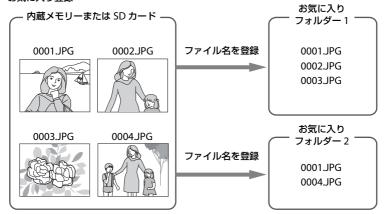
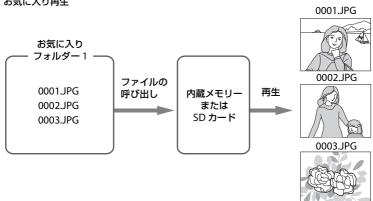
お気に入りフォルダーのアイコンは、内蔵メモリーまたはSDカードごとに設定してください。

- 内蔵メモリーのお気に入りフォルダーアイコンを変更するときは、SD カードをカメラから取り出してください。
- アイコンの初期設定は数字アイコン（黒色）です。

お気に入りの登録/再生について

画像をお気に入りフォルダーに登録しても、画像ファイルは記録したフォルダー（□200）からお気に入りフォルダーへコピーも移動もされません。お気に入りフォルダーには、画像のファイル名が登録されます。お気に入り再生モードでは、お気に入りフォルダーに登録されているファイル名から画像を呼び出して再生します。
お気に入り再生モードで画像を削除（□31、105）すると、お気に入りフォルダーから画像が消えるだけでなく、内蔵メモリーまたはSDカードに記録されている元の画像が削除されますのでご注意ください。

お気に入り登録

お気に入り再生

オート分類再生で画像を探す

画像や動画は、撮影時に以下のいずれかの項目に自動的に分類されます。
「AUTO オート分類再生モード」にすると、撮影時に分類された項目を選んで画像や動画を表示できます。

笑顔	人物	料理
風景	夜景	接写
ペット	動画	編集済み画像
その他の画像		

- 1コマ表示にすると、同じ分類の画像だけを再生（□89）または編集（□130）できます。お気に入りフォルダーへの分類もできます。
- MENU ボタンを押して「オート分類再生メニュー」（□112）を表示すると、同じ分類の画像だけでスライドショー、プリント指定、プロテクト設定などができます。

オート分類再生モードで画像を表示する

1 再生時にMENUボタンを押してから MODE（再生モード）タブを選び、▶ または㊍ボタンを押す（□99）

- 再生モードメニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターでAUTOを選び、㊍ボタンを押す

- 分類項目の一覧画面になります。

3 ロータリーマルチセレクターで分類項目を選ぶ

- 分類項目についての詳細➞「分類の種類と内容」(□111)
- 分類項目の一覧画面の詳しい操作➞「オート分類再生モードの操作」(□112)

- Ⓚボタンを押すと、選んだ項目の画像が1コマ表示されます。
- 再生中の項目のアイコンが、画面右上に表示されます。
- 分類項目を選び直すときは、手順1～2を繰り返します。

分類の種類と内容

項目	内容
笑顔	笑顔自動シャッター（37）で撮影した画像。
人物	（オート撮影）モード（24）または連写モード（80）で顔認識撮影（56）した画像。 以下のシーンモードで撮影した画像。 ・（夜景ポートレート）※（65） ・（逆光）※（66） ・［**ポートレート**］※（67）、［**パーティー**］（68）
料理	シーンモードの［**料理**］（71）で撮影した画像。
風景	シーンモードの［**風景**］※（67）で撮影した画像。
夜景	以下のシーンモードで撮影した画像。 ・（夜景）※（64） ・［**夕焼け**］（69）、［**トワイライト**］（70）、［**打ち上げ花火**］（72）
接写	（オート撮影）モードまたは連写モード（80）でマクロ（39）に設定して撮影した画像。 シーンモードの［**クローズアップ**］※（70）で撮影した画像。
ペット	シーンモードの［**ペット**］（74）で撮影した画像。
動画	動画（140）。
編集済み画像	画像編集（130）で作成した画像。
その他の画像	他の分類項目に該当しない画像。

※ おまかせシーン（62）で切り換わった場合も含みます。

オート分類再生モードについてのご注意

- 1つの分類項目で表示できるのは、最大999コマです。撮影時にすでに999コマある分類項目に該当した画像/動画は、オート分類再生モードに登録できず、オート分類再生モードで表示できません。通常の再生モード（30）または撮影日一覧モード（113）で表示してください。
- 内蔵メモリーまたはSDカードからコピーした画像や動画（127）は、オート分類再生モードでは表示できません。
- COOLPIX S9100以外で記録した画像や動画は、オート分類再生モードで表示できません。

オート分類再生モードの操作

オート分類再生の一覧画面（□110 手順3）では、以下の操作ができます。

機能	操作部	内容	□
項目を選ぶ	(ロータリーマルチセレクター)	ロータリーマルチセレクターを回すか、▲▼◀▶を押します。	11
1コマ表示する	OK	選んだ項目の画像を1コマ表示します。	89
画像を削除する	(削除ボタン)	選んだ項目の画像を、すべて削除します。表示される削除確認画面で［**はい**］を選びます。	31
撮影に切り換える	▶ / (シャッターボタン) / ●	▶ボタンまたはシャッターボタンを押します。●（動画撮影）ボタンを押しても、撮影に切り換わります。	30

オート分類再生メニュー

オート分類再生モードの1コマ表示またはサムネイル表示でMENUボタンを押すと、以下のメニュー操作ができます。

簡単レタッチ	→□132	D-ライティング	→□133
美肌	→□134	フィルター効果	→□135
フレーム	→□137	プリント指定	→□117
スライドショー	→□121	プロテクト設定	→□122
画像回転	→□124	スモールピクチャー	→□138
音声メモ	→□125	連写グループ表示方法	→□129
連写の代表画像選択	→□129	お気に入り登録	→□101

特定の日付の画像を選ぶ（撮影日一覧）

「🗓 撮影日一覧モード」にすると、同じ撮影日の画像だけを再生できます。

- 1コマ表示にすると、通常の再生モードと同様に、撮影情報の表示、拡大表示、画像の編集または動画再生ができます。お気に入りフォルダーへの分類もできます。
- MENUボタンを押して「撮影日一覧メニュー」（□114）を表示すると、同じ日付の画像だけでスライドショー、プリント指定、プロテクト設定などができます。

撮影日一覧モードで画像を表示する

1 再生時にMENUボタンを押してからMODE（再生モード）タブを選び、▶またはⓄⓚボタンを押す（□99）

- 再生モードメニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで🗓を選び、Ⓞⓚボタンを押す

- 撮影日の一覧画面になります。

3 ロータリーマルチセレクターで撮影日を選ぶ

- 表示される撮影日は最大29日分までです。撮影日が30日以上あると、［**過去画像**］として30日以降の画像がすべてまとめられます。
- 撮影日の一覧画面の詳しい操作→□114
- Ⓞⓚボタンを押すと、選んだ日に最初に撮影した画像が1コマ表示されます。
- 撮影日を選び直すときは、手順1～2を繰り返します。

撮影日一覧モードについてのご注意

- 撮影日一覧モードで表示できる画像は、最新の画像から9,000コマまでです。9,001コマ目を含む日付の画像枚数表示には、「＊」マークが表示されます。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、「2011年1月1日」の画像として扱われます。

撮影日一覧モードの操作

撮影日の一覧画面（📖113 手順3）では、以下の操作ができます。

機能	操作部	内容	📖
日付を選ぶ	(ロータリーマルチセレクター)	ロータリーマルチセレクターを回すか、▲▼を押します。	11
1コマ表示する	OK	選んだ日付の画像を1コマ表示します。	89
画像を削除する	🗑	選んだ日付の画像を、すべて削除します。表示される削除確認画面で［**はい**］を選びます。	31
撮影日一覧メニューを表示する	MENU	撮影日一覧メニューを表示します。	–
撮影に切り換える	▶ / (シャッターボタン) / ●	▶ボタンまたはシャッターボタンを押します。●（動画撮影）ボタンを押しても、撮影に切り換わります。	30

撮影日一覧メニュー

撮影日一覧モードでMENUボタンを押すと、選んだ日付の画像だけを対象に、以下のメニュー操作ができます。

簡単レタッチ※1 →📖132
美肌※1 →📖134
フレーム※1 →📖137
スライドショー →📖121
画像回転※1 →📖124
音声メモ※1 →📖125
連写の代表画像選択※1 →📖129
D-ライティング※1 →📖133
フィルター効果※1 →📖135
プリント指定※2 →📖117
プロテクト設定※2 →📖122
スモールピクチャー※1 →📖138
連写グループ表示方法※1 →📖129
お気に入り登録※1 →📖101

※1 1コマ表示にしてからMENUボタンを押してください。

※2 撮影日の一覧画面（📖113 手順3）でMENUボタンを押すと、選んだ日付の画像をまとめて同じ設定にできます。1コマ表示でMENUボタンを押すと、画像ごとに設定できます。

再生メニューを使う

再生メニューでは、以下の機能が使えます。

	簡単レタッチ	📖132
	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。	
	D-ライティング	📖133
	撮影した画像の暗い部分を明るく補正します。	
	美肌	📖134
	人物の顔の肌をなめらかにします。	
	フィルター効果	📖135
	デジタルフィルターでいろいろな効果を付けます。	
	フレーム	📖137
	撮影した画像に枠を付けた画像を新しく作ります。12種類の枠から選べます。	
	プリント指定	📖117
	プリンターでプリントする画像や、その枚数などを設定します。	
	スライドショー	📖121
	内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	
	プロテクト設定	📖122
	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	
	画像回転	📖124
	撮影した画像の向きを変更します。	
	スモールピクチャー	📖138
	撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。	
	音声メモ	📖125
	撮影した画像に、音声によるメモを付けます。	
	画像コピー	📖127
	内蔵メモリーとSDカードの間で画像をコピーします。	
	連写グループ表示方法	📖129
	連写した画像を1コマずつ表示するか、代表画像のみの表示にするかを設定します。	
	連写の代表画像選択	📖129
	連写した一連の画像（連写グループ→📖92）の代表画像を変更します。	

★	**お気に入り登録**	📖101
	お気に入りの画像を選んで登録します。	
★	**お気に入り解除**	📖104
	お気に入り登録を解除します。	

再生メニューの表示方法

▶ボタンを押して再生モードにします（📖89）。
MENUボタンを押して、再生メニューを表示します。

- メニューの選択と設定には、ロータリーマルチセレクターを使います（📖11）。
- 再生メニューを終了するには、MENUボタンを押します。
- MODE（再生モード）タブを選ぶと再生モードの切り換えができます（📖99）。

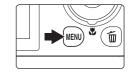
凸 プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ 凸 プリント指定

SDカードに記録した画像を以下の方法でプリントする場合、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめSDカードに設定できます。

- カードスロットが付いたDPOF対応（□215）のプリンターでプリントする。
- DPOF対応のプリントサービス店にプリントを依頼する。
- カメラを PictBridge 対応（□215）のプリンターに接続してプリントする（□163）（カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます）。

1 再生モードでMENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［プリント指定］を選び、ⓚボタンを押す

- お気に入り再生、オート分類再生または撮影日一覧モードの場合➞手順4へ

3 ［複数画像選択］を選び、ⓚボタンを押す

4 プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- ロータリーマルチセレクターを回すか、◀ ▶を押して画像を選び、▲▼を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したらOKボタンを押します。

5 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［**日付**］を選んでOKボタンを押すと、すべての画像に撮影日を印字します。
- ［**撮影情報**］を選んでOKボタンを押すと、すべての画像に撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- ［**選択終了**］を選んでOKボタンを押し、設定を有効にします。

プリント指定を行った画像は、再生時の画面で確認できます。

いろいろな再生

[プリント指定] についてのご注意

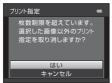
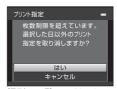
お気に入り再生、オート分類再生または撮影日一覧モードでプリント指定するときに、選んだ分類または撮影日以外の画像がすでにプリント指定されていると、以下の画面が表示されます。

- [**はい**] を選ぶと、他の画像のプリント指定に今回の設定内容を追加します。
- [**いいえ**] を選ぶと、他の画像のプリント指定をすべて解除して、今回の設定だけを残します。

お気に入り再生またはオート分類再生モードのとき

撮影日一覧モードのとき

また、今回の設定内容を追加することで設定コマ数が99コマを超える場合は、以下の画面が表示されます。

- [**はい**] を選ぶと、他の画像のプリント指定をすべて解除して、今回の設定だけを残します。
- [**キャンセル**] を選ぶと、他の画像のプリント指定を残して、今回の設定を取り消します。

お気に入り再生またはオート分類再生モードのとき

撮影日一覧モードのとき

日付と撮影情報を入れてプリントするときのご注意

プリント指定で設定した［**日付**］と［**撮影情報**］は、「日付」や「撮影情報」が印字可能なDPOF対応プリンター（□215）で印字できます。

- 付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続して「DPOFプリント」（□168）するときは、「撮影情報」は印字できません。
- プリント指定を行った後、再び［**プリント指定**］を表示すると、［**日付**］と［**撮影情報**］の設定はリセットされますのでご注意ください。
- プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［**地域と日時**］で［**日時の設定**］や［**タイムゾーン**］を変更してもプリントされる日付には反映されません。

プリント指定をすべて取り消すには

「プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）」の手順3（□117）で［**プリント指定取消**］を選んでⓀボタンを押すと、すべての画像に対するプリント指定を取り消しできます。

［デート写し込み］について

セットアップメニューの［**デート写し込み**］（□177）を使うと、撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。
デート写し込みした画像は、［**プリント指定**］で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントに表示されます。

スライドショー

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ スライドショー

内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。

1 ロータリーマルチセレクターで［**開始**］を選び、Ⓞボタンを押す

- 画像の表示時間を変更するには、［**開始**］を選ぶ前に［**インターバル設定**］を選んでⓄボタンを押し、画像の表示時間を選びます。
- 繰り返し再生するには、［**開始**］を選ぶ前に［**エンドレス**］を選んでⓄボタンを押し、チェックボックスをオン［✔］にします。

2 スライドショーが始まる

- 再生中にロータリーマルチセレクターの▶を押すと次の画像、◀を押すと前の画像を表示します（ボタンを押し続けると早送り/巻き戻しになります）。
- 途中で終了または一時停止したいときは、Ⓞボタンを押します。

3 終了または再開する

- スライドショー終了時や一時停止中は、右の画面になります。［**終了**］を選び、Ⓞボタンを押すと再生メニューに戻ります。［**再開**］を選ぶとスライドショーを再開します。

スライドショーについてのご注意

- 動画は1フレーム目だけを表示します。
- 連写グループ（□92）の表示方法が［**代表画像のみ**］の場合は、代表画像だけを表示します。
- かんたんパノラマ（□73、75）で撮影した画像は、スライドショーでは再生できません。
- スライドショーを連続再生できる時間は、［**エンドレス**］に設定している場合も含め、最大30分です（□184）。

プロテクト設定

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないように、画像にプロテクト（保護）を設定できます。
画像選択の画面で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。
→「画像選択画面の操作方法」（□123）
ただし、内蔵メモリー/SDカードを初期化（フォーマット、□185）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

プロテクト設定した画像は、カメラでの再生時にマーク（□8、95）が表示されます。

画像選択画面の操作方法

以下の操作では、画像選択時に右のような画面が表示されます。

- プリント指定の［**複数画像選択**］（□117）
- プロテクト設定（□122）
- 画像回転（□124）
- 画像コピーの［**選択画像コピー**］（□127）
- 連写の代表画像選択（□129）
- お気に入り登録（□101）
- お気に入り解除（□104）
- オープニング画面の［**撮影した画像**］（□171）
- 画像削除の［**削除画像選択**］（□31）

以下の手順で画像を選びます。

1 ロータリーマルチセレクターを回すか、◀▶を押して画像を選ぶ

- ズームレバー（□4）を**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。
- ［**画像回転**］、［**連写の代表画像選択**］、［**オープニング画面**］の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ

2 ▲▼を押してON/OFF（またはプリント枚数）を設定する

- ONにすると、選択画像に✓が表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。

3 ⓚボタンを押して画像選択を決定する

- ［**選択画像コピー**］などでは確認画面になります。画面の表示に従って操作してください。

画像回転

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ 画像回転

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。
静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。
撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方向に180度まで回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶと（📖123）、画像回転の画面が表示されます。ロータリーマルチセレクターを回すか、◀または▶を押すと90度回転します。

反時計方向に 90 度回転

時計方向に 90 度回転

OKボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

連写グループの画像回転について

連写グループの画像を代表画像のみの表示にしているときは、画像回転はできません。
1コマずつ展開して表示してから設定してください（📖92、129）。

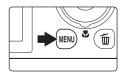
音声メモ

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ 音声メモ

撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモが付けられます。

音声メモを録音する

1 1コマ表示（□89）またはサムネイル表示（□94）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［音声メモ］を選び、OKボタンを押す

- 音声メモの録音画面になります。

3 OKボタンを押し続けて、音声メモを録音する

- OK ボタンを押している間、約 20 秒まで音声メモを録音できます。
- 録音中はカメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 録音中はRECと♪が点滅します。
- 録音が終了すると、音声メモ再生画面になります。「音声メモを再生する」（□126）の手順3にしたがって再生できます。
- 録音前または録音終了後にロータリーマルチセレクターの◀を押すと、再生メニューに戻ります。MENUボタンを押すと、再生メニューを終了します。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□200

いろいろな再生

音声メモを再生する

音声メモを録音した画像には、1コマ表示で[♪]が表示されます。

1 1 コマ表示（□89）またはサムネイル表示（□94）で画像を選び、MENU ボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで🎙［音声メモ］を選び、OKボタンを押す

- 音声メモの再生画面になります。

3 OKボタンを押して音声メモを再生する

- 再生を途中で止めるには、OKボタンを押します。
- 再生中は、ズームレバー **T**/**W** で音量を調節できます。
- 再生前または再生終了後にロータリーマルチセレクターの◀を押すと、再生メニューに戻ります。MENUボタンを押すと、再生メニューを終了します。

音声メモを削除する

音声メモ付き画像を選んで🗑ボタンを押します。ロータリーマルチセレクターを回すか、▲▼を押して［**表示画像**］を選び、OKボタンを押します（□31）。確認画面が表示されたら、▲▼で［[♪]］を選んでOKボタンを押すと、音声メモだけを削除します。

音声メモについてのご注意

- 音声メモが付いた画像を削除すると、その画像に付けた音声メモも削除されます。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。録音内容を変更するときは、いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX S9100以外で撮影した画像には、COOLPIX S9100で音声メモを付けられません。

画像コピー（内蔵メモリーとSDカード間のコピー）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ 画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

1 ロータリーマルチセレクターでコピーする方向を選び、OKボタンを押す

- IN➔SD：内蔵メモリーから SD カードへコピーします。メニューを表示する前に、連写グループの画像を選んでいたときは選択できません。
- SD➔IN：SDカードから内蔵メモリーへコピーします。

2 コピーの方法を選び、OKボタンを押す

- ［**選択画像コピー**］：画像選択の画面（□123）で、画像を選んでコピーします。代表画像のみで表示している連写グループ（□92）を選ぶと、表示中の連写グループの画像をすべてコピーします。
- ［**全画像コピー**］：すべての画像をコピーします。連写グループの画像を選んだときは、表示されません。
- ［**表示グループコピー**］：メニューを表示する前に、連写グループの画像を選んだときに表示されます。再生中の連写グループの画像をすべてコピーします。

いろいろな再生

画像コピーについてのご注意

- コピーできるファイルの形式は、JPEG、MOV、WAVです。これ以外の形式のファイルはコピーできません。
- 画像コピーでは、画像に付けた「音声メモ」（□125）も画像と同時にコピーします。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーは動作を保証していません。
- ［**プリント指定**］（□117）した画像をコピーしても、プリント指定の設定内容はコピーされません。［**プロテクト設定**］（□122）した画像をコピーすると、コピー先の画像もプロテクトされます。
- 内蔵メモリーまたはSDカードからコピーした画像や動画は、オート分類再生モード（□109）では表示できません。
- お気に入り登録（□101）した画像をコピーしても、お気に入り登録の登録内容はコピーされません。
- ［**連写グループ表示方法**］（□129）を［**代表画像のみ**］に設定し、連写グループの画像を選んでⓀボタンを押して、1コマずつ展開して表示しているとき（□92）は、□➡□（SDカードから内蔵メモリー）方向のみ画像コピーできます。

［撮影画像がありません］のメッセージについて

SDカードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、［**撮影画像がありません**］と表示されますが、MENUボタンを押すと画像コピー画面が表示され、内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーできます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□200

連写グループ表示方法

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ 連写グループ表示方法

連写した一連の画像（連写グループ、□92）を再生モードの1コマ表示（□89）またはサムネイル表示（□94）で表示する方法を設定します。
設定内容は、すべての連写グループに反映され、電源をOFFにしても記憶されます。

1枚ずつ

連写した画像を、1コマずつに展開して表示します。

代表画像のみ（初期設定）

1コマずつに展開した連写グループを、代表画像のみの表示に戻します。

連写の代表画像選択

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ 連写の代表画像選択

［**連写グループ表示方法**］を［**代表画像のみ**］にしたときに、再生モードの1コマ表示（□89）やサムネイル表示（□94）で表示する代表画像を、連写グループごとに変更します。

- 設定するときはMENUボタンを押す前に、1コマ表示またはサムネイル表示で、設定したい連写グループを選びます。
- 代表画像の選択画面が表示されたら、画像を選びます。→「画像選択画面の操作方法」（□123）

いろいろな再生

画像編集の種類

このカメラでは以下の機能を使って画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます（□200）。

編集の種類	用途
簡単レタッチ（□132）	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。
D-ライティング（□133）	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。
美肌（□134）	人物の顔の肌をなめらかにします。
フィルター効果（□135）	デジタルフィルターでいろいろな効果を付けます。効果の種類は、［**ソフト**］、［**セレクトカラー**］、［**クロススクリーン**］、［**魚眼効果**］、［**ミニチュア効果**］から選べます。
フレーム（□137）	撮影した画像に枠を付けた画像を新しく作ります。12種類の枠から選べます。
スモールピクチャー（□138）	サイズの小さい画像を作成します。電子メールに添付して送信するときなどに使います。
トリミング（□139）	画像の一部を切り抜きます。被写体をクローズアップしたいときや構図に手を加えたいときなどに使います。

画像編集についてのご注意

- ［**画像モード**］（□47）を［**3968×2232**］にして撮影した画像は、編集できません。ハイビジョンまたはフルハイビジョン画質の動画撮影中に記録した静止画も編集できません（□142）。
- かんたんパノラマ（□73、75）で撮影した画像は、編集できません。
- COOLPIX S9100以外で撮影した画像は、COOLPIX S9100で編集できません。
- 画像から人物の顔を検出できないときは、美肌の編集はできません（□134）。
- ［**画像モード**］（□47）を［**1024×768**］または［**640×480**］にして撮影した画像は、フレームの編集はできません（□137）。
- COOLPIX S9100以外のデジタルカメラでは、COOLPIX S9100で編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー /SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。
- 代表画像のみで表示している連写グループ（□92）は、以下のいずれかの操作をしてから、編集してください。
  - ⓚボタンを押して1コマずつに展開してから、グループ内の画像を選ぶ
  - ［**連写グループ表示方法**］（□129）を［**1枚ずつ**］に設定し、1コマずつに展開してから、画像を選ぶ

画像編集の制限

編集で作成した画像に別の編集を追加するときには、以下の制限があります。

編集に使った機能	追加できる編集機能
簡単レタッチ D-ライティング フィルター効果	美肌、スモールピクチャー、フレームまたはトリミングができます。 簡単レタッチ、D-ライティング、フィルター効果を組み合わせることはできません。
美肌	簡単レタッチ、D-ライティング、フィルター効果、フレーム、スモールピクチャーまたはトリミングができます。
フレーム スモールピクチャー	追加編集できません。
トリミング	画像サイズが4M（2272×1704）以上の画像は、フレームができます。

- 編集で作成した画像に同じ種類の編集を繰り返すことはできません。
- フレームまたはスモールピクチャーと別の編集機能を組み合わせるときは、フレームまたはスモールピクチャーは最後に編集してください。
- トリミングとフレーム以外の編集機能を組み合わせるときは、トリミングは最後に編集してください。
- 撮影時に美肌機能を使って撮影した画像（□67）にも、美肌の編集ができます。

元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- プリント指定（□117）やプロテクト設定（□122）した画像を編集しても、これらの設定内容は編集で作成した画像には反映されません。

画像を編集する

簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）

コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成できます。作成した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（89）またはサムネイル表示（94）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［簡単レタッチ］を選び、OKボタンを押す

- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。

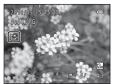
3 ▲▼を押して効果の度合いを選び、OKボタンを押す

- レタッチした画像が作成されます。
- 中止するときは、MENUボタンを押します。

- 簡単レタッチで作成した画像は、再生画面でが表示されます。

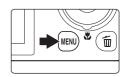
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名➞200

画像の編集

D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。補正した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（89）またはサムネイル表示（94）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［D-ライティング］を選び、OKボタンを押す

- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。

3 ［実行］を選び、OKボタンを押す

- 補正した画像が作成されます。
- 中止するときは、［**キャンセル**］を選び、OK ボタンを押します。

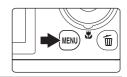
- D-ライティングで作成した画像は、再生画面でが表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→200

美肌（肌をなめらかにする）

撮影した画像から人物の顔を検出して、顔の肌をなめらかにします。美肌編集して作成した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（□89）またはサムネイル表示（□94）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［美肌］を選び、OKボタンを押す

- 効果の度合いを設定する画面が表示されます。
- 画像から人物の顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。

3 ▲▼を押して効果の度合いを選び、OKボタンを押す

- 確認画面になり、美肌編集した顔が拡大表示されます。
- 中止するときは、MENUボタンを押します。

4 効果を確認する

- 最も画面の中央に近い順に、最大12人の肌を編集します。
- 美肌編集した顔が複数あるときは、ロータリーマルチセレクターの◀▶を押すと顔の切り換えができます。
- 効果の度合いを変えたいときは、MENUボタンを押して手順3に戻ります。
- OKボタンを押すと、美肌編集した画像が作成されます。
- 美肌編集で作成した画像は、再生画面でが表示されます。

美肌についてのご注意

顔の向きや明るさなど、画像によっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。

関連ページ

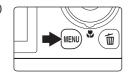
記録データのファイル名とフォルダー名→□200

フィルター効果（デジタルフィルター）

デジタルフィルターでいろいろな効果を付けます。以下の効果から選べます。フィルター効果で作成した画像は、元画像とは別に保存されます。

種類	内容
ソフト	画像の中央部から外側をぼかしたような雰囲気にします。
セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
クロススクリーン	太陽の反射や街灯などの光源から、放射状に光の筋を伸ばします。夜景などを撮影した画像が適しています。
魚眼効果	魚眼レンズで撮影したような画像にします。マクロで撮影した画像が適しています。
ミニチュア効果	ミニチュア（模型）を接写したように加工します。ミニチュア効果には、高いところから見下ろして撮影した画像で、主要な被写体が画面中央付近に写った画像が適しています。

1 1コマ表示（89）またはサムネイル表示（94）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［フィルター効果］を選び、OKボタンを押す

- フィルター効果の種類を選択する画面が表示されます。

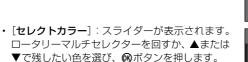
3 ▲または▼で効果を選び、OKボタンを押す

- 設定したらMENUボタンを押します。
- ［**クロススクリーン**］、［**魚眼効果**］、［**ミニチュア効果**］を選んだ場合→手順5

画像の編集

4 効果を調節する

- ［**ソフト**］：▲または▼で効果範囲を選び、Ⓚボタンを押します。

- ［**セレクトカラー**］：スライダーが表示されます。ロータリーマルチセレクターを回すか、▲または▼で残したい色を選び、Ⓚボタンを押します。

スライダー

5 効果を確認し、［保存］を選んでⓀボタンを押す

- 編集した画像が作成されます。
- 中止するときは［**キャンセル**］を選び、Ⓚボタンを押します。

- フィルター効果で作成した画像は、再生画面で⊘が表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→📖200

回 フレーム（画像の周りに枠を付ける）

撮影した画像の周りに枠を付けます。画像の方向に合わせて、横位置用の4種類、縦位置用の4種類、縦横両方で使える4種類の枠から選べます。作成した画像は元画像とは別に保存されます。保存される画像サイズは3M（2048 × 1536）です。

1 1コマ表示（□89）またはサムネイル表示（□94）で画像を選び、MENUボタンを押す

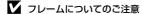
- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで回［フレーム］を選び、OKボタンを押す

- フレームの種類を選択する画面が表示されます。

3 ▲または▼で枠の種類を選び、OKボタンを押す

- 枠を付けた画像が作成されます。
- 中止するときはMENUボタンを押します。

フレームについてのご注意

枠を付けた画像をフチなしでプリントすると、枠がプリントされないことがあります。

関連ページ

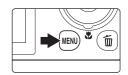
記録データのファイル名とフォルダー名→□200

画像の編集

スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。ホームページで使ったり、電子メールへ添付したりするのに便利です。サイズは［**640×480**］、［**320×240**］、または［**160×120**］から選べます。スモールピクチャーは、元の画像とは別の画像（圧縮率約1/16）として保存されます。

1 1コマ表示（89）またはサムネイル表示（94）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで **［スモールピクチャー］**を選び、ボタンを押す

3 スモールピクチャーのサイズを選び、ボタンを押す

4 ［**はい**］を選び、ボタンを押す

- スモールピクチャーが作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］を選び、ボタンを押します。
- スモールピクチャーで作成した画像は、黒の枠で囲まれて表示されます。

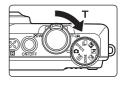
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→200

✂ トリミング（画像の一部を切り抜く）

拡大表示（📖97）中にMENU:✂マークが表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（📖89）でズームレバーを**T**（🔍）方向に回して、画像を拡大表示する

- 縦位置画像は、左右の黒い帯が見えなくなるまで画像を拡大するとトリミングできますが、トリミング画像は横位置になります。縦位置のトリミング画像を作るには［**画像回転**］（📖124）で横位置にしてからトリミングし、再度トリミング画像を縦位置に戻します。

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- ズームレバーを**T**（🔍）または**W**（⊞）方向に回して拡大率を調節します。
- ロータリーマルチセレクターの ▲▼◀ ▶ を押して表示範囲を移動します。

3 MENUボタンを押す

4 ロータリーマルチセレクターで［はい］を選び、OKボタンを押す

- トリミング画像が作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］を選び、OK ボタンを押します。

画像サイズについて

切り抜く範囲が狭くなるほど、トリミングで作成した画像の画像サイズ（ピクセル数）は小さくなります。
トリミングして画像サイズが320×240または160×120になった画像は、再生時に黒の枠で囲まれ、画面左側にスモールピクチャーの▭または▭アイコンが表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→📖200

動画を撮影する

ハイビジョンの動画（音声付き）を撮影できます。

- 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズが4 GBまで、または最長29分です（□149）。
- 動画は、画角（写る範囲）が静止画に比べて狭くなります。
  セットアップメニューの［**モニター設定**］（□175）を［**動画枠＋情報AUTO**］にすると、動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。

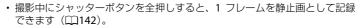
1 電源をONにして、撮影画面を表示する

- 動画は、どの撮影モード（□45）を選んでいても撮影できます。
- 動画設定は、撮影する動画の種類を表します。初期設定は、［**HD 1080p★（1920×1080）**］です（□148）。

動画設定

2 ●（動画撮影）ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 液晶モニターが一度消灯した後、動画撮影が始まります。
- 画面中央でピントが合います。動画の撮影中は、AFエリアは表示されません。
- ハイビジョンまたはフルハイビジョンで撮影する場合、撮影画面の縦横比が16:9に切り換わります（右の画面の範囲で記録されます）。
- 撮影中は、記録可能な残り時間の目安を液晶モニターで確認できます。
- 記録可能な残り時間が無くなると、撮影が自動的に終了します。

- 撮影中にシャッターボタンを全押しすると、1 フレームを静止画として記録できます（□142）。

3 ●（動画撮影）ボタンを押して撮影を終了する

動画の保存についてのご注意

撮影終了後、撮影画面に切り換わるまでは、動画の保存は終了していません。**バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。**保存が終了する前にSDカードやバッテリーを取り出すと、動画が記録されないことや、撮影した動画やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

動画撮影についてのご注意

- 動画をSDカードに記録するときは、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（□199）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 電子ズームを使うと、画質は劣化します。電子ズームを使わずに動画撮影を開始したときは、ズームレバーを**T**方向に回し続けると、光学ズームの最大倍率でズームが止まります。いったんズームレバーから指をはなして、もう一度**T**方向に回すと電子ズームが作動します。
- 電子ズームは、動画撮影を終了するとキャンセルされます。
- ズームレバーなどの操作音や、ズーム、オートフォーカス、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する

オートフォーカスについてのご注意

- 動画メニューの［**AFモード**］がAFS［**シングルAF**］（初期設定）の場合、●（動画撮影）ボタンで撮影を開始したときに、ピントは固定されます（□150）。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□29）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。
  1. 撮影前に動画メニューの［**AFモード**］をAFS［**シングルAF**］（初期設定）にする。
  2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●（動画撮影）ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

カメラの温度について

動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがありますが、故障ではありません。

動画撮影で使える機能

- クリエイティブスライダー、ホワイトバランス（（オート撮影）モード、連写モード時）、または露出補正の設定も撮影する動画に反映します。スペシャルエフェクトモード（□85）やシーンモード（□64）での色合いも動画に反映します。マクロモードのときは、より被写体に近づいて動画を撮影できます。動画の撮影を開始する前に設定を確認してください。
- セルフタイマー（□35）を使えます。セルフタイマーを設定し、●（動画撮影）ボタンを押すと、10秒または2秒経過後にピントを合わせてから動画撮影を開始します。
- フラッシュは発光しません。
- 動画の撮影を開始する前にMENUボタンを押して、（動画）タブを選ぶと動画メニューの設定ができます（□146）。

動画撮影中に静止画を記録する

動画の撮影中に、シャッターボタンを全押ししたときの1フレームを静止画として記録できます（[**動画設定**]（□148）が［ **iFrame 540（960×540）**］の場合を除く）。静止画の記録中も動画撮影が続きます。

- 画面左上に📷が表示されているときに静止画を記録できます。
- 静止画の記録中は、📷の表示が消えます。📷が再表示されると、また静止画を記録できます。
- 記録する静止画の画像サイズは［**動画設定**］（□148）の設定内容によって異なります。圧縮率は約1/8です。

動画設定	静止画の画像サイズ
HD 1080p★（1920×1080）/ HD 1080p（1920×1080）	（1920×1080）
HD 720p（1280×720）	（1280×720）
VGA（640×480）	（640×480）

動画の撮影と再生

動画撮影中の静止画記録についてのご注意

- 動画記録可能時間が30秒未満のときは、静止画は記録できません。
- HS動画（□143）の撮影中は、静止画を記録できません。
- 撮影中の動画にシャッターボタンの操作音が録音されることがあります。
- シャッターボタンを押すときに、カメラが動いて画像がぶれることがあります。

記録した静止画のファイル名

記録した静止画のファイル番号は、「撮影中の動画のファイル番号＋1」から連番で付けられます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名➞□200

スローモーション動画または早送り動画を撮影する（HS動画）

HS（ハイスピード）動画を撮影できます。HS動画で撮影した部分は、通常再生の1/8～1/2の速度のスローモーションや2倍の早送りで再生されます。動画撮影中に通常速度の動画からスローモーション、または早送りの動画に切り換えることもできます。

- HS動画について→🕮145

1 動画メニュー（🕮146）を表示し、ロータリーマルチセレクターで［**動画設定**］を選び、Ⓚボタンを押す

2 HS動画の設定を確認または変更し、Ⓚボタンを押す

- 「動画設定」→🕮148

3 ［**HS動画で記録開始**］を選んでⓀボタンを押し、撮影開始からスローモーションまたは早送りの動画で撮影するかどうかを選ぶ

- ［**ON**］（初期設定）：HS動画で撮影を開始します。
- ［**OFF**］：通常速度の動画で撮影を開始します。スローモーションまたは早送りにしたい場面でⓀボタンを押して、HS動画に切り換えます。
- 設定したらMENUボタンを押して、撮影画面に戻ります。

動画の撮影と再生

4 ●（▸𝙔 動画撮影）ボタンを押して、撮影を開始する

HS動画設定

HS 動画撮影時

通常速度の動画撮影時

- 液晶モニターが一度消灯した後、動画撮影が始まります。
- ピントは画面中央で合います。動画の撮影中は、AFエリアは表示されません。
- 動画メニューの［**HS動画で記録開始**］がONの場合、HS動画の撮影が始まります。
- 動画メニューの［**HS 動画で記録開始**］が OFF の場合、通常速度の動画撮影が始まります。スローモーションまたは早送りにしたい場面でⓀボタンを押して、HS動画に切り換えます。
- HS動画の最長撮影時間（📖148）が経過するか、Ⓚボタンを押すと通常速度の動画撮影に切り換わります。Ⓚボタンを押すたびに、通常速度とHS動画の切り換えができます。
- 記録可能時間の表示は、HS 動画の速度になっている場合、HS 動画の最長撮影時間に切り換わります。
- HS動画設定の表示は、撮影中の動画の種類に応じて切り換わります。

5 ●（▸𝙔動画撮影）ボタンを押して、撮影を終了する

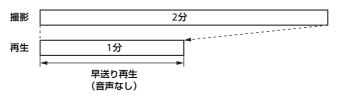
HS動画についてのご注意

- スローモーションまたは早送り再生になる部分に、音声は記録されません。
- HS動画で撮影するときは、手ブレ補正機能を使えません。ズーム位置、ピント、露出、ホワイトバランスは、●（動画撮影）ボタンで撮影を開始したときに固定されます。

HS動画について

撮影した動画は、HS動画で撮影した部分を含めて、約30フレーム/秒で再生されます。［**動画設定**］（📖148）を［**HS 240 fps（320×240）**］、［**HS 120 fps（640×480）**］または［**HS 60 fps（1280×720）**］に設定すると、スローモーション再生が可能な動画を撮影できます。［**HS 15 fps（1920×1080）**］に設定すると、2倍の早送り再生が可能な動画を撮影できます。

［HS 240 fps（320×240）］の速度で撮影した部分：
撮影時に最長10秒間をハイスピードで記録します。ハイスピードで記録した部分は、8倍の時間をかけてスローモーションで再生されます。

［HS 15 fps（1920×1080）］の速度で撮影した部分：
撮影時に最長2分間を早送り再生用に記録します。再生すると2倍の速さの早送りになります。

HS動画の設定から通常速度の動画撮影の設定に戻すには

動画メニューの［**動画設定**］で通常速度の動画の種類を選び、Ⓚボタンを押します（📖140、148）。

動画撮影の設定を変える

動画メニューで以下の設定ができます。

動画設定	148
撮影する動画の種類を選びます。通常速度の動画とスローモーション再生や早送り再生ができるHS（ハイスピード）動画があります。	
HS動画で記録開始	143、150
［**動画設定**］でHS動画を選択したとき、撮影開始からスローモーションまたは早送りの動画で撮影するかどうかを選べます。	
AFモード	150
動画撮影時のオートフォーカスの方法を選びます。	
電子式手ブレ補正	151
［**動画設定**］で通常速度の動画を選択して撮影するとき、電子式手ブレ補正をするかどうかを設定します。	
風切り音低減	151
動画の撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。	

動画メニューの表示方法

1 撮影画面を表示してMENUボタンを押す

- メニュー画面になります。
- SCENE（おまかせシーン）でMENUボタンを押した場合は、ロータリーマルチセレクター（11）の◀を押して、タブを表示します。

2 ロータリーマルチセレクターの◀を押す

- タブが選べるようになります。

動画の撮影と再生

3 ▲▼を押して🎥タブを選ぶ

4 ▶または㊍ボタンを押す

- 動画メニューの項目が選べるようになります。
- メニューの選択と設定には、ロータリーマルチセレクターを使います（🕮11）。
- 動画メニューを終了するには、MENU ボタンを押すか、◀を押して他のタブを選びます。

動画設定

撮影画面を表示する ➔ MENU ➔ 🎥（動画メニュー）に切り換える（📖146）➔ 動画設定

動画を撮影するときの種類を選びます。
解像度が高く、ビットレートが大きいほど高画質になりますが、ファイルサイズは大きくなります。

- 通常速度の動画を撮影するときは［**HD 1080p★（1920×1080）**］、［**HD 1080p（1920×1080）**］、［**HD 720p（1280×720）**］、［**iFrame 540（960×540）**］、［**VGA（640×480）**］から選びます。
- HS動画を撮影するときは［**HS 240 fps（320×240）**］、［**HS 120 fps（640×480）**］、［**HS 60 fps（1280×720）**］、［**HS 15 fps（1920×1080）**］から選びます。

種類	内容
HD 1080p★（1920×1080）（初期設定）	フルハイビジョン画質で縦横比16:9の動画を記録します。フルハイビジョンに対応したワイドテレビで再生するのに適しています。 ・解像度：1920 × 1080 ピクセル ・ビットレート：約 14 Mbps
HD 1080p（1920×1080）	フルハイビジョン画質で縦横比16:9の動画を記録します。フルハイビジョンに対応したワイドテレビで再生するのに適しています。 ・解像度：1920 × 1080 ピクセル ・ビットレート：約 12 Mbps
HD 720p（1280×720）	ハイビジョン画質で縦横比16:9の動画を記録します。ワイドテレビで再生するのに適しています。 ・解像度：1280 × 720 ピクセル ・ビットレート：約 9 Mbps
iFrame 540（960×540）	縦横比16:9 の動画を記録します。Apple Inc.がサポートするフォーマットのひとつです。 ・解像度：960 × 540 ピクセル ・ビットレート：約 24 Mbps 動画撮影中の静止画記録（📖142）、動画の編集（📖153）はできません。 内蔵メモリーで撮影するときは、絵柄によっては撮影が途中で終了することがあります。大切な撮影ではSDカード（Class 6以上）の使用をおすすめします。
VGA（640×480）	縦横比4:3の動画を記録します。 ・解像度：640 × 480 ピクセル ・ビットレート：約 640 kbps

種類	内容
HS 240 fps（320×240）	縦横比4:3で1/8の速度のスローモーション動画を撮影します。 • 最長撮影時間※：10 秒（再生時間：80 秒） • 解像度：320 × 240 ピクセル • ビットレート：約 640 kbps
HS 120 fps（640×480）	縦横比4:3で1/4の速度のスローモーション動画を撮影します。 • 最長撮影時間※：10 秒（再生時間：40 秒） • 解像度：640 × 480 ピクセル • ビットレート：約 3 Mbps
HS 60 fps（1280×720）	縦横比16:9で1/2の速度のスローモーション動画を撮影します。 • 最長撮影時間※：30 秒（再生時間：1 分） • 解像度：1280 × 720 ピクセル • ビットレート：約 9 Mbps
HS 15 fps（1920×1080）	縦横比16:9で2倍の速度の早送り動画を撮影します。 • 最長撮影時間※：2 分（再生時間：1 分） • 解像度：1920 × 1080 ピクセル • ビットレート：約 12 Mbps

※ 最長撮影時間は、スローモーションまたは早送り再生になる部分だけの撮影時間です。

- ビットレートとは、1秒間あたりの動画のデータ量です。撮影する被写体により、ビットレートが自動的に変わる「VBR記録方式」を採用しています。動きの多い被写体を記録した場合は、ファイルサイズが大きくなります。
- 撮影フレーム数は、いずれの設定も約30フレーム/秒です。

動画の記録可能時間

種類	内蔵メモリー（約74 MB）	SDカード（4 GB）※
HD 1080p★（1920×1080）（初期設定）	42秒	約35分
HD 1080p（1920×1080）	49秒	約40分
HD 720p（1280×720）	1分5秒	約55分
iFrame 540（960×540）	21秒	約15分
VGA（640×480）	3分9秒	約2時間30分

数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。

※ 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。

関連ページ

- 記録データのファイル名とフォルダー名➞200

HS動画で記録開始

撮影画面を表示する ➔ MENU ➔ 🎞（動画メニュー）に切り換える（🕮146）➔ HS動画で記録開始

撮影開始からスローモーションまたは早送りの動画で撮影するかどうかを選びます。

設定	内容
ON（初期設定）	HS動画で撮影を開始します。
OFF	通常速度の動画で撮影を開始します。スローモーションまたは早送りにしたい場面でⓀボタンを押して、HS動画に切り換えます。

AFモード

撮影画面を表示する ➔ MENU ➔ 🎞（動画メニュー）に切り換える（🕮146）➔ AFモード

通常速度の動画で撮影するときのオートフォーカスの方法を選びます。

設定	内容
AF-S シングルAF（初期設定）	●（🎞動画撮影）ボタンで撮影を開始したときのピントに固定します。 撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。

動画撮影中のAFモードについて

シーンモードが［**打ち上げ花火**］のときは、遠景にピントが固定されます。

電子式手ブレ補正

撮影画面を表示する ➔ MENU ➔ 🎥（動画メニュー）に切り換える（📖146）➔ 電子式手ブレ補正

［**動画設定**］で通常速度の動画を選択して撮影するとき、電子式手ブレ補正をするかどうかを設定します。

設定	内容
ON（初期設定）	動画撮影時に手ブレの影響を軽減します。
OFF OFF	電子式手ブレ補正を行いません。

電子式手ブレ補正を［**ON**］にすると、動画撮影開始時に、画面にが表示されます（📖6）。

電子式手ブレ補正についてのご注意

HS動画を撮影するときは、手ブレ補正機能を使えません。

風切り音低減

撮影画面を表示する ➔ MENU ➔ 🎥（動画メニュー）に切り換える（📖146）➔ 風切り音低減

通常速度の動画で撮影するときに風切り音を低減するかどうかを設定します。

設定	内容
ON	マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。強風時の撮影に適しています。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがあります。
OFF OFF（初期設定）	風切り音を低減しません。

風切り音低減の設定は、撮影時の画面で確認できます（📖6）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

動画を再生する

1コマ表示（□89）で動画設定（□148）のアイコンが表示されている画像が動画です。Ⓚボタンを押すと、再生できます。

再生中は、ズームレバー**T**/**W**で音量を調節できます。ロータリーマルチセレクターを回すと早送り/巻き戻しできます。
画面上部には操作パネルが表示されます。ロータリーマルチセレクターの◀▶を押して操作パネルのアイコンを選ぶと、以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容	
巻き戻し		Ⓚボタンを押している間、巻き戻します。	
早送り		Ⓚボタンを押している間、早送りします。	
一時停止		Ⓚボタンを押すと、一時停止します。 一時停止中に画面上部の操作パネルのアイコンで以下の操作ができます。	
			Ⓚボタンを押すと、コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。※
			Ⓚボタンを押すと、コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。※
			Ⓚボタンを押すと、再生を再開します。
			Ⓚボタンを押すと、動画の必要な部分だけを切り出して保存します（□153）。
再生終了		Ⓚボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。	

※ ロータリーマルチセレクターを回してもコマ送り/コマ戻しできます。

動画再生について

COOLPIX S9100以外で撮影した動画は再生できません。

動画を削除する

1コマ表示（□89）やサムネイル表示（□94）で動画を選んで🗑ボタンを押すと、削除方法を選ぶ画面が表示されます。詳しくは、「不要な画像を削除する」（□31）をご覧ください。

動画を編集する

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します（[**iFrame 540（960×540）**]（□148）で撮影した動画を除く）。

1 編集する動画を再生して、一時停止する（□152）

2 ロータリーマルチセレクターの◀ ▶で操作パネルの☒を選び、OKボタンを押す

- 動画編集画面が表示されます。

3 ▲▼を押して編集操作パネルの✂（始点の設定）を選ぶ

- 編集開始時は、一時停止したときのフレームが始点になっています。
- ロータリーマルチセレクターを回すか、◀ ▶を押して、始点を必要な部分の開始位置まで移動します。
- 編集を中止するには、▲▼で↩（戻る）を選び、OKボタンを押します。

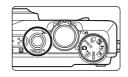
4 ▲▼を押して✂（終点の設定）を選ぶ

- ロータリーマルチセレクターを回すか、◀ ▶を押して、右端にある終点を必要な部分の終了位置まで移動します。
- ▶（プレビュー）を選び、OKボタンを押すと、保存する前に指定した範囲の動画を再生して確認できます。再生中、ズームレバー **T**/**W** で音量を調節できます。ロータリーマルチセレクターを回すと早送り/巻き戻しできます。プレビュー再生を停止するときは、もう一度OKボタンを押します。

5 設定が完了したら、▲▼を押して□［保存］を選び、OKボタンを押す

6 ［はい］を選び、®ボタンを押す

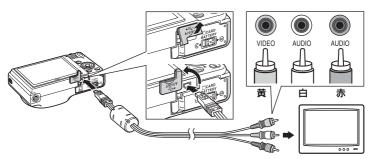
- 編集した動画が保存されます。
- 保存しないときは［**いいえ**］を選びます。

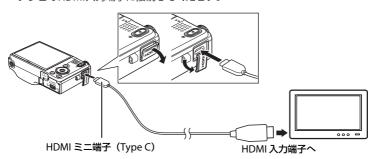
動画編集についてのご注意

- 編集で作成した動画から、もう一度動画を切り出すことはできません。ほかの範囲を切り出すときは、元の動画を選んで編集してください。
- 秒単位で動画を切り出すため、設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。
- 内蔵メモリー/SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名➞□200

テレビに接続する

カメラをテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。HDMI端子が付いたテレビをお持ちの場合は、市販のHDMIケーブルで接続するとハイビジョン画質で楽しめます。

1 カメラの電源をOFFにする

2 カメラとテレビを接続する

付属のオーディオビデオケーブルで接続する場合
黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白色と赤色のプラグを音声入力端子に接続してください。

市販のHDMIケーブルで接続する場合
テレビのHDMI入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

4 カメラの▶ボタンを押し続けて電源をONにする

- カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- テレビとの接続中は、カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

HDMI接続についてのご注意

- HDMIケーブルは付属していません。市販のものをご用意ください。カメラのHDMI出力端子は、HDMI ミニ端子（Type C）です。HDMIケーブルご購入時は、ケーブルの片方がHDMI ミニ端子のものをお選びください。
- HDMI端子が付いたテレビで、画像をハイビジョン画質で楽しむには、静止画の［**画像モード**］（□47）は［**3M 2048×1536**］以上、動画の［**動画設定**］（□148）は［**HD 720p（1280×720）**］以上にして撮影することをおすすめします。

ケーブル接続時のご注意

- ケーブルは、端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- カメラのHDMIミニ端子とUSB/オーディオビデオ出力端子に、同時にケーブルを接続しないでください。

画像がテレビに映らないときは

［**セットアップ**］メニュー（□169）→［**TV出力設定**］（□186）がお使いのテレビに合っているか確認してください。

テレビのリモコンを使う（HDMI 機器制御）

HDMI-CEC規格対応テレビのリモコンで、再生中の操作ができます。
カメラのロータリーマルチセレクターやズームレバーのかわりに、画像の選択や動画の再生/停止、かんたんパノラマで撮影した画像のスクロール再生、1コマ表示と4コマのサムネイル表示の切り換えができます。

- カメラの［**TV出力設定**］の［**HDMI 機器制御**］（□186）を［**ON**］（初期設定）にし、HDMIケーブルで接続してください。
- リモコンは、テレビに向けて操作してください。
- お使いのテレビがHDMI-CEC規格に対応しているかどうかは、テレビの説明書などでご確認ください。

パソコンに接続する

付属のUSBケーブルでカメラをパソコンに接続すると、撮影した画像をパソコンに保存できます。

カメラとパソコンを接続する前に

ソフトウェアをインストールする

付属のViewNX 2 CD-ROM で、以下のソフトウェアをパソコンにインストールしてください。ソフトウェアのインストール方法は、簡単スタートガイドをご覧ください。

- ViewNX 2：画像の転送機能「Nikon Transfer 2」で、撮影した画像をパソコンに取り込めます。取り込んだ画像を表示したり、画像を選んで印刷したりできます。静止画や動画を編集する機能もあります。
- Panorama Maker 5：画像をつなぎ合わせてパノラマ写真を作成できます。

対応OS（オペレーティングシステム）

Windows

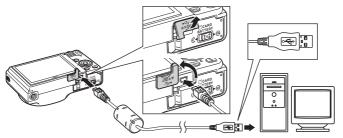
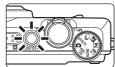
- Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate
- Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（Service Pack 2）
- Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 3）

Macintosh

Mac OS X（version 10.4.11、10.5.8、10.6.5）

ハイビジョン画質の動画再生条件については、ViewNX 2のヘルプの「動作環境」をご覧ください（□161）。
対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

✔ パソコンに接続するときのご注意

市販のUSB充電器など、他のUSB機器はパソコンから取り外してください。
USB機器によっては、同時に接続すると動作に不具合が発生することや、パソコンからの供給電力が過大になり、同時に接続したカメラ、SDカードなどが壊れるおそれがあります。
お使いのUSB機器の説明書もご確認ください。

電源についてのご注意

- パソコンと接続して画像を転送するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- カメラのセットアップメニューの［**パソコン接続充電**］が［**AUTO**］（初期設定）のときは、起動済みのパソコンにカメラを付属のUSBケーブルで接続すると、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを自動的に充電できます（□162、187）。
- 別売のACアダプター EH-62F（□198）を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX S9100へ電源を供給できます。EH-62F以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

カメラからパソコンに画像を転送する

1 ViewNX 2をインストール済みのパソコンを起動する

2 カメラの電源をOFFにする

3 付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続する

- 端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

- カメラの電源が自動的にONになり、電源ランプが点灯します。カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

4 パソコンでViewNX 2の転送機能「Nikon Transfer 2」を起動する

- **Windows 7 の場合：**
  ［**デバイスとプリンター ▶S9100**］画面が表示されたら、［**画像とビデオのインポート**］の下の［**プログラムの変更**］をクリックします。［**プログラムの変更**］ダイアログで［**画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用**］を選び、［**OK**］をクリックします。
  ［**デバイスとプリンター ▶S9100**］画面で［**画像ファイルを取り込む**］をダブルクリックします。
- **Windows Vista の場合：**
  ［**自動再生**］ダイアログが表示されたら、［**画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用**］をクリックします。
- **Windows XP の場合：**
  起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面が示されたら、［**Nikon Transfer 2 画像ファイルを取り込む**］を選び、［**OK**］をクリックします。
- **Mac OS Xの場合：**
  ViewNX 2のインストールで、［**自動起動の設定**］を［**はい**］にした場合は、カメラを接続するとNikon Transfer 2が自動起動します。
- Nikon Transfer 2を手動で起動するには➞🕮161

- カメラ内のバッテリー残量が少ないときは、パソコンでカメラを認識できず、画像を転送できないことがあります。パソコンからの電力でカメラ内のバッテリー充電が始まったときは、バッテリー残量が増えるまでお待ちください。
- SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。

5 オプションエリアの［**転送元**］パネル内に、接続したカメラ名のデバイスボタンが表示されていることを確認し、［**転送開始**］ボタンをクリックする

- パソコンに転送されていないすべての画像が転送されます（ViewNX 2 の初期設定）。

- 転送が終わると、ViewNX 2の画面が開き（ViewNX 2の初期設定）、転送した画像が表示されます。

- ViewNX 2の操作方法については、ViewNX 2のヘルプをご覧ください（□161）。

カメラとパソコンの接続を外すときは

- 転送中は、電源をOFFにしたり、カメラとパソコンの接続を外したりしないでください。
- 接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを外してください。
- USBケーブルを接続したまま、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。

バッテリーの充電について

カメラの充電ランプが、緑色でゆっくり点滅しているときは、カメラ内のバッテリーを充電中です（□162）。

転送に市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットを使う

SD カード内の画像は、市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットを使っても、ViewNX 2の転送機能「Nikon Transfer 2」で転送できます。

- カードリーダーなどの機器が、お使いのSDカードに対応しているかご確認ください。
- カードリーダーまたはカードスロットに SD カードを入れ、手順 4（□159）以降を参照して、画像を転送してください。
- 内蔵メモリーに記録したデータは、カメラでSDカードにコピーしてから（□127）転送してください。

ViewNX 2を手動で起動するには

- Windows ：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**ViewNX 2**］→［**ViewNX 2**］の順にクリックします。デスクトップの［**ViewNX 2**］のショートカットアイコンをダブルクリックしても起動できます。
- Mac OS X ：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Nikon Software**］→［**ViewNX 2**］の順にフォルダーを開き、［**ViewNX 2**］アイコンをダブルクリックします。Dock の［**ViewNX 2**］アイコンをクリックしても起動できます。

Nikon Transfer 2を手動で起動するには

Nikon Transfer 2 は、ViewNX 2 を起動し、画面上部の［**Transfer**］アイコン、または［**ファイル**］メニューから［**Transferを起動**］をクリックして起動します。

ViewNX 2またはNikon Transfer 2の詳しい使い方（ヘルプ）を見るには

ViewNX 2またはNikon Transfer 2を起動して、メニューバーの［**ヘルプ**］→［**ViewNX 2ヘルプ**］を選ぶと、ヘルプ画面を表示して詳しい使い方を見ることができます。

パノラマ写真に合成するには（Panorama Maker 5）

- シーンモードの［**パノラマアシスト**］機能（□78）を使って撮影した画像を、Panorama Maker 5を使ってパノラマ写真に合成できます。
- Panorama Maker 5は、付属のViewNX 2 CD-ROMでインストールできます。
- Panorama Maker 5をインストールしたら、次のように起動します。
  Windows：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**ArcSoft Panorama Maker 5**］→［**Panorama Maker 5**］の順にクリックします。
  Mac OS X：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Panorama Maker 5**］をダブルクリックします。
- Panorama Maker 5の使い方は、Panorama Maker 5の操作画面やヘルプをご覧ください。

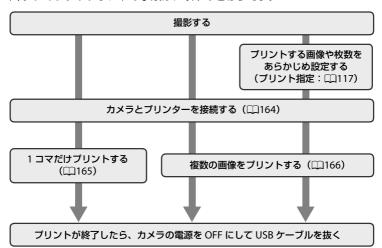
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□200

パソコン接続時の充電について

カメラのセットアップメニューの［**パソコン接続充電**］（□187）が［**AUTO**］（初期設定）のときは、カメラをUSBケーブルでパソコンと接続すると、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを自動的に充電できます。
カメラをパソコンに接続する方法は、「カメラとパソコンを接続する前に」（□157）、「カメラからパソコンに画像を転送する」（□158）をご覧ください。

充電ランプについて

パソコンに接続しているときのカメラの充電ランプの状態と意味は以下のとおりです。

充電ランプ	意味
ゆっくり点滅（緑色）	充電中です。
消灯	充電していません。 電源ランプが点灯したまま、ゆっくりした点滅（緑色）から消灯に変わると、充電の完了です。
速い点滅（緑色）	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5 ～ 35 ℃の室内で充電してください。 • USB ケーブルが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。 • パソコンが休止状態（スリープ状態）で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。 • パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。

✔ パソコンに接続して充電するときのご注意

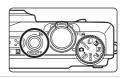
- パソコンに接続しても、ご購入後にカメラの表示言語と日時（□20）を設定していないときは、充電やデータの転送はできません。また、時計用電池（□173）が切れて日時がリセットされたまま再設定していないときも、充電やデータの転送はできません。本体充電ACアダプター EH-69Pでバッテリーを充電し（□16）、カメラの日時を設定してください。
- カメラの電源をOFFにすると、バッテリーの充電も中止されます。
- 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源がOFFになることがあります。
- カメラとパソコンの接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを外してください。
- 本体充電ACアダプター EH-69P使用時に比べて、充電に時間がかかることがあります。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電だけをしたいときに、カメラをパソコンに接続して、パソコンでNikon Transfer 2などが起動した場合は、これらの画面を閉じてください。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が 30 分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。
- パソコンの仕様、設定または状態によっては、カメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。

プリンターに接続する

PictBridge（□215）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下のとおりです。

電源についてのご注意

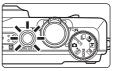
- プリンターと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- 別売のACアダプター EH-62Fを使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX S9100へ電源を供給できます。EH-62F以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

画像のプリント方法について

SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に以下の方法でプリントできます。

- カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

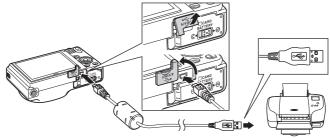
これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、再生メニューの［**プリント指定**］を使って、あらかじめSDカードに設定できます（□117）。

カメラとプリンターを接続する

1 カメラの電源をOFFにする

2 プリンターの電源をONにする

- プリンターの設定を確認します。

3 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

- 端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

4 カメラの電源が自動的にONになる

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに［**PictBridge**］画面（①）が表示された後、［**プリント画像選択**］画面（②）が表示されます。

PictBridge画面が表示されないときは

カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外してください。カメラのセットアップメニューの［**パソコン接続充電**］（□187）を［**OFF**］に設定してから、接続をやり直してください。

1コマだけプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（□164）、以下の手順でプリントしてください。

1 ロータリーマルチセレクターでプリントする画像を選び、Ⓚボタンを押す

- ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に、**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に切り換わります。

2 ［**プリント枚数設定**］を選び、Ⓚボタンを押す

3 プリント枚数（9枚まで）を設定し、Ⓚボタンを押す

4 ［**用紙設定**］を選び、Ⓚボタンを押す

5 用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

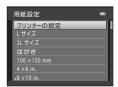
6 ［プリント実行］を選び、Ⓞボタンを押す

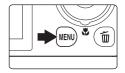
7 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順1の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、Ⓞボタンを押します。

プリント中の枚数/総枚数

複数の画像をプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（□164）、以下の手順でプリントしてください。

1 ［プリント画像選択］画面が表示されたら、MENUボタンを押す

- ［**プリントメニュー**］画面が表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［用紙設定］を選び、Ⓞボタンを押す

- プリントメニューを終了したいときは、MENUボタンを押します。

3 用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

4 ［**プリント選択**］、［**全画像プリント**］または［**DPOFプリント**］を選んで、Ⓚボタンを押す

プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定できます。

- ロータリーマルチセレクターを回すか、◀▶を押して画像を選び、▲▼を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと 12 コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したら Ⓚ ボタンを押します。
- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。［**キャンセル**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。［**キャンセル**］を選んでⓀボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

DPOFプリント

［**プリント指定**］（□117）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。［**キャンセル**］を選んでⓀボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

- ［**画像の確認**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、どの画像をプリント指定したか確認できます。もう一度 Ⓚ ボタンを押すと、画像のプリントが始まります。

5 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、Ⓚボタンを押します。

プリント中の枚数/総枚数

用紙設定について

用紙設定画面では、［**プリンターの設定**］以外に、［**L サイズ**］、［**2L サイズ**］、［**はがき**］、［**100×150 mm**］、［**4×6 in.**］、［**8×10 in.**］、［**Letter**］、［**A3 サイズ**］、［**A4 サイズ**］のうち、プリンターが対応している用紙サイズを表示します。

セットアップメニュー

セットアップメニューで以下の設定ができます。

オープニング画面	📖171
カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。	
地域と日時	📖172
内蔵時計を合わせます。	
モニター設定	📖175
モニター表示設定、撮影後の画像表示または画面の明るさを設定します。	
デート写し込み	📖177
撮影日時を画像に写し込む設定ができます。	
手ブレ補正	📖178
撮影するときの手ブレ補正を設定します。	
モーション検知	📖180
静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。	
AF補助光	📖181
AF補助光の点灯/非点灯を設定します。	
電子ズーム	📖182
電子ズームの動作を設定します。	
操作音	📖183
操作音について設定します。	
オートパワーオフ	📖184
節電のために液晶モニターが消灯するまでの時間を設定します。	
メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット）	📖185
内蔵メモリー /SDカードを初期化します。	
言語/Language	📖186
画面に表示する言語を設定します。	
TV出力設定	📖186
テレビとの接続に必要な設定をします。	
パソコン接続充電	📖187
USBケーブルでパソコンに接続したときに、バッテリーを充電するかどうかを設定します。	
目つぶり検出設定	📖188
顔認識撮影したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。	
設定クリアー	📖190
各種設定を初期設定に戻します。	

バージョン情報 □193

ファームウェアの情報を表示します。

セットアップメニューの表示方法

1 MENUボタンを押す

- メニュー画面になります。
- SCENE（おまかせシーン）でMENUボタンを押した場合は、ロータリーマルチセレクター（□11）の◀を押して、タブを表示します。

2 ロータリーマルチセレクターの◀を押す

- タブが選べるようになります。

3 ▲▼を押してYタブを選ぶ

4 ▶またはⓀボタンを押す

- セットアップメニューの項目が選べるようになります。
- メニューの選択と設定には、ロータリーマルチセレクターを使います（□11）。
- セットアップメニューを終了するには、MENUボタンを押すか、◀を押して他のタブを選びます。

オープニング画面

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）に切り換える（□170）➔ オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。

なし（初期設定）

オープニング画面を表示しないで、撮影または再生画面を表示します。

COOLPIX

オープニング画面を表示してから、撮影または再生画面を表示します。

撮影した画像

撮影した画像をオープニング画面として表示します。画像選択の画面が表示されたら画像を選び（□123）、Ⓚボタンを押して登録します。

- 登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。
- ［**画像モード**］（□47）を［**3968 × 2232**］にして撮影した画像、かんたんパノラマで撮影した画像、スモールピクチャー（□138）やトリミング（□139）で作成した画像サイズ 320 × 240 以下の画像、およびハイビジョンまたはフルハイビジョン画質の動画撮影中に記録した静止画（□142）は登録できません。

地域と日時

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）に切り換える（□170）➔地域と日時

カメラに内蔵された時計を設定します。

日時の設定

内蔵時計の日付と時刻を設定します。
表示される設定画面で、ロータリーマルチセレクターを使って設定します。
- 項目を選ぶ：▶ または ◀ を押します（[**年**]、[**月**]、[**日**]、[**時**]、[**分**] に切り換わります）。
- 項目の内容を合わせる：ロータリーマルチセレクターを回すか、▲ または ▼ を押します。
- 設定を完了する：[**分**] を選び、OK ボタンを押します。

日付の表示順

日付の表示順を［**年/月/日**］、［**月/日/年**］、［**日/月/年**］から選べます。

タイムゾーン

自宅（⌂）のタイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。また、訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（⌂）との時差（□174）を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。

時差のある地域で使うには

1 ロータリーマルチセレクターで［**タイムゾーン**］を選び、OKボタンを押す

- ［**タイムゾーン**］画面が表示されます。

2 ［✈ **訪問先**］を選び、OKボタンを押す

- 訪問先の時計に切り換わります。

カメラに関する基本設定

3 ▶を押す

- 地域の設定画面が表示されます。

4 ◀または▶を押して訪問先の地域（タイムゾーン）を選ぶ

- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域で使うときは、▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部に マークが表示され、時計が1時間進みます。オフにするときは、▼を押します。
- ⓄⓀボタンを押して、訪問先を決定します。
- 訪問先の時計に設定しているときは、撮影時の画面に マークが表示されます。

時計用電池について

カメラの内蔵時計は、カメラに入れるバッテリーとは別の時計用電池で動いています。カメラにバッテリーを入れるかACアダプターを接続すると、時計用電池が約10時間で充電され、数日間、設定した日時を記憶できます。

（自宅）の設定について

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で[**自宅**]を選び、ⓄⓀボタンを押してください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で［ **自宅**］を選び、［ **訪問先**］と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定について

夏時間（サマータイム）が始まったときや終わったときは、手順4の地域設定画面で、夏時間のオンとオフを切り換えてください。

日付を画像に写し込むには

日時を設定した後に、セットアップメニューの［**デート写し込み**］（□177）で設定します。[**デート写し込み**]を設定して撮影すると、撮影日時を画像に写し込んで記録できます。

タイムゾーンについて

時差とタイムゾーンの関係は以下の表をご覧ください。
この表にない時差は、正しい時刻を［**日時の設定**］で合わせてください。

時差 +/–	タイムゾーン	時差 +/–	タイムゾーン
–20	Midway, Samoa（ミッドウェー、サモア）	–8	Madrid, Paris, Berlin（マドリード、パリ、ベルリン）
–19	Hawaii, Tahiti（ハワイ、タヒチ）	–7	Athens, Helsinki, Ankara（アテネ、ヘルシンキ、アンカラ）
–18	Alaska, Anchorage（アラスカ、アンカレッジ）	–6	Moscow, Nairobi, Riyadh, Kuwait, Manama（モスクワ、ナイロビ、リヤド、クウェート、マナマ）
–17	PST (PDT): Los Angeles, Seattle, Vancouver（ロサンゼルス、シアトル、バンクーバー）	–5	Abu Dhabi, Dubai（アブダビ、ドバイ）
–16	MST (MDT): Denver, Phoenix（デンバー、フェニックス）	–4	Islamabad, Karachi（イスラマバード、カラチ）
–15	CST (CDT): Chicago, Houston, Mexico City（シカゴ、ヒューストン、メキシコシティー）	–3.5	New Delhi（ニューデリー）
–14	EST (EDT): New York, Toronto, Lima（ニューヨーク、トロント、リマ）	–3	Colombo, Dhaka（コロンボ、ダッカ）
–13.5	Caracas（カラカス）	–2	Bangkok, Jakarta（バンコク、ジャカルタ）
–13	Manaus（マナウス）	–1	Beijing, Hong Kong, Singapore（北京、香港、シンガポール）
–12	Buenos Aires, Sao Paulo（ブエノスアイレス、サンパウロ）	±0	Tokyo, Seoul（東京、ソウル）
–11	Fernando de Noronha（フェルナンド・デ・ノローニャ）	+1	Sydney, Guam（シドニー、グアム）
–10	Azores（アゾレス）	+2	New Caledonia（ニューカレドニア）
–9	London, Casablanca（ロンドン、カサブランカ）	+3	Auckland, Fiji（オークランド、フィジー）

モニター設定

MENUボタンを押す ➔ ¥（セットアップメニュー）に切り換える（□170）➔ モニター設定

以下の項目を設定します。

モニター表示設定

撮影、再生時の画面に表示される情報について設定します。→□176

撮影後の画像表示

［**ON**］（初期設定）：撮影直後に、撮影した画像を表示してから撮影画面に戻ります。

［**OFF**］：撮影直後に、撮影した画像を表示しません。

画面の明るさ

画面の明るさを5段階で調節できます。初期設定は［**3**］です。

［モニター表示設定］について

画面に情報を表示するかどうかを設定します。

液晶モニターの表示内容については→**□6**

	撮影時	再生時
情報ON		
情報AUTO（初期設定）	［**情報ON**］と同じ情報を表示した後、操作しない状態が数秒経過すると［**情報OFF**］と同じ表示になります。操作すると、再び情報を表示します。	
情報OFF		
方眼+情報AUTO	［**情報AUTO**］の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。 動画撮影中は表示しません。	［**情報AUTO**］と同じです。
動画枠+情報AUTO	［**情報AUTO**］の表示内容に加えて、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示します。 静止画の［**画像モード**］と動画の［**動画設定**］の組み合わせにより、動画枠の大きさが変わります。	［**情報AUTO**］と同じです。

デート写し込み（日付の写し込み）

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）に切り換える（□170）➔ デート写し込み

撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字（□120）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。

DATE　年・月・日

画像に日付を写し込みます。

年・月・日・時刻

画像に日付と時刻を写し込みます。

OFF　OFF（初期設定）

日付、時刻のどちらも写し込みません。

デート写し込みの設定は、撮影時の画面で確認できます（□6）。［**OFF**］のときは何も表示されません。

デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日付を写し込めません。
  - シーンモードが（夜景）（［**手持ち撮影**］時）、（夜景ポートレート）（［**手持ち撮影**］時）、（逆光）（［**HDR**］ON時）、［**スポーツ**］、［**ミュージアム**］、［**パノラマ**］または［**ペット**］（［**連写**］時）のとき
  - 連写モードのとき（マルチ連写を除く）
  - 動画のとき
  - 動画撮影中に記録した静止画
- ［**画像モード**］（□47）が［**640×480**］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらいことがあります。画像モードは［**1024×768**］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、［**地域と日時**］（□20、172）での設定と同じになります。

「デート写し込み」と「プリント指定」について

日付や撮影情報の印刷が可能なDPOF対応のプリンターでプリントするときは、［**デート写し込み**］で日時を写し込んでいない画像でも、［**プリント指定**］（□117）で撮影日時や撮影情報をプリントするように設定できます。

手ブレ補正

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）に切り換える（□170）➔ 手ブレ補正

静止画を撮影するときの手ブレ補正を設定します。
手ブレ補正機能は、望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時に起こりがちな手ブレを効果的に補正します。
三脚などでカメラを固定して静止画を撮影するときは、手ブレ補正を［**OFF**］にしてください。

ON（ハイブリッド）

イメージセンサーシフト方式で静止画撮影時の手ブレを光学的に補正し、さらに以下の条件になると、画像処理による電子式手ブレ補正を加えて記録します。
- フラッシュを発光しないとき
- シャッタースピードが 1/60 秒より低速のとき
- ［**セルフタイマー**］が OFF のとき
- ISO 感度が 200 以下のとき

ON（初期設定）

イメージセンサーシフト方式で静止画撮影時の手ブレを補正します。
また、流し撮りでは、カメラが流し撮りの方向を自動的に検出し、手ブレによる揺れのみを補正します。たとえば、横方向に流し撮りするときには縦方向の手ブレだけが、縦方向に流し撮りするときには横方向の手ブレだけが補正されます。

OFF OFF

手ブレ補正をしません。

手ブレ補正の設定は、撮影時の画面で確認できます（□6、25、140）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

動画の手ブレ補正について

動画撮影時の手ブレ補正は、動画メニュー（□146）の［**電子式手ブレ補正**］（□151）で設定します。

手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源をON にした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、液晶モニターの画像が安定してから撮影してください。
- 手ブレ補正の原理上、撮影直後に液晶モニターの画像がずれて見えることがあります。
- 手ブレ補正機能を設定しても、撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- シーンモードの［**夜景**］、［**夜景ポートレート**］が［**三脚撮影**］のときは、手ブレ補正は［OFF］になります。
- HS動画で撮影するときは、手ブレ補正機能を使えません。
- ブレが極端に小さいときや大きいときは、［**ON（ハイブリッド）**］に設定しても電子式手ブレ補正で画像補正できないことがあります。
- シャッタースピードが速いとき、または極端に遅いときは、［**ON（ハイブリッド）**］に設定しても電子式手ブレ補正は作動しません。
- ［**ON（ハイブリッド）**］で電子式手ブレ補正が作動するときは、撮影すると自動的にシャッターを2回きって画像補正をするため、通常よりも画像の記録に時間がかかります。［**シャッター音**］（□183）が鳴るのは1回目のみです。記録する画像は1コマです。

モーション検知

MENUボタンを押す ➔ 🔧（セットアップメニュー）に切り換える（📖170）➔ モーション検知

静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

AUTO（初期設定）

カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。
ただし、以下の場合は、モーション検知は作動しません。

- フラッシュが強制発光のとき
- 📷（オート撮影）モードで［**ISO 感度設定**］（📖52）を［**オート**］以外にしたとき
- 以下のシーンモードのとき
  - （夜景）（📖64）
  - （夜景ポートレート）（📖65）
  - （逆光）（📖66）
  - ［**スポーツ**］（📖68）、［**トワイライト**］（📖70）、［**ミュージアム**］（📖72）、［**打ち上げ花火**］（📖72）、［**パノラマ**］（［**かんたんパノラマ**］選択時）（📖73）、［**ペット**］（📖74）
- ［**AF エリア選択**］がターゲット追尾のとき（📖58）
- 連写モードのとき（📖80）

OFF　OFF

モーション検知をしません。

モーション検知の設定は、撮影時の画面で確認できます（📖6、25）。
カメラがブレを検知してシャッタースピードを速くしたときは、モーション検知表示は緑色に変わります。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

モーション検知のご注意

- モーション検知を設定しても、撮影状況によっては手ブレや被写体ブレを完全に軽減できないことがあります。
- 極端にブレているときや暗すぎるときは、モーション検知が作動しないことがあります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

AF補助光

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）に切り換える（□170）➔ AF補助光

暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光の点灯/非点灯を設定します。

AUTO（初期設定）

暗い場所などで自動的にAF補助光が点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約5.0 m、望遠側で約4.0 mです。
ただし、［**AUTO**］に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。

OFF

AF補助光は点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなることがあります。

電子ズーム

MENUボタンを押す ➔ 🔧（セットアップメニュー）に切り換える（📖170）➔ 電子ズーム

電子ズームの動作を設定します。

ON ON（初期設定）

光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーをT（🔍）方向に回すと、電子ズーム（📖27）が作動します。

クロップ

ズーム倍率をズーム表示の凸マークの位置までに制限します（動画撮影中を除く）。撮影する静止画の画質が電子ズームで劣化しない範囲にズーム倍率を制限します。
画像サイズが［**4000×3000★**］、［**4000×3000**］、［**3968×2232**］のときは、電子ズームが使えません。
- 動画の撮影中は［**ON**］と同じ動作になります。

OFF OFF

電子ズームは作動しません。

電子ズームについてのご注意

- 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。
- 以下の場合、電子ズームは使えません。
  - シーンモードが、おまかせシーン、（夜景）、（夜景ポートレート）、（逆光）（［**HDR**］ON時）、［**ポートレート**］、［**パノラマ**］（［**かんたんパノラマ**］選択時）、［**ペット**］のとき
  - ［**AFエリア選択**］がターゲット追尾のとき
  - 連写モードの設定が［**マルチ連写**］のとき
  - （笑顔自動シャッター）のとき
- 電子ズーム作動中は、測光方式が自動的に中央部重点測光またはスポット測光（画面中央部で測光）に切り換わります。
- クロップのズーム位置で静止画を撮影中に●（動画撮影）ボタンを押したときは、電子ズームが作動し、静止画撮影時のズーム位置のままで動画も撮影します。

操作音

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）に切り換える（□170）➔
操作音

操作音について設定します。

設定音

設定音（電子音1回：設定完了時など）、合焦音（電子音2回：ピントが合ったとき）、警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）およびオープニング音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。

シャッター音

シャッターをきったときのシャッター音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。
ただし、連写モードで撮影するときや、動画撮影中に静止画を記録するときは、［**ON**］に設定しても、シャッター音は鳴りません。

操作音についてのご注意

シーンモードの［**ペット**］では、設定音およびシャッター音は鳴りません。

オートパワーオフ

MENUボタンを押す ➔ Ÿ（セットアップメニュー）に切り換える（□170）➔ オートパワーオフ

電源をONにしたまま、カメラを操作しない状態が続くと、節電のために液晶モニターが消灯して待機状態になります（□19）。
このメニューでは、待機状態になるまでの時間を設定します。
［**30 秒**］、［**1 分**］（初期設定）、［**5 分**］、［**30 分**］から選べます。

節電により液晶モニターが消灯したときは

- 待機状態では、電源ランプが点滅します。
- 待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 電源ランプの点滅中は、以下の操作で液晶モニターが再点灯します。
  - 電源スイッチ、シャッターボタン、▶ボタン、または●（動画撮影）ボタンを押す。
  - モードダイヤルを回す。

オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態に入るまでの時間は固定です。

- メニュー表示中：3分
- スライドショー再生中：最大30分
- ACアダプター EH-62F接続中：30分

メモリー /カードの初期化（フォーマット）

MENU ボタンを押す ➔ 🔧（セットアップメニュー）に切り換える（🕮170）➔ メモリーの初期化/カードの初期化

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。
内蔵メモリー /SDカードを初期化すると、内蔵メモリー /SDカード内のデータはすべて削除されます。削除したデータはもとに戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。

内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出します。セットアップメニューの項目に［**メモリーの初期化**］が表示されます。

SDカードの初期化

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に［**カードの初期化**］が表示されます。

✔ 初期化についてのご注意

- 内蔵メモリー /SDカードを初期化すると、お気に入りフォルダーのアイコン設定（🕮106）は初期設定（数字アイコン）に戻ります。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

言語/Language

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）に切り換える（□170）➔ 言語/Language

画面に表示する言語を、日本語（初期設定）または英語に設定します。

TV出力設定

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）に切り換える（□170）➔ TV出力設定

テレビとの接続に必要な設定を行います。

ビデオ出力

ビデオの出力方式を［**NTSC**］と［**PAL**］から選べます。
［**NTSC**］と［**PAL**］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。
日本ではNTSC方式が、欧州ではPAL方式が主流です。

HDMI

HDMI出力時の画像の解像度を［**オート**］（初期設定）、［**480p**］、［**720p**］または［**1080i**］から選べます。［**オート**］にすると、接続するハイビジョンテレビに対応した解像度を［**480p**］、［**720p**］または［**1080i**］から自動で選んで出力します。

HDMI **機器制御**

HDMI-CEC規格対応のテレビにHDMIケーブルで接続したときに、テレビからの信号を受信するかどうかを設定します。［**ON**］（初期設定）にすると、テレビのリモコンを使って再生中の操作ができます。→「テレビのリモコンを使う（HDMI 機器制御）」（□156）

HDMI、HDMI-CEC**とは**

「HDMI」とは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、マルチメディアインターフェースのひとつです。「HDMI-CEC」とは、HDMI-Consumer Electronics Controlの略で、対応機器間での連携動作を可能にします。

パソコン接続充電

MENUボタンを押す ➔ Ÿ（セットアップメニュー）に切り換える（□170）➔
パソコン接続充電

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続したときに、カメラ内のバッテリーを充電するかどうかを設定します（□162）。

AUTO（初期設定）

カメラを起動済みのパソコンに接続したときに、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを充電します。

OFF

カメラをパソコンに接続しても、カメラ内のバッテリーを充電しません。

カメラとプリンターを接続してプリントするときのご注意

- カメラをPictBridge対応プリンターに接続しても、バッテリーの充電はできません。
- プリンターによっては、［**パソコン接続充電**］を［**AUTO**］にするとプリントできない場合があります。プリンターに接続して電源がONになってもカメラにPictBridge画面が表示されないときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］に設定してから、接続をやり直してください。

目つぶり検出設定

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）に切り換える（□170）➔ 目つぶり検出設定

以下の撮影モードで顔認識撮影（□56）したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

- ◘（オート撮影）モード（AFエリア選択が［**顔認識オート**］（□53）のとき）
- 以下のシーンモードのとき
  - おまかせシーン（□62）
  - ◘（夜景ポートレート）（□65）
  - ［**ポートレート**］（□67）

ON

顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があるとカメラが検出したときは、液晶モニターに［**目つぶり確認**］画面を表示します。
目を閉じて写っている可能性のある人物の顔が黄色い枠で囲まれます。撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。
→「目つぶり確認画面の操作方法」（□189）

OFF（初期設定）

目つぶり検出をしません。

目つぶり検出設定についてのご注意

連写モードまたは笑顔自動シャッター（□37）のときは、目つぶり検出をしません。

目つぶり確認画面の操作方法

［**目つぶり確認**］画面が表示されたときは、以下の操作ができます。
何も操作しないまま数秒経過すると、自動的に撮影画面に戻ります。

機能	操作部	内容
目つぶり検出した顔を拡大表示する	T（Q）	ズームレバーをT（Q）方向に回します。
1コマ表示に戻る	W（▦）	ズームレバーをW（▦）方向に回します。
表示する顔を切り換える	◀OK▶	複数の人物の目つぶりを検出した場合、拡大表示中に◀▶を押すと、拡大表示する顔が切り換わります。
撮影した画像を削除する	🗑	🗑ボタンを押します。
撮影画面に戻る	OK	OKボタンまたはシャッターボタンを押します。
	シャッターボタン	

設定クリアー

MENUボタンを押す ➔ 🔧（セットアップメニュー）に切り換える（📖170）➔ 設定クリアー

［**はい**］を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
フラッシュモード（📖32）	AUTO
セルフタイマー（📖35）	OFF
マクロモード（📖39）	OFF
クリエイティブスライダーの調整（📖41）	オフ
露出補正（📖43、44）	0.0

撮影メニュー

項目	初期設定
画像モード（📖47）	12M 4000×3000
ホワイトバランス（📖49）	オート
測光方式（📖51）	マルチパターン
ISO感度設定（📖52）	オート
AFエリア選択（📖53）	顔認識オート
AFモード（📖60）	シングルAF

シーンモード

項目	初期設定
シーンメニュー（📖61）	ポートレート
料理モードの色合い調整（📖71）	中央
パノラマ（📖73）	かんたんパノラマ（標準（180°））
ペット（📖74）	連写

夜景メニュー

項目	初期設定
夜景（📖64）	手持ち撮影

夜景ポートレートメニュー

項目	初期設定
夜景ポートレート（□65）	三脚撮影

逆光メニュー

項目	初期設定
HDR（□66）	OFF

連写メニュー

項目	初期設定
連写（□82）	連写 H

スペシャルエフェクトメニュー

項目	初期設定
スペシャルエフェクト（□85）	ソフト

動画メニュー

項目	初期設定
動画設定（□148）	HD 1080p★（1920×1080）
HS動画で記録開始（□143）	ON
AFモード（□150）	シングルAF
電子式手ブレ補正（□151）	ON
風切り音低減（□151）	OFF

セットアップメニュー

項目	初期設定
オープニング画面（□171）	なし
モニター表示設定（□175）	情報AUTO
撮影後の画像表示（□175）	ON
画面の明るさ（□175）	3
デート写し込み（□177）	OFF
手ブレ補正（□178）	ON
モーション検知（□180）	AUTO
AF補助光（□181）	AUTO

電子ズーム（□182）	ON
設定音（□183）	ON
シャッター音（□183）	ON
オートパワーオフ（□184）	1分
HDMI（□186）	オート
HDMI **機器制御**（□186）	ON
パソコン接続充電（□187）	AUTO
目つぶり検出設定（□188）	OFF

その他

項目	初期設定
用紙設定（□165、166）	プリンターの設定
スライドショーのインターバル設定（□121）	3秒

- ［**設定クリアー**］を行うと、ファイル番号の連番（□200）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー/SDカード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル番号の連番を「0001」に戻したいときは、内蔵メモリー/SDカード内の画像をすべて削除（□31）してから、［**設定クリアー**］を行ってください。
- 以下の項目は、［**設定クリアー**］を行っても初期設定には戻りません。

  撮影メニュー：
  ［**ホワイトバランス**］のプリセットマニュアルデータ（□50）

  再生メニュー：
  ［**連写グループ表示方法**］（□129）、［**連写の代表画像選択**］（□129）

  セットアップメニュー：
  ［**地域と日時**］（□172）、［**言語/Language**］（□186）、［**TV出力設定**］の［**ビデオ出力**］（□186）

バージョン情報

MENUボタンを押す ➔ 🔧（セットアップメニュー）に切り換える（📖170）➔
バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れないときは、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますのでご注意ください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラボディー

ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前に、電源がOFFになっていることをご確認ください。以下の場所にカメラを保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所

取り扱い上のご注意

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 保管する際には

カメラを長期間お使いにならないときは、必ずバッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で、バッテリーやACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくいことがあります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。ホコリやゴミなどが付着したときは、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

バッテリーについて

● 使用上のご注意

- 長時間お使いになったバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が 0 ～ 40 ℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能劣化や故障の原因となります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたときは、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

● 充電について

撮影の前に、充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

- 周囲の温度が5～35℃の室内で充電してください。
- COOLPIX S9100を本体充電ACアダプター EH-69Pまたはパソコンに接続して充電する場合、バッテリーの温度が45～60℃のときは、充電できる容量が少なくなることがあります。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しないでください。バッテリー性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因となります。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、日本国外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

● 低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになるときは、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

● 低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

消耗したバッテリーを低温時に使うと、カメラが作動しないことがあります。低温時の撮影には充分に充電したバッテリーと予備のバッテリーを用意してください。予備のバッテリーは保温し、交互にあたためながらお使いください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

● バッテリー接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがありますので、ご注意ください。汚れた接点は、乾いた布できれいに拭いてからお使いください。

● **残量について**

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● **保管について**

- バッテリーをお使いにならないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。カメラやバッテリーチャージャーに取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れ続けることで過放電になり、使えなくなるおそれがあります。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- バッテリーは付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15〜25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

● **寿命について**

充分に充電したにもかかわらず、バッテリーの使用期間が極端に短くなってきたときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● **リサイクルについて**

Li-ion 00

数字の有無と数値は電池によって異なります。

充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

別売アクセサリー

充電式バッテリー	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12※1
本体充電 AC アダプター	本体充電ACアダプター EH-69P※1、2
充電器	バッテリーチャージャー MH-65P※2
ACアダプター	ACアダプター EH-62F※3 <EH-62Fの取り付け方> ACアダプターのコードをACアダプターの溝に奥まで入れてからバッテリー室に入れてください。また、バッテリー/SDカードカバーを閉める前に、コードをバッテリー室の溝に奥まで入れてください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーやコードを破損するおそれがあります。
USBケーブル	USBケーブル UC-E6※1
オーディオビデオケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP16※1

※1 カメラご購入時に付属（→「簡単スタートガイド」 3ページ）。

※2 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。

※3 日本国内専用電源コード（AC 100 V対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお買い求めいただけます。

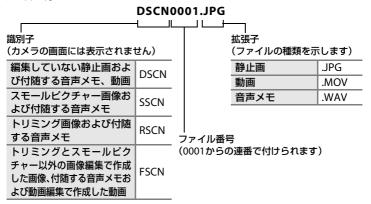
推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード※2	SDXC メモリーカード※3
SanDisk	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
TOSHIBA	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB※1	4 GB、8 GB、12 GB、16 GB、24 GB、32 GB	48 GB、64 GB
Lexar	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	–

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。

- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。

記録データのファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した静止画、動画、および音声メモには、以下のようにファイル名が付けられます。

DSCN0001.JPG

識別子
（カメラの画面には表示されません）

編集していない静止画および付随する音声メモ、動画	DSCN
スモールピクチャー画像および付随する音声メモ	SSCN
トリミング画像および付随する音声メモ	RSCN
トリミングとスモールピクチャー以外の画像編集で作成した画像、付随する音声メモおよび動画編集で作成した動画	FSCN

ファイル番号
（0001からの連番で付けられます）

拡張子
（ファイルの種類を示します）

静止画	.JPG
動画	.MOV
音声メモ	.WAV

- ファイルを保存するフォルダーは、「フォルダー番号＋NIKON」（例：100NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダー内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダーが作られます（例：100NIKON→101NIKON）。フォルダー内のファイル番号が9999に達したときも新しいフォルダーが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じ識別子とファイル番号になります。
- パノラマアシストモード（📖78）では、撮影のたびに「フォルダー番号＋P_XXX」という名前のフォルダー（例：101P_001）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。
- 内蔵メモリーとSDカードの間で記録データをコピーする場合（📖127）、ファイル名は以下のようになります。
  -「選択画像コピー」：
    使用中のフォルダー（または次回の撮影で使われるフォルダー）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号＋1」から連番で付けられます。
  -「全画像コピー」：
    データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名は「コピー先の最大フォルダー番号＋1」から連番で付けられます。
    ファイル名は変わりません。
- フォルダー番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化（📖185）してください。

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	意味	対処法	📖
(点滅)	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	172
電池残量がありません	バッテリー残量がありません。	バッテリーを充電または交換してください。	14、16
電池が高温です	バッテリーの温度が高温になっています。	電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。このメッセージが出ると5秒後に液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅を開始します。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	19
カメラが高温です。電源をOFFします	カメラの内部またはSDカードが高温になっています。	自動的にカメラの電源がOFFになります。カメラの内部またはSDカードの温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	–
AF●（赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	• ピントを合わせ直してください。 • フォーカスロック撮影をお試しください。	28、29 55
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	–
カードがロックされています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除してください。	23
このカードは使えません	SDカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのカードを使ってください。 • カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 • カードが正しく挿入されているか確認してください。	199 22 22
カードに異常があります			

表示	意味	対処法	📖
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？ はい いいえ	SDカードが、COOLPIX S9100用に初期化されていません。	初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、［**いいえ**］を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。［**はい**］を選んでOKボタンを押すと、SDカードを初期化できます。	23
メモリー残量がありません	データを記録する空き容量がありません。	• 画像モードを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • SD カードを交換してください。 • SD カードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使ってください。	47 31、152 22 22
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	185
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	SDカードを交換するか、内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	22、185
	オープニング画面に登録できない画像です。	以下の画像は登録できません。 • ［**画像モード**］を［**3968 × 2232**］にして撮影した画像 • かんたんパノラマで撮影した画像 • スモールピクチャーやトリミングで作成した画像サイズが 320 × 240 以下の画像 • ハイビジョンまたはフルハイビジョン画質の動画撮影中に記録した静止画	171
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除してください。	31、152
これ以上、お気に入り登録できません	すでに200コマの画像がお気に入りフォルダーに登録されています。	• 画像のお気に入り登録を解除してください。 • 別のお気に入りフォルダーに登録してください。	104 101
音声を登録できません	音声メモを付けられない画像ファイルです。	• 動画には音声メモを付けられません。 • COOLPIX S9100 で撮影した画像を選んでください。	152 126

表示	意味	対処法	📖
この画像は編集できません	編集できない画像を編集しようとしました。	• 編集可能な条件を確認してください。 • 動画は編集できません。	131 –
動画記録できません	SD カードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	22
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。	• 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SD カードをカメラから取り出してください。 • 内蔵メモリーから SD カードにコピーする場合は、MENU ボタンを押すと画像コピー画面が表示され、内蔵メモリー内の画像を SD カードにコピーできます。	22 127
	選んだお気に入りフォルダーに画像が登録されていません。	• 画像をお気に入りフォルダーに登録してください。 • 画像の登録されたお気に入りフォルダーを選んでください。	101 103
	オート分類再生モードで選んだ項目に、分類された画像がありません。	画像の分類された項目を選んでください。	111
このファイルは表示できません	COOLPIX S9100 以外で作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	–
このデータは再生できません			
表示できる画像がありません	スライドショーで表示できる画像がありません。	–	121
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除してください。	122
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	–	174
モードダイヤルの位置がずれています	モードダイヤルが正しい位置にセットされていません。	モードダイヤルを回して、カメラの指標にいずれかのモードを合わせてください。	45

表示	意味	対処法	📖
ⓘ フラッシュが閉じています	おまかせシーンモードのときにフラッシュが閉じています。	ϟ૯（フラッシュポップアップ）レバーをスライドしてフラッシュをポップアップしてください。フラッシュを使いたくないときは、フラッシュを閉じたままでも撮影できます。	33、62
ⓘ フラッシュを上げてください	シーンモードの ◙（夜景ポートレート）、◙（逆光）のとき、フラッシュが閉じています。	ϟ૯（フラッシュポップアップ）レバーをスライドして、フラッシュをポップアップしてください。	33、65、66
ⓘ パノラマ撮影に失敗しました	かんたんパノラマ撮影ができませんでした。	以下の場合、かんたんパノラマ撮影ができないことがあります。 ・ 一定時間経っても撮影が終わらないとき ・ カメラを動かす速度が速すぎるとき ・ パノラマ方向に対してまっすぐになっていないとき	75
ⓘ パノラマ撮影に失敗しました まっすぐに動かしてください			
ⓘ パノラマ撮影に失敗しました ゆっくりと動かしてください			
レンズエラー ❶	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	24
ⓘ 通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。	カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	164
システムエラー ❶	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	14、19

表示	意味	対処法	
プリンターエラー：プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。	プリンターを確認し、エラーの原因を取り除いた後、［**継続**］を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：用紙を確認してください	指定したサイズの用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：紙詰まりです	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いた後、［**継続**］を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：用紙がありません	用紙がセットされていません	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：インクを確認してください	インクに異常があります。	インクを確認した後、［**継続**］を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：インクがありません	インクがなくなりました。	インクを交換した後、［**継続**］を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。	［**キャンセル**］を選びOKボタンを押して、プリントを中止してください。	–

※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラ内のバッテリーを充電できない	• 端子の接続状態を確認してください。 • セットアップメニュー［**パソコン接続充電**］が［**OFF**］になっています。 • パソコンに接続して充電しているときは、カメラの電源を OFF にすると、バッテリーの充電も中止されます。 • パソコンに接続して充電しているときに、パソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源が OFF になることがあります。 • パソコンの仕様、設定または状態によっては、パソコンに接続してカメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。	16 187 162 162 –
電源をONにできない	• バッテリー残量がありません。 • 本体充電 AC アダプターでコンセントに接続しているときは、電源は ON にできません。	24 16
カメラの電源が突然切れる	• バッテリー残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。 • カメラの電源を ON にしたまま、本体充電 AC アダプターを接続すると電源が OFF になります。 • パソコンまたはプリンターとの接続中に USB ケーブルが外れると電源が OFF になります。USB ケーブルの接続をやり直してください。 • カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	24 184 196 16 158、160、164 –
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、▶ ボタンまたは ●（動画撮影）ボタンを押すか、モードダイヤルを回してください。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されています。 • カメラとテレビがオーディオビデオケーブルまたは HDMI ケーブルで接続されています。	19 4、10、19、30 34 158 155

付録、索引

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。	175 194
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない（撮影時に日時未設定マークが点滅している）場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2011/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー［**地域と日時**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。	20、172 172
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［**モニター設定**］の［**モニター表示設定**］が［**情報OFF**］になっています。	175
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**地域と日時**］が設定されていません。	20、172
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	• 日付を写し込めない撮影モードになっています。 • 動画には写し込みできません。 • 動画撮影中に記録した静止画には写し込みできません。	177 – –
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	20、173
設定内容が初期状態に戻ってしまった		
液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅する	バッテリーの温度が高温になっています。電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	19
カメラの温度が高くなる	動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがありますが、故障ではありません。	–

●デジタルカメラの特性について

きわめてまれに、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	155、158、164
撮影できない	• 再生モードになっているときは、▶ ボタンまたはシャッターボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 • バッテリー残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	4、30 12 24 34
ピントが合わない	• 被写体との距離が近すぎます。マクロモード、またはシーンモードの［**おまかせシーン**］、［**クローズアップ**］での撮影をお試しください。 • オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー［**AF 補助光**］を［**AUTO**］にしてください。 • 電源を入れ直してください。	39、62、70 29 181 19
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • 手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	32 178、180 82 35
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュを閉じるか、フラッシュモードを⊛（発光禁止）にしてください。	34
フラッシュが発光しない	• フラッシュを閉じているか、フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • フラッシュが上がりきっていません。フラッシュを押さえないでください。 • フラッシュが制限される他の機能が設定されています。	32 64 26 87
電子ズームが使えない	• セットアップメニュー［**電子ズーム**］が［**OFF**］になっています。 • 電子ズームが使えない他の機能が設定されています。	182
［**画像モード**］が選べない	• ［**画像モード**］が制限される他の機能が設定されています。 • 撮影モードによって、選べる画像モードは異なります。	87 47

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー［**操作音**］の［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。［**ON**］にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。	183
AF補助光が点灯しない	セットアップメニュー［**AF補助光**］が［**OFF**］になっています。［**AUTO**］に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	64～73、181
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	194
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	40、49、71
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低いISO感度にしてください。	 32 52
画像が暗すぎる	• フラッシュが閉じているか、フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • ISO感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。▣（逆光）にするか、フラッシュモードを ⚡（強制発光）にしてください。	32 26 32 43、44 52 32、66
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	43、44
赤目以外の部分が補正された	⚡◎（赤目軽減自動発光）や▣（夜景ポートレート）でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。▣（夜景ポートレート）以外の撮影モードで、フラッシュモードを⚡◎（赤目軽減自動発光）以外にして撮影してください。	32、65
画像の記録に時間がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 • ノイズ低減機能が作動したとき • フラッシュを ⚡◎（赤目軽減自動発光）にして撮影したとき • 以下のシーンモードで撮影したとき - ▣（夜景） - ▣（夜景ポートレート） - ▣（逆光）（［**HDR**］ON時） - ［**ポートレート**］ • 連写モードで撮影したとき	 34 32 64 65 66 67 80
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様（ゴースト）等が写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	–

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。 • COOLPIX S9100 以外で撮影した動画は再生できません。	– 152
画像の拡大表示ができない	• 動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。 • COOLPIX S9100 以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。	–
音声メモを録音できない	• 動画には音声メモを付けられません。 • COOLPIX S9100 以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。	152 126
簡単レタッチ、D-ライティング、美肌、フィルター効果、フレーム、スモールピクチャー、トリミングができない	• 動画は編集できません。 • ［**画像モード**］を［**3968 × 2232**］にして撮影した画像、ハイビジョンまたはフルハイビジョン画質の動画撮影中に記録した静止画は、編集できません。 • 簡単レタッチ、D-ライティング、美肌、フィルター効果、フレーム、スモールピクチャー、トリミングが可能な条件を確認してください。 • COOLPIX S9100 以外で撮影した画像は編集できません。	152 47 131 130
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**TV 出力設定**］の［**ビデオ出力**］または［**HDMI**］が正しく設定されていません。 • HDMI ミニ端子と USB/ オーディオビデオ出力端子の両方にケーブルが接続されています。 • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。	186 155、158 22
お気に入りフォルダーのアイコン設定が初期設定に戻っていたり、お気に入り登録した画像がお気に入り再生モードで再生できない	内蔵メモリー/SDカード内のデータがパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。	–

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影した画像がオート分類再生モードで再生できない	• 表示したい画像が、参照している項目とは別の項目に分類されています。 • COOLPIX S9100 以外で撮影した画像または［**画像コピー**］でコピーした画像は、オート分類再生モードで表示できません。 • 内蔵メモリー/SDカード内の画像がパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。 • 1 つの分類項目で表示できるのは、999 コマまでです。すでに 999 コマ登録されている場合は、それ以降に撮影した画像は登録されません。	109 111 – 111
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • バッテリー残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • 対応 OS を確認してください。 • Nikon Transfer 2が自動起動しない設定になっています。 Nikon Transfer 2 については、ViewNX 2 のヘルプをご覧ください。	19 24 158 – 157 161
カメラをプリンターに接続しても、PictBridge起動画面が表示されない	PictBridge対応プリンターの種類によっては、［**パソコン接続充電**］を［**AUTO**］に設定していると、PictBridge起動画面が表示されず、プリントできない場合があります。［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］にしてプリンターに接続し直してください。	187
プリントする画像が表示されない	• 画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするときは SD カードを取り出してください。	22
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	165、166 –

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX S9100

項目		仕様
型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		12.1メガピクセル
撮像素子		1/2.3型 原色CMOS、総画素数12.75メガピクセル
レンズ		光学18倍ズーム、NIKKORレンズ
	焦点距離	4.5-81.0mm（35mm判換算25-450 mm相当の撮影画角）
	開放F値	f/3.5-5.9
	レンズ構成	11群12枚
電子ズーム		最大4倍（35mm判換算で約 1800 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正		イメージセンサーシフト方式と電子式の併用（静止画） 電子式（動画）
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離	• レンズ前約 50 cm～∞（広角側）、約 1.5 m～∞（望遠側） • マクロモード時は約 4 cm（広角側）～∞
	AFエリア	顔認識オート、オート（9点）、マニュアル（99点）、中央、ターゲット追尾
液晶モニター		広視野角3型TFT液晶、反射防止コート付き、約 92万ドット、輝度調節機能付き（5段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約 97%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約 100%（対実画面）
記録方式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約74 MB）、SD/SDHC/SDXCメモリーカード
	画像ファイル	DCF、Exif 2.3、DPOF準拠
	ファイル形式	静止画：JPEG 音声メモ：WAV 動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：AAC ステレオ）
画像モード（記録画素数）		• 12M（高画質）［4000 × 3000★］ • 12M［4000 × 3000］ • 8M［3264 × 2448］ • 5M［2592 × 1944］ • 3M［2048 × 1536］ • PC［1024 × 768］ • VGA［640 × 480］ • 16:9［3968 × 2232］

項目		仕様
ISO感度（標準出力感度）		・ISO 160、200、400、800、1600、3200 ・オート（ISO 160 ～ 800） ・感度制限オート（ISO 160 ～ 400） ・高速連写（ISO 160 ～ 3200）
露出		
	測光方式	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
	露出制御	プログラムオート、モーション検知機能付き、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
シャッター		メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
	シャッタースピード	・1/2000 ～ 1 秒 ・1/4000 ～ 1/125 秒 (高速連写 120 fps) ・1/4000 ～ 1/60 秒 (高速連写 60 fps) ・4 秒（シーンモードの［**打ち上げ花火**］）
絞り		電磁駆動によるNDフィルター（－2 AV）選択方式
	制御段数	2（f/3.5、f/7［広角側］）
セルフタイマー		約 10秒、約 2秒
フラッシュ		
	調光範囲（ISO感度設定オート時）	約 0.5～4.0 m（広角側） 約 1.5～2.5 m（望遠側）
	調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース		Hi-Speed USB
	通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力		NTSC、PALから選択可能
HDMI出力		オート、480p、720p、1080iから選択可能
入出力端子		オーディオビデオ（AV）出力/デジタル端子（USB）、HDMIミニ端子（HDMI出力）
言語		日本語、英語の2言語
電源		Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池：付属）×1個 ACアダプター EH-62F（別売）
充電時間		約 3時間50分（本体充電ACアダプター EH-69P使用時、残量のない状態からの充電時間）

撮影可能コマ数（電池寿命）※	約 270コマ（EN-EL12使用時）
動画撮影可能時間（電池寿命）	約 1時間20分（[**HD 1080p★**]、EN-EL12使用時）
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 104.8×62.0×34.6 mm（突起部除く）
質量	約 214 g（バッテリー、SDメモリーカード含む）
動作環境	
使用温度	0～40℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12をフル充電で使用時のものです。

※ 電池寿命測定方法を定めたCIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は、23（±2）℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード［**4000×3000**］です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC 3.7 V、1050 mAh
使用温度	0～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 32×43.8×7.9 mm
質量	約 22.5 g（端子カバーを除く）

本体充電ACアダプター EH-69P

電源	AC 100～240 V、50/60 Hz、0.068～0.042 A
定格入力容量	6.8～10.1 VA
定格出力	DC 5.0 V、550 mA
使用温度	0～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 55×22×54 mm
質量	約 55 g

使用説明書について

- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.3：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索引

付録、索引

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービス機関にご依頼ください。

- ニコンサービス機関につきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービス機関にご相談ください。
- 修理に出されるときに、SDカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービス機関へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を下記の当社ホームページでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/support/

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行
FAX:(03)5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：　　　　年　　月　　日

お買い上げ日：　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　□会社
〒

TEL:
FAX:

ご使用のパソコンの機種名：
メモリー容量：　　　　ハードディスクの空き容量：
OS のバージョン：　　　　ご使用のインターフェースカード名：
その他接続している周辺機器名：
ご使用のアプリケーションソフト名：
ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：

問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

0570-02-8000

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9：30〜18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、(03) 5977-7499 に送信ください。

修理サービスのご案内

インターネットでの修理のお申し込み

下記 URL から「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みができます。宅配便などでお送りいただいた場合などの「修理金額見積り」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/support/repair/

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け･修理品のお引き取り、修理後のお届け･集金までを一括して提供するサービスです。

0120-02-8155

営業時間：9：00〜18：00(年末年始12/29〜1/4を除く毎日)
※左記のフリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。

製品に関するお問い合わせは、上記のカスタマーサポートセンターへお願いいたします。
修理に関するお問い合わせは、下記の修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター>

230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

0570-02-8200

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9：30〜17：30（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577（ニコンカスタマーサポートセンター）におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in Japan

CT0L01(10)

6MM05610-01